

## V 教育の内容と方法

### 1 教育学部各課程のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

#### 1-1 学校教育教員養成課程

##### 1-1-1 カリキュラム・ポリシー

学校教育教員養成課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①学校教育の意義と学校という組織の特徴・機能について教育実践上の意味を理解させ、他の教員および地域社会と協力して活動できる力を身に付けさせる。
- ②児童・生徒との関係・コミュニケーションに関する基礎知識と児童・生徒を援助するための具体的な対応策を理解させ、実践できる力を身に付けさせる。
- ③教科内容についての十分な基礎的理解を持たせると共に、自らその理解を深めていく力を身に付けさせる。
- ④教科内容の教材化、児童・生徒に合わせた教科指導の基礎的な方法を習得させ、実践の中でさらに展開できる力を身に付けさせる。
- ⑤現代社会の諸課題を教育という視点から理解し、その解決をめざす思考力と実践力を身に付けさせる。

##### 1-1-2 ディプロマ・ポリシー

学校教育教員養成課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・学校において教育実践を行える知識・技能を身に付け、必要な判断力と協調性を有している。
- ・児童・生徒に対する教科指導に必要な基礎的な教科内容理解と指導力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

#### 1-2 養護教諭養成課程

##### 1-2-1 カリキュラム・ポリシー

養護教諭養成課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・教員である養護教諭にとって必要な学校教育（教職）に関する基礎知識および技能を身に付けさせる。
- ・養護教諭に必要な養護学・基礎医学・臨床医学・看護学・衛生学および公衆衛生学・栄養学・健康相談活動などの専門的知識および技術、判断力を身に付けさせる。
- ・学校における養護教諭の役割を理解させ、「子どもの心と体の健康と守り育て、発達を支援する」ための実践能力、組織活動をマネジメントする力を身に付けさせる。
- ・援助が必要な児童・生徒に対して、担任や保護者・関係機関と連絡をとりながら、適切なケア・健康相談活動・教育への支援を行うことができる能力を身に付けさせる。

### 1-2-1 ディプロマ・ポリシー

養護教諭養成課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・教員としての基礎的資質および能力を有している。
- ・養護教諭としての専門的知識および技術を習得し、必要な判断力と指導力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と倫理観を備え、基本的なコミュニケーション能力とマネジメント力を有している。

## 1-3 情報文化課程

### 1-3-1 カリキュラム・ポリシー

情報文化課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・情報文化の理念、基礎的なメディアリテラシーや情報倫理、基礎的な情報処理等、課程全体に共通する基本的知識・技術・技能を課程内の全学生に定着させるための科目群をおく。
- ・社会文化、生活デザイン、アート文化に関わる各コースの専門科目群は、他コースに所属する学生も履修可能として、複合的領域で活動するための視点を身につけさせる。
- ・「集団による活動」「具体的なテーマ設定」「成果の発表」という基本方針をもつプロジェクト科目を設定して、実践力を養成する。

### 1-3-2 ディプロマ・ポリシー

情報文化課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・情報化された社会において文化的活動が行える基礎的知識・技能を有している。
- ・情報社会・情報文化に関わる複合的領域で活動するための視点と実践力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

## 1-4 人間環境教育課程

### 1-4-1 カリキュラム・ポリシー

人間環境教育課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・課程共通に、現代社会や人間について幅広く理解するための科目群と、知識・技能の伝達・普及についての理論や実践を学ぶ科目群において、社会中での知識・技能の活用力を育てる。
- ・環境、スポーツ、健康、心理に関わる各コースの専門科目群では、各分野の専門的な知識や技術を身につけるさせると共に、現代社会の課題へ対処する力を育てる。

### 1-4-2 ディプロマ・ポリシー

人間環境教育課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・環境、スポーツ、健康、心理に関わる専門分野の基礎的知識・技能を有している。
- ・専門的な知識・技能を社会の中で活かすための社会理解と基礎的な実践力を有している。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

## 2 学部の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学部「履修要項 2014 年」から引用した。

### 2-1 教育課程

#### 2-1-1 専門科目と教養科目

本学の教育課程は、専門科目と教養科目から編成されている。

#### 専門科目と教養科目の目的

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 専門科目 | 各学部・課程等の専攻に係る専門の学芸を教授する         |
| 教養科目 | 幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する |

#### 2-1-2 卒業資格

##### (1) 卒業の要件

それぞれの課程毎に卒業に必要な修得単位数等が定められている。

特に、学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程では、両課程・コース等毎に定められた教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、卒業することができない。

##### (2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習、実験、実習又は実技）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、卒業研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

##### (3) 学位・教員免許状・各種資格

本学の学則で規定された修業年限（4年）以上在学し、卒業に必要な授業科目等を履修し、卒業に必要な単位（教養科目を含む）を修得した者は、教授会において卒業が認定され、次の学位が授与される。

| 学位の種類   | 課程                 |
|---------|--------------------|
| 学士（教育学） | 学校教育教員養成<br>養護教諭養成 |
| 学士（教養）  | 情報文化<br>人間環境教育     |

(4) 取得に配慮のある教員免許状の種類

| 課程             | コース    | 系       | 選修   | 小学校 | 中学校  | 高等学校       |   | 特別支援学校 | 養護教諭 | 幼稚園 |  |
|----------------|--------|---------|------|-----|------|------------|---|--------|------|-----|--|
|                |        |         |      |     |      | 情報         |   |        |      |     |  |
| 学校教育教員養成       | 学校教育   | 言語・社会教育 | 国語   | ◎   | 国語   | 国語書道       | △ |        |      | △   |  |
|                |        |         | 社会   | ◎   | 社会   | 地理歴史<br>公民 | △ |        |      | △   |  |
|                |        |         | 英語   | ○   | 英語   | 英語         | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 理数教育    | 数学   | ◎   | 数学   | 数学         | △ |        |      | △   |  |
|                |        |         | 理科   | ◎   | 理科   | 理科         | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 音楽教育    | 音楽   | ◎   | 音楽   | 音楽         | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 美術教育    | 美術   | ◎   | 美術   | 美術<br>工芸   | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 保健体育教育  | 保健体育 | ◎   | 保健体育 | 保健体育       | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 技術教育    | 技術   | ○   | 技術   | 工業         | △ |        |      | △   |  |
|                |        | 生活科学教育  | 家庭   | ◎   | 家庭   | 家庭         | △ |        |      | △   |  |
| 教育科学           | 教育基礎   | ◎       | △    | △   | △    |            |   | △      |      |     |  |
|                | 特別支援教育 |         |      | ◎   | △    |            |   | ◎      |      | △   |  |
| 論養<br>養護<br>養成 |        |         |      |     | 保健   | 保健         |   |        | ◎    |     |  |
| 文化<br>情報       | 社会文化   |         |      |     | 美術   | 美術<br>工芸   |   |        |      |     |  |
|                | 生活デザイン |         |      |     |      |            |   |        |      |     |  |
|                | アート文化  |         |      |     |      |            |   |        |      |     |  |
| 人間<br>環境<br>教育 | 環境     |         |      |     | 理科   | 理科         |   |        |      |     |  |
|                | スポーツ   |         |      |     | 保健体育 | 保健体育       |   |        |      |     |  |
|                | 健康     |         |      |     | 保健体育 | 保健体育       |   |        |      |     |  |
|                | 心理     |         |      |     | 保健   | 保健         |   |        |      |     |  |

◎：最も適している    ○：適している    △：配慮されている

(5) 取得に配慮のある各種資格

| 資格の種類     | 配慮のある課程・コース・系・選修                        |               |
|-----------|---|---------------|
| 社会教育主事    | 学校教育コース（教育科学系）、情報文化課程                   |               |
| 学校図書館司書教諭 | 教員免許取得可能な全課程・コース                        |               |
| 学芸員       | 博物館                                     | 学校教育コース（社会選修） |
|           | 美術館                                     | 情報文化課程        |
| 公認スポーツ指導者 | 学校教育コース（保健体育選修）、人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース） |               |
| 二級建築士受験資格 | 情報文化課程                                  |               |
| 健康運動指導士   | 人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース）                 |               |

## 2-1-3 単位制度

## (1) 単位の時間数

各授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって 1 単位と定められている。授業は、講義・演習（1 時間の授業につき、2 時間の予習又は復習を必要とするもの）と実験・実習及び実技（2 時間の授業につき、1 時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

## 1 単位の時間数と学期の単位設定

| 授業の種類     | 1 単位時間数の内訳 |             | 週 1 講時 | 週 2 講時 |
|-----------|------------|-------------|--------|--------|
|           | 大学等での学習    | 自宅学習（予習・復習） |        |        |
| 講義・演習     | 1 5 時間     | 3 0 時間      | 2 単位   | 4 単位   |
| 実験、実習及び実技 | 3 0 時間     | 1 5 時間      | 1 単位   | 2 単位   |

## (2) 学期と時間割

茨城大学では、4 月～9 月までを前学期、1 0 月～3 月までを後学期としている。各学期毎にどの曜日も 1 5 回（週に 1 回の場合）の授業を実施できるように学年暦が定められている。

## (3) 評価基準

当該科目の修得内容から、次ページの「評点の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」は A<sup>+</sup>、A、B、C、D の評語をもって表す。A<sup>+</sup>、A、B、C を合格とし、D は不合格とする。合格者には所定の単位が与えられる。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の 3 分の 2 に達しない場合は、評点は 0 点となり評価区分は「D」となる。

## 評価の基準

| 評価区分           | 評 点              | 評 価 の 内 容                      |
|----------------|------------------|--------------------------------|
| A <sup>+</sup> | 90 点以上<br>100 点  | 到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。 |
| A              | 80 点以上<br>90 点未満 | 到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。        |
| B              | 70 点以上<br>80 点未満 | 到達目標と学修成果を概ね達成している。            |
| C              | 60 点以上<br>70 点未満 | 合格と認められる最低限の到達目標に届いている。        |
| D              | 60 点未満           | 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。         |

## (4) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

1 単位の学修に要する時間は 4 5 時間とされていることから、単位の過剰登録を防ぎ、十分な予習・復習時間を確保し単位の実質化を図るため、1 年間に履修登録できる単位数の上限を設定している。これを **CAP (キャップ) 制**といい、本学部では年間の履修登録上限を 5 8 単位としている。ただし、卒業要件外の授業科目及び集中講義は上限単位数に含まれない。また、5 8 単位を超えて履修を希望する場合、授業担当教員の許可を得て、担任または教務委員等と面談のうえ、追加登録を認めることもある。

## (5) GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、個々の学生の学修時間当たりの学習到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の GP (Grade Point) に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値 (Average) をいう。

本学では、学生自身に学内での成績の相対的な位置づけを認識させることにより学生の学習意欲を高めるとともに、学生の学習支援に資することを目的として GPA 制度を導入している。

GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期 GPA」と在学中の全期間における指標としての「通算 GPA」に区分される。

GP 及び GPA は下記の方法により算出される。

$$GP = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10 \quad (\text{ただし } GP = 0.5 \text{ 未満は } 0.0 \text{ とする})$$

$$GPA = (\text{履修登録科目の } GP \times \text{当該科目の単位数}) \text{ の総和} / \text{当該学期の履修総単位数}$$

(小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示)

なお、卒業要件外の授業科目及び他大学、大学以外の教育施設等における学修により単位認

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

定された授業科目については GPA に算入されない。

#### (6) 試験

前述したとおり、授業の出席時数とその授業の総授業時間数の 3 分の 2 に達しない場合は、評点は 0 点となり評価区分は「D」となる(定期試験の受験、レポート提出等の資格がない)。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

##### a. 定期試験

定期試験は、8 月及び 2 月初めに行われる。

##### b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

#### (7) 卒業研究

卒業研究とは、4 年次において各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

卒業研究の提出期限

| 提出期限        | 課 程   |
|-------------|---|
| 12 月 25 日まで | 情報文化課程  |
| 1 月 10 日まで  | 学校教育教員養成課程 学校教育コース (国語選修・英語選修)<br>特別支援教育コース<br>養護教諭養成課程 |
| 1 月 31 日まで  | 学校教育教員養成課程 (上記以外)<br>人間環境教育課程                           |

#### (8) 教育実習（養護実習）

学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程の学生及び情報文化課程、人間環境教育課程で教員免許状の取得を希望する学生は、教育実習（養護実習）を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、3・4年次に本学部附属小・中学校及び幼稚園を中心に協力校（実習者の出身校を含む）で一定期間行われる。取得する免許の種類に応じて実習校・実習期間等が異なる。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

#### (9) 介護等の体験

小学校又は中学校教諭普通免許状の取得を希望する学生は、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）が必要である。これは授業ではないので単位認定は行われませんが、大学が指定する施設において適切に実施し、その証明を受けなければならない。

#### (10) 他大学における学修単位等の認定

他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）において修得した単位及び入学前にすでに修得した単位は、60単位を限度として本学卒業の所要単位として認められる。この中には、実用英語技能検定及び日本漢字能力検定の合格に係る学修の単位認定（10単位以内）も含まれる。

#### (11) 大学間単位互換協定

「福島大学・宇都宮大学・茨城大学との単位互換協定」、「放送大学との単位互換協定」及び「茨城キリスト教大学との単位互換協定」を締結している。

#### (12) 他学部開設授業の履修

他の学部で開設されている授業（教育学部の「授業科目一覧および授業時間割」に掲載されていない授業）を履修する場合（自由履修単位となる）は、希望する授業科目の担当教員に必ず相談すること。学部によって履修申告の際の手続きが異なるので、希望する授業の当該学部学務係にその詳細を問い合わせること。

#### (13) 転課程・転コース

転課程・転コース試験に合格した者は、2年次（又は3・4年次）から教育学部内にある他の専攻（課程・コース・系・選修）に移籍することができる。



#### 2-1-4 課程ごとの履修基準

##### (1) 学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成する課程で、以下に示す2つのコースからなる。いずれのコースも卒業のためには「日本国憲法2単位」「体育2単位」「外国語コミュニケーション2単位」「情報機器の操作2単位」の取得と「介護等の体験」の実施が必要となる。

##### 【学校教育コース】

学校教育コースでは、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状（各選修で定められた教科）の両方について取得可能な要件を満たすこと（小・中学校教諭どちらか必ず一種免許状の要件を満たすこと。両方二種免許状では不可。）を、卒業に必要な条件としている。小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の組み合わせは、以下2種類のタイプがある。

Aタイプ＝小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の取得

Bタイプ＝小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状の取得

このタイプとは別に、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

##### 【特別支援教育コース】

特別支援教育コースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。なお、中学校教諭普通免許状を取得することも可能である。

## 学校教育教員養成課程の履修基準

| 科目区分         |               |              | 所要単位  |       |            |
|--------------|---------------|--------------|-------|-------|------------|
|              |               |              | 学校教育  |       | 特別支援<br>教育 |
|              |               |              | Aタイプ  | Bタイプ  |            |
| 教養科目         | 共通基礎科目        | 外国語科目        | 6     |       |            |
|              |               | 健康・スポーツ科目    | 2     |       |            |
|              |               | 情報関連科目       | 2     |       |            |
|              | 主題別科目         | 分野別教養科目      | 6～    |       |            |
|              |               | 分野別基礎科目(人文系) | 2     |       |            |
|              |               | 総合科目         | 4～    |       |            |
|              | 主題別ゼミナール      | 2            |       |       |            |
| 合計修得単位       |               |              | 26    |       |            |
| 専門科目         | 教職に関する科目      |              | 52(4) | 48(2) | 46(4)      |
|              | 教科に関する科目(小学校) |              | 14(6) | 4     | 14(6)      |
|              | 教科に関する科目(中学校) |              | 10    | 26(6) | 0          |
|              | 特別支援教育に関する科目  |              | 0     |       | 29         |
|              | 卒業研究          |              | 4     |       |            |
| 合計修得単位       |               |              | 80    | 82    | 93         |
| 自由履修         |               |              | 19    | 17    | 6          |
| 卒業に必要な合計修得単位 |               |              | 125   |       |            |

注) ( ) 内の数字は、教員免許状取得の際「教科又は教職に関する科目」として申請される科目の単位数を示す。詳しくは、以下の該当する項目を参照すること。

## a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得するための科目群である。これには、教科指導、生徒指導等に関する科目、教育実習など学校での教授・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれ、受けようとする免許状の種類(小・中学校、教科、一種・二種)に応じ、単位を修得しなければならない。

## 教職に関する科目（学校教育教員養成課程）

| 免許法科目                  |                            | 学校教育                             |  | 特別支援教育                 |
|------------------------|----------------------------|----------------------------------|--|------------------------|
|                        |                            | Aタイプ                             | Bタイプ   |                        |
| 教職の意義等に関する科目           |                            | 必修科目 2 単位                        |  |                        |
| 教育の基礎理論に関する科目          | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想       | 8 単位<br>(必修科目 6 単位及び選択必修科目 2 単位) |  |                        |
|                        | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程     |                                  |  |                        |
|                        | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項       |                                  |  |                        |
| 教育課程及び指導法に関する科目        | 教育課程の意義及び編成の方法<br>特別活動の指導法 | 必修科目 2 単位                        |  |                        |
|                        | 教育の方法及び技術に関する科目            | 選択必修から<br>4 単位                   | 選択必修から 2 単位  |                        |
|                        | 各教科の指導法<br>(小学校)           | 必修科目<br>9 教科<br>1 8 単位           | 選択必修<br>6 教科 1 2 単位<br>(音・図工・体のうち<br>2 教科 4 単位以上を含む) | 必修科目<br>9 教科<br>1 8 単位 |
|                        | 各教科の指導法<br>(中学校)           | 取得する教科の<br>指導法 2 単位              | 取得する教科の<br>指導法 6 単位                                  | 0                      |
|                        | 道徳の指導法                     | 必修科目 2 単位                        |  |                        |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 |                            | 必修科目 4 単位                        |  |                        |
| 教育実習                   |                            | 必修科目を含み合計 8 単位                   |  | 必修科目を含み合計 6 単位         |
| 教職実践演習                 |                            | 必修科目 2 単位                        |  |                        |
| 合計修得単位                 |                            | 5 2                              | 4 8  | 4 6                    |

## b. 教科に関する科目（小学校）

「教科に関する科目」（小学校）とは、小学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、初等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の修得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、小学校の各教科に相当する科目「〇〇科内容研究」と「教科又は教職に関する科目」の一部が、教員免許状取得のために使用できる科目として認定されている。

個々の授業科目が、「教科に関する科目」（小学校）のどの科目に対応しているか確認し、免許状取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

## 教科に関する科目（小学校）の履修方法

| コース            | 最低条件                             | 選択履修   | 合計          |
|----------------|----------------------------------|--|-------------|
| Aタイプ<br>特別支援教育 | 「〇〇科内容研究」<br>のうち各自選択した<br>4教科8単位 | 「〇〇科内容研究」のい<br>ずれか<br>「教科又は教職に関する<br>科目」のうち小学校の教科<br>に対応する科目 | 6単位<br>14単位 |
| Bタイプ           | 「〇〇科内容研究」<br>のうち各自選択した<br>2教科4単位 |  | 4単位         |

Aタイプおよび特別支援教育コースでは、「〇〇科内容研究」と題された9教科の科目のうち最低4教科8単位を、Bタイプでは9教科のうち2教科4単位を各自選択して修得する。

なお、Aタイプ及び特別支援教育コースでは、上記の条件に加えて14単位のうちの6単位分を「〇〇科内容研究」か「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Bタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

## c. 教科に関する科目（中学校）

「教科に関する科目」（中学校）とは、中学校及び高等学校等の学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、中等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の習得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、中学校・高校の免許教科に相当する科目および「教科又は教職に関する科目」のうち一部が、教員免許取得のために使用できる科目として認定されている。個々の授業科目が、各教科のどの科目に対応しているか確認し、当該教科の免許取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

## 教科に関する科目（中学校）の履修方法

| タイプ  | 最低条件                                | 選択履修   | 合計   |
|------|-------------------------------------|--|------|
| Aタイプ | 「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目<br>10単位 |  | 10単位 |
| Bタイプ | 「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目<br>20単位 | 「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目<br>「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目<br>6単位 | 26単位 |

なお、Bタイプでは、上記の条件に加えて26単位のうちの6単位分を取得免許の「教科に関する科目（中学校）」か「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Aタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

教科に関する科目（中学校）

●言語・社会教育系

|          | 科目区分 | 所要単位数            |      |     |
|----------|------|------------------|------|-----|
|          |      | 中学一種             | 中学二種 |     |
| 言語・社会教育系 | 国語選修 | 国語学              | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 国文学              | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 漢文学              | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 書道               | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 合計               | 20   | 10  |
|          | 社会選修 | 日本史及び<br>外国史     | 2以上  | 2   |
|          |      | 地理学<br>(地誌を含む)   | 2以上  | 2   |
|          |      | 「法学、<br>政治学」     | 2以上  | 2   |
|          |      | 「社会学、<br>経済学」    | 2以上  | 2   |
|          |      | 「哲学、倫理学、<br>宗教学」 | 2以上  | 2   |
|          | 合計   | 20               | 10   |     |
|          | 英語選修 | 英語学              | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 英米文学             | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 英語コミュニケーション      | 2以上  | 2以上 |
|          |      | 異文化理解            | 2以上  | 2以上 |
| 合計       |      | 20               | 10   |     |

●理数教育系

|       | 科目区分 | 所要単位数  |      |                    |
|-------|------|--------|------|--------------------|
|       |      | 中学一種   | 中学二種 |                    |
| 理数教育系 | 数学選修 | 代数学    | 2以上  | 2                  |
|       |      | 幾何学    | 2以上  | 2                  |
|       |      | 解析学    | 2以上  | 2                  |
|       |      | 確率統計   | 2以上  | 2                  |
|       |      | コンピュータ | 2以上  | 2                  |
|       |      | 合計     | 20   | 10                 |
|       | 理科選修 | 物理学    | 2以上  | 科目区分各領域から<br>1単位以上 |
|       |      | 物理学実験  | 2以上  |                    |
|       |      | 化学     | 2以上  |                    |
|       |      | 化学実験   | 2以上  |                    |
|       |      | 生物学    | 2以上  |                    |
|       |      | 生物学実験  | 2以上  |                    |
|       |      | 地学     | 2以上  |                    |
|       | 地学実験 | 2以上    |      |                    |
|       | 合計   | 20     | 10   |                    |

●音楽教育系

|       | 科目区分 | 所要単位    |      |    |
|-------|------|---------|------|----|
|       |      | 中学一種    | 中学二種 |    |
| 音楽教育系 | 音楽選修 | 器楽      | 3以上  | 3  |
|       |      | 声楽      | 3以上  | 3  |
|       |      | ソルフェージュ | 1以上  | 1  |
|       |      | 指揮法     | 1以上  | 1  |
|       |      | 音楽理論    | 1以上  | 1  |
|       |      | 音楽史     | 1以上  | 1  |
|       |      | 合計      | 20   | 10 |

●美術教育系

|       | 科目区分 | 所要単位          |      |                        |
|-------|------|---------------|------|------------------------|
|       |      | 中学一種          | 中学二種 |                        |
| 美術教育系 | 美術選修 | 絵画            | 2以上  | 科目区分<br>各領域から<br>1単位以上 |
|       |      | 彫刻            | 2以上  |                        |
|       |      | デザイン          | 2以上  |                        |
|       |      | 工芸            | 2以上  |                        |
|       |      | 美術理論及び<br>美術史 | 2以上  |                        |
|       |      | 合計            | 20   |                        |

●保健体育教育系

|         | 科目区分   | 所要単位 |      |    |
|---------|--------|------|------|----|
|         |        | 中学一種 | 中学二種 |    |
| 保健体育教育系 | 保健体育選修 | 体育実技 | 5 以上 | 5  |
|         |        | 体育学  | 1 以上 | 1  |
|         |        | 運動学  | 2 以上 | 1  |
|         |        | 生理学  | 2 以上 | 1  |
|         |        | 衛生学  | 2 以上 | 1  |
|         |        | 学校保健 | 2 以上 | 1  |
|         |        | 合 計  | 20   | 10 |

●技術教育系

|       | 科目区分 | 所要単位             |      |      |
|-------|------|------------------|------|------|
|       |      | 中学一種             | 中学二種 |      |
| 技術教育系 | 技術選修 | 木材加工(製図及び実習を含む)  | 3 以上 | 2 以上 |
|       |      | 金属加工(製図及び実習を含む)  | 3 以上 | 2 以上 |
|       |      | 機械(実習を含む)        | 2 以上 | 1 以上 |
|       |      | 電気(実習を含む)        | 2 以上 | 1 以上 |
|       |      | 栽培(実習を含む)        | 2 以上 | 1 以上 |
|       |      | 情報とコンピュータ(実習を含む) | 2 以上 | 1 以上 |
|       |      | 合 計              | 20   | 10   |

●生活科学教育系

|         | 科目区分 | 所要単位                   |      |                 |
|---------|------|------------------------|------|-----------------|
|         |      | 中学一種                   | 中学二種 |                 |
| 生活科学教育系 | 家庭選修 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む) | 2 以上 | 科目区分各領域から各1単位以上 |
|         |      | 被服学(被服製作実習を含む)         | 2 以上 |                 |
|         |      | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む)  | 2 以上 |                 |
|         |      | 住居学                    | 2 以上 |                 |
|         |      | 保育学(実習を含む)             | 2 以上 |                 |
| 合 計     |      | 20                     | 10   |                 |

●教育科学系

|       | 科目区分   | 所要単位                                       |                            |                            |
|-------|--------|--|----------------------------|----------------------------|
|       |        | 中学一種                                       | 中学二種                       |                            |
| 教育科学系 | 教育基礎選修 | 1 教科<br>選択必修                               | III 教員免許状の履修基準により<br>単位を修得 | III 教員免許状の履修基準により<br>単位を修得 |
|       |        | 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語のうちから1教科を選択 |                            |                            |
| 合 計   |        | 20   | 10                         |                            |

## d. 特別支援教育に関する科目

「特別支援教育に関する科目」は、特別支援学校の教員に必要な専門的内容の習得を目的とする科目で、特別支援教育コースの学生は以下の履修基準にしたがって単位を修得する。

## 特別支援教育に関する科目

| 科目区分                              |                                   | 所要単位 |     |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------|-----|
| 特別支援教育の基礎理論に関する科目                 |                                   | 2    |     |
| 特別支援教育領域に関する科目                    | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 6 以上 | 1 6 |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 6 以上 |     |
| 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 |                                   | 6    |     |
| 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習        |                                   | 5    |     |
| 合計修得単位                            |                                   | 2 9  |     |

## e. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。学修の成果を各コース、系、選修で定められた論文、実技又は作品等の提出や発表等の形式により公表し、その成果が評価され単位を修得する。

## (2) 養護教諭養成課程

学校では養護教諭を中心として児童・生徒等の健康教育・保健指導、健康管理が行われる。保健室には、けがや疾病異常、精神的な問題を持った児童・生徒等が訪れ、いじめや保健室登校など学校が抱える様々な問題が持ち込まれる。これらの児童・生徒等に対して、担任や保護者、医療機関等と連携をとりながら、適切なケア、健康相談活動、教育への支援を行うことができる養護教諭を養成することが本課程の目的である。

養護教諭養成課程では、養護教諭一種免許状の取得要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。また、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得に配慮がある。



## 養護教諭養成課程の履修基準

| 科目区分         |          | 所要単位  |
|--------------|----------|---|
| 教養科目         | 共通基礎科目   | 外国語科目<br>健康・スポーツ科目<br>情報関連科目                |
|              | 主題別科目    | 分野別教養科目<br>分野別基礎科目(人文系)<br>総合科目<br>主題別ゼミナール |
| 合計修得単位       |          | 26  |
| 専門科目         | 教職に関する科目 | 33  |
|              | 養護に関する科目 | 40  |
|              | 卒業研究     | 4   |
| 合計修得単位       |          | 77  |
| 自由履修         |          | 22  |
| 卒業に必要な合計修得単位 |          | 125   |

## a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員である養護教諭にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得する科目群である。これには、生徒指導、教育相談等に関する科目、養護実習など学校での支援・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれている。

「教職に関する科目（養護教諭養成課程）」にしたがって単位を修得することによって、養護教諭一種免許状の取得に必要な「教職に関する科目」の修得単位が満たされ、一部は「養護又は教職に関する科目」として数えられる。また、「教育の方法及び技術」「進路指導等に関する科目」に対応した授業科目を履修し単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状（保健）に必要な「教職に関する科目」の修得単位とすることができる。ただし、中学校教諭一種免許状（保健）を取得する場合は、下表に加えて教育実習（養護実習とは異なる）を行い定められた単位を修得しなければならない。

## 教職に関する科目（養護教諭養成課程）

| 免許法科目                    |  | 所要単位   |
|--------------------------|--|--|
| 教職の意義等に関する科目             |  | 2  |
| 教育の基礎理論に関する科目            | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | 選択必修<br>免許法科目 3 領域から<br>各 2 単位以上<br>合計 8 単位  |
|                          | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項                           |  |
| 教育課程に関する科目               | 教育課程の意義及び編成の方法                                 | 選択必修<br>免許法科目 4 領域から<br>各 2 単位以上<br>合計 12 単位 |
|                          | 道徳及び特別活動に関する内容                                 |  |
|                          | 教育の方法及び技術                                      |  |
| 指導法に関する科目 <sup>(注)</sup> |  |  |
| 生徒指導及び教育相談に関する科目         | 生徒指導の理論及び方法                                    | 4  |
|                          | 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法              |  |
| 進路指導等に関する科目              |  |  |
| 養護実習                     |  | 5  |
| 教職実践演習                   |  | 2  |
| 合計修得単位                   |  | 33   |

注) 受けようとする中学校教諭免許教科に対応した科目を履修すること。

## b. 養護に関する科目

「養護に関する科目」は、養護教諭の免許取得のために必要な専門の科目群である。学校教育教員養成課程の「教科に関する科目」に相当するものであり、中学校教諭・高等学校教諭の「保健」の免許状取得に必要な科目と重複しているものが多い。

養護教諭が学校現場で実際に活動していくために必要な実践的な科目のほか、それらの基礎となる各種の科目とから構成されている。

次の表にしたがって単位を修得することによって養護教諭一種免許状の「養護に関する科目」及び中学校教諭一種免許状（保健）の「教科に関する科目」に必要な所要単位を満たすことができる。また、それぞれの免許状に必要な修得単位を超えて修得した単位は「養護又は教職に関する科目」あるいは「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

## 養護に関する科目

| 免許法科目               | 所要単位  |
|---------------------|-------|
| 学校保健                | 2 以上  |
| 養護概説                | 2 以上  |
| 健康相談活動の理論及び方法       | 2 以上  |
| 衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む） | 4 以上  |
| 精神保健                | 2 以上  |
| 栄養学（食品学を含む）         | 2 以上  |
| 看護学（臨床実習及び救急処置を含む）  | 10 以上 |
| 「微生物学、免疫学、薬理概論」     | 2 以上  |
| 解剖学及び生理学            | 2 以上  |
| 合計修得単位              | 40    |

## c. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。指導教員のもと各自が定めたテーマにしたがって論文等をまとめ、その成果が評価され単位を修得する。

## (3) 情報文化課程

情報文化課程では、専門化と細分化が進む一方で、様々な分野の連携や融合も求められるという情報化社会において望まれる、多くの専門分野の知識を持ちつつその領域を複合的に連携し、社会で実践する力を持つ人間の育成をめざしている。

情報文化課程は、社会文化コース・生活デザインコース・アート文化コースの三つのコースからなるが、上記の目的を達成するために、柔軟な履修科目選択が可能な履修基準となっている。別途配布する履修モデル・課題別科目群などを参考にしながら、自分の目的に応じた科目履修計画を立てることが望ましい。

## 情報文化課程の履修基準

| 科目区分         |          |              | 所要単位  |           |
|--------------|----------|--------------|-------|-----------|
| 教養科目         | 共通基礎科目   | 外国語科目        | 6     | 10        |
|              |          | 健康・スポーツ科目    | 2     |           |
|              |          | 情報関連科目       | 2     |           |
|              | 主題別科目    | 分野別教養科目      | 6～    | 14～       |
|              |          | 分野別基礎科目(人文系) | 2     |           |
| 総合科目         |          | 4～           |       |           |
| 主題別ゼミナール     |          | 2            |       |           |
| 合計修得単位       |          |              | 26    |           |
|              |          |              | (卒研型) | (プロジェクト型) |
| 専門科目         | プロジェクト科目 |              | 12    | 16        |
|              | 課程共通科目   |              | 16    |           |
|              | 課程専門科目   |              | 42    | 46        |
|              | 特別演習     |              | 4     | 0         |
|              | 卒業研究     |              | 4     |           |
| 合計修得単位       |          |              | 78    |           |
| 自由履修         |          |              | 20    |           |
| 卒業に必要な合計修得単位 |          |              | 124   |           |

注1) プロジェクト型卒業を選択する場合と、卒業研究型卒業を選択する場合とで、課程専門科目の所要単位数が変わるので注意すること。

注2) プロジェクト型卒業を選択する場合、4年次のプロジェクト科目4単位も修得しなければならない。

注3) 卒業研究型卒業を選択する場合、特別演習4単位、卒業研究4単位を修得しなければならない。

## a. 課程共通科目

課程全体に共通する基本的知識・技術・技能を課程内の全学生に定着させることを企図した科目となっている。16単位を修得しなければならない。

## b. 課程専門科目

各コースに関連する、あるいは複数のコースに関連する専門的な内容の科目をいう。選択した卒業スタイルによって所要単位数が変わってくるので注意すること。プロジェクト型卒業の場合は46単位、卒業研究型卒業の場合は42単位を修得しなければならない。

## c. プロジェクト科目

プロジェクト科目は、1年次から3年次ないし4年次までの学生によって構成された集団が自ら企画した、あるいはそれぞれの集団に与えられたテーマにしたがって学習・研究を行う科目である。

学生は特定のプロジェクトに参加し学習・研究活動を行うが、各学年で期待される達成目標

は異なっている。

- 1 年次 … プロジェクトの内容の理解、基本的技術・技能の修得。
- 2 年次 … 技術・技能の習得、上下の学年との調整的役割。
- 3・4 年次 … 技術・技能の最終的な習得、1・2 年次の指導、プロジェクト活動のマネージメント。

なお、情報文化課程では、卒業スタイルとして「プロジェクト型卒業」と「卒業研究型卒業」のふたつからいずれかを選択できる。この選択にともなって専門科目の履修の仕方が若干変わってくる。これについては、「e.プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業」において説明する。

#### d. 特別演習 および 卒業研究

卒業研究は、特定の指導教員の下で 2 年間に渡る指導を受けながら、卒業論文の執筆、卒業作品の制作などを行うものである。卒業研究の指導は、卒業研究に必要な知識や技能・技術の習得、執筆・制作中の卒業研究の他学生・教員間での相互批判・検討などを行うための少人数で行うゼミ形式の授業を中心に行われる。これが 3 年次の「特別演習」・4 年次の「卒業研究」にあたり、卒業研究型卒業を選択する学生はこれらの科目を履修しなければならない。指導教員の決定方法などは 2 年次に行う「特別演習履修ガイダンス」にて説明する。

#### e. プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業

##### e.1. プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業の概要

情報文化課程では、卒業に際して、プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業のいずれかを選択することが出来る。

プロジェクト型卒業は、1 年次より履修しているプロジェクト科目を 4 年次まで履修し、1・2 年次生の指導、プロジェクトの運営・マネージメントまでを担い、十分な成果を上げることが卒業要件となる。

卒業研究型卒業は、3 年次の「特別演習」、4 年次の「卒業研究」を履修し、特定の指導教員の指導の下で卒業論文の執筆、あるいは卒業制作などを行い、十分な成果を上げることが卒業要件となる。

##### e.2. プロジェクト科目の履修方法

プロジェクト科目の履修は、プロジェクト型卒業を選択するか、卒業研究型卒業を選択するかで、履修方法が異なる。

- ・プロジェクト型卒業を選択する場合、1 年次から 4 年次までの 4 年間 16 単位を修得する。
- ・卒業研究型卒業を選択する場合、1 年次から 3 年次までの 3 年間 12 単位を修得する。
- ・プロジェクト型卒業の場合、上記の 16 単位に加えて課程専門科目から 4 単位を修得する。

- ・卒業研究型卒業の場合、上記の 12 単位に加えて、3 年次に「特別演習」4 単位、4 年次に「卒業研究」4 単位を修得する。
- ・原則として 2 つ以上のプロジェクト科目を同時に履修することはできない。
- ・卒業研究型卒業の場合、4 年次に修得したプロジェクト科目の単位は課程専門科目又は自由履修の単位として扱う。4 年次の卒業研究題目申告票の提出をもって、最終的に卒業研究型卒業を選択したとみなす。

### e.3. プロジェクト科目履修における転課程学生のための特例

プロジェクト科目は 3 年間ないし 4 年間の必修科目となっている。したがって転課程で中途年次より情報文化課程の学生となった場合、在学期間 4 年間での卒業が困難になるケースがいくつか考えられる。これは学生支援という転課程制度の主旨に必ずしも沿うものとはいえない。そのため、転課程学生についてのみ、プロジェクト科目の履修について以下の履修方法を適用する。

#### e.3.1. 2 年次に転課程してきた学生の場合

(ア) プロジェクト型卒業を選択する場合、2 年次から 4 年次までの 3 年間に 12 単位を修得し、加えて 2 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 16 単位とする。

(イ) 卒業研究型卒業を選択する場合、2 年次から 3 年次までの 2 年間に 8 単位を修得し、加えて 2 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 12 単位とする。

#### e.3.2. 3 年次に転課程してきた学生の場合

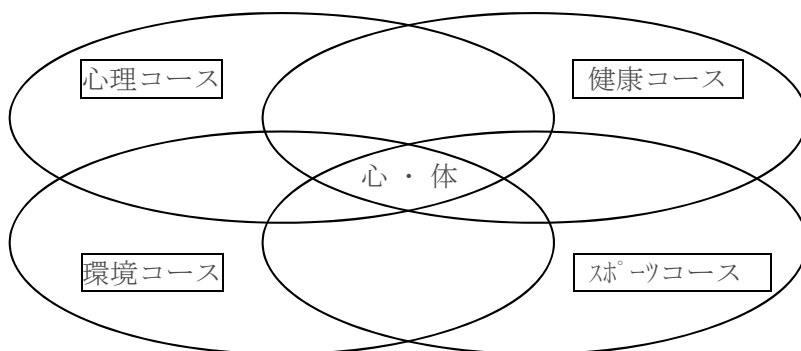
(ア) プロジェクト型卒業を選択する場合、3 年次から 5 年次までの 3 年間に 12 単位を修得し、加えて 3 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 16 単位とする。

(イ) 卒業研究型卒業を選択する場合、3 年次から 4 年次までの 2 年間に 8 単位を修得し、加えて 3 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 12 単位とする。

(4) 人間環境教育課程

人間環境教育課程は、人間の「心と体」への理解を原点にし、今日的諸課題に的確に対処できる人材を養成することを目的としている。

そのために、課程共通に「人間への理解、現代社会への理解」を深め、「知識・技能の伝達・普及、企画・運営」に関わる能力を育成し、さらに、今日的課題として注目されている「心理、健康、スポーツ、環境」の4分野について、4コースに分かれてそれぞれの専門的能力を育成している。また、各分野にまたがったテーマを学際的に学び、人と人、テーマとテーマをつなぐことができるように配慮している。



人間への理解、現代社会への理解

知識技能の伝達・普及、企画・運営  
(マネジメント)

↑  
課程共通科目

学 際 性  
+  
複 合 性

今日の諸課題

- ・ 環境問題
- ・ スポーツ振興
- ・ ヘルスプロモーション
- ・ 心理コンサルテーション

↑  
コース専門科目

## 人間環境教育課程の履修基準

| 科目区分         |         | 所要単位            |    |     |
|--------------|---------|-----------------|----|-----|
| 教養科目         | 共通基礎科目  | 外国語科目           | 6  | 10  |
|              |         | 健康・スポーツ科目       | 2  |     |
|              |         | 情報関連科目          | 2  |     |
|              | 主題別科目   | 分野別教養科目         | 6～ | 14～ |
|              |         | 分野別基礎科目(人文系)    | 2  |     |
| 総合科目         |         | 4～              |    |     |
| 主題別ゼミナール     |         | 2               |    |     |
| 合計修得単位       |         | 26              |    |     |
| 専門科目         | 課程共通科目  | 人間理解のための科目      | 16 |     |
|              |         | 知識・技能の伝達等に関する科目 |    |     |
|              | コース専門科目 | 各コースの専門科目       | 52 |     |
|              | 特別演習    |                 | 6  |     |
|              | 卒業研究    |                 | 4  |     |
| 合計修得単位       |         | 78              |    |     |
| 自由履修         |         | 20              |    |     |
| 卒業に必要な合計修得単位 |         | 124             |    |     |

## a. 課程共通科目

課程共通科目は、次のような科目群で構成されている。

## 課程共通科目（人間環境教育課程）

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 人間理解のための科目      | 人間と社会を概観する科目      |
|                 | 現代的諸問題に関する科目      |
| 知識・技能の伝達等に関する科目 | 情報等の収集・利用に関する科目   |
|                 | 情報・技能の伝達・教育に関する科目 |
|                 | 決定過程等に関する科目       |

それぞれの科目群にまたがって履修することが望ましいが、全体で16単位を満たしていればよい。

## b. コース専門科目

- ① コース専門科目は、次の4つのコース毎に52単位以上修得しなければならない。  
環境コース、スポーツコース、健康コース、心理コース
- ② コース専門科目の中には、関係の深い複数のコースにまたがって設定されているものがある。申告の際には、自コースのコード番号で申告すること。
- ③ 教員免許状を取得するために必要な「教科に関する科目」、及び各種資格に必要な科目がいくつか設定されているので、「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄、備考



平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

欄に注意すること。

#### c. 特別演習

- ① 特別演習とは、3年次から4年次にかけて卒業研究のために少人数で行われるゼミ形式の授業のことをさす。
- ② 特別演習には、各コースの内容を専門的に学ぶものと、複数コースにまたがった学際的なテーマをプロジェクト的に学ぶものがある。

#### d. 卒業研究

- ① 特別演習によって絞り込まれた研究テーマを定められた指導教員の指導を中心に自ら研究活動を行い、その成果を定められた期日に提出する。
- ② 個人で研究する場合と複数で共同研究する場合と、特にあるテーマにしたがって教員と学生がプロジェクトを組んで合同で研究に取り組む場合がある。

### 2-1-5 教員免許状

教員となるためには、教育職員免許法の定める教職課程の科目を大学等で履修することなどにより、教員免許状を取得することが必要である。教員免許状には下記に示す普通免許状のほか、在学中の諸君には直接関係はないが、特別免許状、臨時免許状がある。

#### 教員免許状（普通免許状）の種類

| 区分       | 大学院修士課程修了                | 大学卒業                     | 短期大学卒業                   |
|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 小学校教諭    | 専修免許状                    | 一種免許状                    | 二種免許状                    |
| 中学校教諭    |                          |                          |                          |
| 特別支援学校教諭 | 専修免許状<br>(+小、中、高又は幼の普通免) | 一種免許状<br>(+小、中、高又は幼の普通免) | 二種免許状<br>(+小、中、高又は幼の普通免) |
| 養護教諭     | 専修免許状                    | 一種免許状                    | 二種免許状                    |
| 高等学校教諭   |                          |                          | 二種免許状                    |
| 幼稚園教諭    |                          |                          |                          |

注1) 中学校及び高等学校教員免許状は、更に教科別に設けられている。また、養護教諭の免許状には、学校種別はない。

注2) 免許状の名称は「小学校教諭普通免許状（一種）」、あるいは「小学校教諭一種免許状」のように表記される。

注3) 本学部では、普通免許状の一種・二種が取得できる。また、一種免許状を取得し、本学大学院教育学研究科において定められた単位を修得した者は、専修免許状が取得できる。

#### (1) 教員免許状取得に必要な共通的な科目

教育職員免許法では、文部省令にしたがって「日本国憲法（2単位）」「体育（2単位）」「外国語コミュニケーション（2単位）」及び「情報機器の操作（2単位）」の修得を定めている。本大学ではこれらの科目について次のように対応させている。

## 教員免許状取得に必要な共通的な科目とその対応科目区分

| 免許状取得に必要な共通的な科目 | 本学で対応している科目区分 |                                |         |
|-----------------|---------------|--------------------------------|---------|
| 日本国憲法           | 教養科目<br>専門科目  | 分野別科目（社会の分野）<br>教科に関する科目（社会選修） | どちらでもよい |
| 体育              | 教養科目          | 健康・スポーツ科目                      |         |
| 外国語コミュニケーション    | 教養科目          | 外国語科目                          |         |
| 情報機器の操作         | 教養科目          | 情報関連科目                         |         |

注1) これらの科目の単位をそれぞれ2単位ずつ修得していること。

注2) 日本国憲法については、卒業要件の区分（教養科目として申請した場合は教養科目あるいは自由履修、専門科目として申請した場合は専門科目あるいは自由履修）のどこに該当するものでもよい。

## (2) 教員免許状（普通免許状）取得に必要な専門科目

教育職員免許法では、免許状の種類によって履修すべき科目と必要単位数が細かく定められているが、大きく分けると次のようになる。

## 教員免許状取得に必要な専門科目の区分と必要単位数

| 免許状の種類   |    | 専門科目の区分と必要単位数 |              |          |              |              |          |
|----------|----|---------------|--------------|----------|--------------|--------------|----------|
| 学校種別     |    | 教職に関する科目      | 教科又は教職に関する科目 | 教科に関する科目 | 特別支援教育に関する科目 | 養護又は教職に関する科目 | 養護に関する科目 |
| 小学校教諭    | 一種 | 4 1           | 1 0          | 8        |              |              |          |
|          | 二種 | 3 1           | 2            | 4        |              |              |          |
| 中学校教諭    | 一種 | 3 1           | 8            | 2 0      |              |              |          |
|          | 二種 | 2 1           | 4            | 1 0      |              |              |          |
| 特別支援学校教諭 | 一種 |               |              |          | 2 6          |              |          |
|          | 二種 |               |              |          | 1 6          |              |          |
| 養護教諭     | 一種 | 2 1           |              |          |              | 7            | 2 8      |
|          | 二種 | 1 4           |              |          |              | 4            | 2 4      |
| 高等学校教諭   | 一種 | 2 3           | 1 6          | 2 0      |              |              |          |
| 幼稚園教諭    | 一種 | 3 5           | 1 0          | 6        |              |              |          |
|          | 二種 | 2 7           |              | 4        |              |              |          |

注1) 一種については「学士」の学位、二種については「準学士」の称号を有すること。

注2) 特別支援学校教諭については、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

## (3) 教員免許状取得の際の留意点

- ① 修得した単位は、卒業に必要な単位として数えると同時に教員免許状取得に必要な単位としても数えることができる（別の枠組みであると考え）。
- ② 修得した教員免許状に対応した専門科目の単位は、複数の免許状取得に共通している場合、それぞれに必要な単位として数えることができる。ただし、「教職科目」の一部と「教科又は教職に関する科目」については、学校種別によって共通的に数えることができ

ない場合があるので注意すること。

- ③ 同一教科の中学校教諭免許状と高等学校教諭免許状を取得する際、「科目区分」が異なっている教科があるのでよく確認すること。また、「教職に関する科目」についても一部異なるので注意すること。
- ④ 免許状取得のために履修しなければならない授業科目は、「各教諭免許状の履修基準」に掲げる免許法上の科目を別誌の「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄によって求めることができる。
- ⑤ 以下「各教諭免許状の履修基準」の表記については、次のように理解すること。
  - a. 「科目」とあるのは、免許法上にいう科目のことである。
  - b. 「科目」欄に“・・・(〇〇〇を含む。)”とあるのは、それを含めて履修する必要があるもの。たとえば“国文学(国文学史を含む。)”とある場合は、国文学に関する授業科目中に国文学史を含んでいる科目を履修しなければならない。
  - c. “・・・及び〇〇〇”は、両方の科目の履修を必要とするもの。たとえば、“日本史及び外国史”は、日本史に関する科目と外国史に関する科目の両方を履修しなければならない。
  - d. “「・・・、〇〇〇」”と科目名にカギカッコを付して列挙されているものは、その中の一つ以上の科目を履修する必要があるもの。たとえば、“「哲学、倫理学、宗教学」”は、哲学、倫理学、宗教学の中から一つ以上の科目を選んで履修する。

(4) 小学校教諭普通免許状

小学校教諭の免許状を取得するには、次表に示す科目の単位を修得しなければならない。

小学校教諭普通免許状

|                                       |                        | 科目の区分  | 各区分の最低修得単位                |  |
|---------------------------------------|------------------------|--|---------------------------|--|
|                                       |                        | 各科目に含めることが必要な事項  | 一種                        | 二種   |
| 教職に関する科目                              | 教職の意義等に関する科目           | (1)教職の意義及び教員の役割  |                           |  |
|                                       |                        | (2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）                                |                           |  |
|                                       |                        | (3)進路選択に資する各種の機会の提供等                                       |                           |  |
|                                       |                        | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 2 単位                      | 2 単位   |
|                                       | 教育の基礎理論に関する科目          | (1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想                                    |                           |  |
|                                       |                        | (2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） |                           |  |
|                                       |                        | (3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項                                    |                           |  |
|                                       |                        | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 6 単位                      | 4 単位   |
|                                       | 教育課程及び指導法に関する科目        | (1)教育課程の意義及び編成の方法  |                           |  |
|                                       |                        | (2)各教科の指導法   | 小学校 9 教科<br>各 2 単位以上      | 小学校 9 教科のうち、6 教科以上（音楽、図画工作及び体育のうち、2 以上を含む）をそれぞれ 2 単位以上 |
|                                       |                        | (3)道徳の指導法  | 2 単位                      | 1 単位   |
|                                       |                        | (4)特別活動の指導法  |                           |  |
|                                       |                        | (5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）                              |                           |  |
|                                       |                        | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 2 2 単位                    | 1 4 単位   |
|                                       | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | (1)生徒指導の理論及び方法   |                           |  |
| (2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 |                        |  |                           |  |
| (3)進路指導の理論及び方法                        |                        |  |                           |  |
|                                       | 合計修得単位（各事項を含むこと）       | 4 単位   | 4 単位                      |  |
| 教育実習                                  |                        | 5 単位   | 5 単位                      |  |
| 教職実践演習                                |                        | 2 単位   | 2 単位                      |  |
| 合 計                                   |                        |  | 4 1 単位                    | 3 1 単位   |
| 教科又は教職に関する科目                          |                        |  | 1 0 単位                    | 2 単位   |
| 教科に関する科目                              |                        |  | 小学校 9 教科のうち<br>1 以上の科目を修得 | 小学校 9 教科のうち<br>1 以上の科目を修得                              |
| 合 計                                   |                        |  | 8 単位                      | 4 単位   |

## (5) 中学校教諭普通免許状

中学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

中学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

| 科目の区分                         |                                       | 各区分の最低修得単位   |   |                          |
|-------------------------------|---------------------------------------|--|---|--------------------------|
|                               |                                       | 一種   | 二種                                      |                          |
| 教職に関する科目                      | 教職の意義等に関する科目                          | (1)教職の意義及び教員の役割  |   |                          |
|                               |                                       | (2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）                                |   |                          |
|                               |                                       | (3)進路選択に資する各種の機会の提供等                                       |   |                          |
|                               | 合計修得単位（各事項を含むこと）                      |  | 2 単位                                    | 2 単位                     |
|                               | 教育の基礎理論に関する科目                         | (1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想                                    |   |                          |
|                               |                                       | (2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） |   |                          |
|                               |                                       | (3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項                                    |   |                          |
|                               | 合計修得単位（各事項を含むこと）                      |  | 6 単位                                    | 4 単位                     |
|                               | 教育課程及び指導法に関する科目                       | (1)教育課程の意義及び編成の方法  |   |                          |
|                               |                                       | (2)各教科の指導法   | それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上 <sup>(注)</sup> | それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上 |
| (3)道徳の指導法                     |                                       | 2 単位   | 1 単位                                    |                          |
| (4)特別活動の指導法                   |                                       |  |   |                          |
| (5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） |                                       |  |   |                          |
| 合計修得単位（各事項を含むこと）              |                                       | 12 単位  | 4 単位                                    |                          |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目        | (1)生徒指導の理論及び方法                        |  |   |                          |
|                               | (2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 |  |   |                          |
|                               | (3)進路指導の理論及び方法                        |  |   |                          |
| 合計修得単位（各事項を含むこと）              |                                       | 4 単位   | 4 単位                                    |                          |
| 教育実習                          |                                       | 5 単位   | 5 単位                                    |                          |
| 教職実践演習                        |                                       | 2 単位   | 2 単位                                    |                          |
| 合 計                           |                                       | 3 1 単位   | 2 1 単位                                  |                          |
| 教科又は教職に関する科目                  |                                       | 8 単位   | 4 単位                                    |                          |

注) 1 種の「各教科の指導法」について、教育職員養成審議会の答申で 8 単位程度修得することが望ましいとされている。本学部では 6 単位を原則としている。

中学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

| 免許教科               | 教科に関する科目                                    | 最低修得単位 |     |
|--------------------|---|--------|-----|
|                    |   | 一種     | 二種  |
| 国語                 | 国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）                   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 国文学（国文学史を含む。）                               | 1以上    | 1以上 |
|                    | 漢文学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 書道（書写を中心とする。）                               | 1以上    | 1以上 |
|                    | 合計修得単位                                      | 20     | 10  |
| 社会                 | 日本史及び外国史                                    | 1以上    | 1以上 |
|                    | 地理学（地誌を含む。）                                 | 1以上    | 1以上 |
|                    | 「法学、政治学」                                    | 1以上    | 1以上 |
|                    | 「社会学、経済学」                                   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 「哲学、倫理学、宗教学」                                | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位             | 20  | 10     |     |
| 数学                 | 代数学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 幾何学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 解析学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 「確率論、統計学」                                   | 1以上    | 1以上 |
|                    | コンピュータ                                      | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位             | 20  | 10     |     |
| 理科                 | 物理学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 物理学実験（コンピュータ活用を含む。）                         | 1以上    | 1以上 |
|                    | 化学  | 1以上    | 1以上 |
|                    | 化学実験（コンピュータ活用を含む。）                          | 1以上    | 1以上 |
|                    | 生物学   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 生物学実験（コンピュータ活用を含む。）                         | 1以上    | 1以上 |
|                    | 地学  | 1以上    | 1以上 |
| 地学実験（コンピュータ活用を含む。） | 1以上   | 1以上    |     |
| 合計修得単位             | 20  | 10     |     |
| 音楽                 | ソルフェージュ                                     | 1以上    | 1以上 |
|                    | 声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）                       | 1以上    | 1以上 |
|                    | 器楽（合奏及び料奏並びに和楽器を含む。）                        | 1以上    | 1以上 |
|                    | 指揮法   | 1以上    | 1以上 |
|                    | 音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。） | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位             | 20  | 10     |     |
| 美術                 | 絵画（映像メディア表現を含む。）                            | 1以上    | 1以上 |
|                    | 彫刻  | 1以上    | 1以上 |
|                    | デザイン（映像メディア表現を含む。）                          | 1以上    | 1以上 |
|                    | 工芸  | 1以上    | 1以上 |
|                    | 美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）         | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位             | 20  | 10     |     |

| 免許教科   | 教科に関する科目                                     | 最低修得単位 |     |
|--------|--|--------|-----|
|        |  | 一種     | 二種  |
| 保健体育   | 体育実技   | 1以上    | 1以上 |
|        | 「体育原理、体育心理学、体育経営学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。） | 1以上    | 1以上 |
|        | 生理学（運動生理学を含む。）                               | 1以上    | 1以上 |
|        | 衛生学及び公衆衛生学                                   | 1以上    | 1以上 |
|        | 学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）               | 1以上    | 1以上 |
|        | 合計修得単位                                       | 20     | 10  |
| 保健     | 生理学及び栄養学                                     | 1以上    | 1以上 |
|        | 衛生学及び公衆衛生学                                   | 1以上    | 1以上 |
|        | 学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）               | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位 | 20   | 10     |     |
| 技術     | 木工（製図及び実習を含む。）                               | 1以上    | 1以上 |
|        | 金属加工（製図及び実習を含む。）                             | 1以上    | 1以上 |
|        | 機械（実習を含む。）                                   | 1以上    | 1以上 |
|        | 電気（実習を含む。）                                   | 1以上    | 1以上 |
|        | 栽培（実習を含む。）                                   | 1以上    | 1以上 |
|        | 情報とコンピュータ（実習を含む。）                            | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位 | 20   | 10     |     |
| 家庭     | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）                      | 1以上    | 1以上 |
|        | 被服学（被服製作実習を含む。）                              | 1以上    | 1以上 |
|        | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）                       | 1以上    | 1以上 |
|        | 住居学  | 1以上    | 1以上 |
|        | 保育学（実習を含む。）                                  | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位 | 20   | 10     |     |
| 英語     | 英語学  | 1以上    | 1以上 |
|        | 英米文学   | 1以上    | 1以上 |
|        | 英語コミュニケーション                                  | 1以上    | 1以上 |
|        | 異文化理解  | 1以上    | 1以上 |
| 合計修得単位 | 20   | 10     |     |

(6) 特別支援学校教諭普通免許状

特別支援学校教諭の免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

| 特別支援教育に関する科目                      |                                   | 最低修得単位 |     |     |   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------|-----|-----|---|
|                                   |                                   | 一種     |     | 二種  |   |
| 特別支援教育の基礎理論に関する科目                 |                                   | 2      |     | 2   |   |
| 特別支援教育領域に関する科目                    | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 1      | 1 6 | 1   | 8 |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 2      |     | 1   |   |
| 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 5      |     | 3   |   |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 |        |     |     |   |
| 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習        |                                   | 3      |     | 3   |   |
| 合計修得単位                            |                                   | 2 6    |     | 1 6 |   |

(7) 養護教諭普通免許状

養護教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「養護に関する科目」、「養護又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位を修得しなければならない。

養護教諭普通免許状（教職に関する科目・養護又は教職に関する科目）

| 科目の区分            |  | 最低修得単位 |     |
|------------------|--|--------|-----|
|                  |  | 一種     | 二種  |
| 教職に関する科目         | 各科目に含めることが必要な事項  |        |     |
|                  | (1)教職の意義及び教員の役割<br>-----<br>(2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）<br>-----<br>(3)進路選択に資する各種の機会の提供等   |        |     |
| 合計修得単位（各事項を含むこと） |  | 2      | 2   |
| 教育の基礎理論に関する科目    | (1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>-----<br>(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）<br>-----<br>(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 |        |     |
|                  | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 4      | 2   |
| 教育課程に関する科目       | (1)教育課程の意義及び編成の方法<br>-----<br>(2)道徳及び特別活動に関する内容<br>-----<br>(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）  |        |     |
|                  | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 4      | 2   |
| 生徒指導及び教育相談に関する科目 | (1)生徒指導の理論及び方法<br>-----<br>(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法   |        |     |
|                  | 合計修得単位（各事項を含むこと）   | 4      | 2   |
| 養護実習             |  | 5      | 4   |
| 教職実践演習           |  | 2      | 2   |
| 合 計              |  | 2 1    | 1 4 |
| 養護又は教職に関する科目     |  | 7      | 4   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 養護教諭普通免許状（養護に関する科目）

| 養護に関する科目             | 最低修得単位 |    |
|----------------------|--------|----|
|                      | 一種     | 二種 |
| 衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。） | 4      | 2  |
| 学校保健                 | 2      | 1  |
| 養護概説                 | 2      | 1  |
| 健康相談活動の理論及び方法        | 2      | 2  |
| 栄養学（食品学を含む。）         | 2      | 2  |
| 解剖学及び生理学             | 2      | 2  |
| 「微生物学、免疫学、薬理概論」      | 2      | 2  |
| 精神保健                 | 2      | 2  |
| 看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）  | 10     | 10 |
| 合計修得単位               | 28     | 24 |



(8) 高等学校教諭普通免許状

高等学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

高等学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

| 科目の区分           |                               | 一種  |                                     |
|-----------------|-------------------------------|---|-------------------------------------|
| 各科目に含めることが必要な事項 |                               | 各区分の最低修得単位  |                                     |
| 教職に関する科目        | 教職の意義等に関する科目                  | (1)教職の意義及び教員の役割<br>-----<br>(2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）<br>-----<br>(3)進路選択に資する各種の機会の提供等<br>-----<br>合計修得単位（各事項を含むこと）   | 2 単位                                |
|                 | 教育の基礎理論に関する科目                 | (1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>-----<br>(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）<br>-----<br>(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項<br>-----<br>合計修得単位（各事項を含むこと） | 6 単位                                |
|                 | 教育課程及び指導法に関する科目 <sup>注)</sup> | (1)教育課程の意義及び編成の方法<br>-----<br>(2)各教科の指導法<br>-----<br>(4)特別活動の指導法<br>-----<br>(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）<br>-----<br>合計修得単位（各事項を含むこと）                         | それぞれ受けようとする免許教科ごとに2単位以上<br><br>6 単位 |
|                 | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目        | (1)生徒指導の理論及び方法<br>-----<br>(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法<br>-----<br>(3)進路指導の理論及び方法<br>-----<br>合計修得単位（各事項を含むこと）  | 4 単位                                |
|                 | 教育実習                          |   | 3 単位                                |
|                 | 教職実践演習                        |   | 2 単位                                |
|                 | 合 計                           |   | 23 単位                               |
|                 | 教科又は教職に関する科目                  |   | 16 単位                               |

注) 高等学校教諭普通免許状では、小・中学校における「教職に関する科目」の「教育課程及び指導法に関する科目」第(3)項「道徳の指導法」がないので注意すること。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 高等学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

| 免許教科                       | 教科に関する科目  | 最低修得単位<br>(一種)        | 免許教科   | 教科に関する科目                                   | 最低修得単位<br>(一種)          |             |
|----------------------------|---|-----------------------|--------|--|-------------------------|-------------|
| 国語                         | 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)   | 1以上                   | 美術     | 絵画(映像メディア表現を含む。)                           | 1以上                     |             |
|                            | 国文学(国文学史を含む。)   | 1以上                   |        | 彫刻   | 1以上                     |             |
|                            | 漢文学   | 1以上                   |        | デザイン(映像メディア表現を含む。)                         | 1以上                     |             |
|                            | 合計修得単位  | 20                    |        | 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)        | 1以上                     |             |
| 地理歴史                       | 日本史   | 1以上                   | 工芸     | 合計修得単位                                     | 20                      |             |
|                            | 外国史   | 1以上                   |        | 図法及び製図                                     | 1以上                     |             |
|                            | 人文地理学及び自然地理学  | 1以上                   |        | デザイン                                       | 1以上                     |             |
|                            | 地誌  | 1以上                   |        | 工芸制作(プロダクト制作を含む。)                          | 1以上                     |             |
| 公民                         | 合計修得単位  | 20                    | 書道     | 工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。) | 1以上                     |             |
|                            | 「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」   | 1以上                   |        | 書道(書写を含む。)                                 | 1以上                     |             |
|                            | 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」   | 1以上                   |        | 書道史  | 1以上                     |             |
|                            | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」  | 1以上                   |        | 「書論、鑑賞」                                    | 1以上                     |             |
| 数学                         | 合計修得単位  | 20                    | 保健体育   | 「国文学、漢文学」                                  | 1以上                     |             |
|                            | 代数学   | 1以上                   |        | 「国文学、漢文学」                                  | 1以上                     |             |
|                            | 幾何学   | 1以上                   |        | 合計修得単位                                     | 20                      |             |
|                            | 解析学   | 1以上                   |        | 家庭   | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 1以上         |
|                            | 「確率論、統計学」   | 1以上                   |        |  | 被服学(被服製作実習を含む。)         | 1以上         |
|                            | コンピュータ  | 1以上                   |        |  | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)  | 1以上         |
| 合計修得単位                     | 20  | 住居学(製図を含む。)           | 1以上    |  |                         |             |
| 理科                         | 物理学   | 1以上                   | 工業     |  | 工業の関係科目                 | 1以上         |
|                            | 化学  | 1以上                   |        |  | 職業指導                    | 1以上         |
|                            | 生物学   | 1以上                   |        | 合計修得単位                                     | 20                      |             |
|                            | 地学  | 1以上                   |        | 英語   | 英語学                     | 1以上         |
|                            | 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」 | 1以上                   |        |  | 英米文学                    | 1以上         |
| 合計修得単位                     | 20  | 英語コミュニケーション           | 1以上    |  |                         |             |
| 音楽                         | ソルフージュ  | 1以上                   | 英語     |  | 異文化理解                   | 1以上         |
|                            | 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)   | 1以上                   |        |  | 合計修得単位                  | 20          |
|                            | 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)  | 1以上                   |        | 情報   | 情報社会及び情報倫理              | 1以上         |
|                            | 指揮法   | 1以上                   |        |  | コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)    | 1以上         |
|                            | 音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)   | 1以上                   |        |  | 情報システム(実習を含む。)          | 1以上         |
| 及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) | 1以上   | 情報通信ネットワーク(実習を含む。)    | 1以上    |  |                         |             |
| 合計修得単位                     | 20  | マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) | 1以上    |  |                         |             |
| 音楽                         | 指揮法   | 1以上                   | 情報     | 情報と職業                                      | 1以上                     |             |
|                            | 音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)   | 1以上                   |        | 合計修得単位                                     | 20                      |             |
|                            | 及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)  | 1以上                   |        | 英語   | 英語学                     | 1以上         |
|                            | 合計修得単位  | 20                    |        |  | 英米文学                    | 1以上         |
|                            | 情報  | 情報社会及び情報倫理            |        |  | 1以上                     | 英語コミュニケーション |
| コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)       |   | 1以上                   | 異文化理解  |  | 1以上                     |             |
| 情報システム(実習を含む。)             |   | 1以上                   | 合計修得単位 |  | 20                      |             |
| 情報通信ネットワーク(実習を含む。)         |   | 1以上                   | 英語     | 英語学  | 1以上                     |             |
| マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)      |   | 1以上                   |        | 英米文学                                       | 1以上                     |             |
| 情報と職業                      | 1以上   | 英語コミュニケーション           |        | 1以上  |                         |             |
| 合計修得単位                     | 20  | 異文化理解                 |        | 1以上  |                         |             |
| 合計修得単位                     | 20  | 合計修得単位                |        | 20   |                         |             |

(9) 幼稚園教諭普通免許状

幼稚園教諭の免許状を取得するには、次の表に示す科目の単位を修得しなければならない。

幼稚園教諭普通免許状

| 科目の科目区分                       |                                       | 各区分の最低修得単位  |   |      |
|-------------------------------|---------------------------------------|---|---|------|
|                               |                                       | 一種  | 二種  |      |
| 教職に関する科目                      | 教職の意義等に関する科目                          | (1)教職の意義及び教員の役割   |   |      |
|                               |                                       | (2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）                                     |   |      |
|                               |                                       | (3)進路選択に資する各種の機会の提供等  |   |      |
|                               | 合計修得単位（各事項を含むこと）                      |   | 2 単位  | 2 単位 |
|                               | 教育の基礎理論に関する科目                         | (1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想   |   |      |
|                               |                                       | (2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）      |   |      |
|                               |                                       | (3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項   |   |      |
|                               | 合計修得単位（各事項を含むこと）                      |   | 6 単位  | 4 単位 |
|                               | 教育課程及び指導法に関する科目                       | (1)教育課程の意義及び編成の方法   |   |      |
|                               |                                       | (2)保育内容の指導法   |   |      |
| (3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） |                                       |   |   |      |
| 合計修得単位（各事項を含むこと）              |                                       | 1 8 単位  | 1 2 単位  |      |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目        | (1)幼児理解の理論及び方法                        |   |   |      |
|                               | (2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 |   |   |      |
| 合計修得単位（各事項を含むこと）              |                                       | 2 単位  | 2 単位  |      |
| 教育実習                          |                                       | 5 単位  | 5 単位  |      |
| 教職実践演習                        |                                       | 2 単位  | 2 単位  |      |
| 合 計                           |                                       | 3 5 単位  | 2 7 単位  |      |
| 教科又は教職に関する科目                  |                                       | 1 0 単位  |   |      |
| 教科に関する科目                      |                                       | 小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する | 小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する |      |
| 合 計                           |                                       | 6 単位  | 4 単位  |      |

注) 教育実習（幼稚園）5 単位については、初等教育実地研究 I・II・III {教育実習（小学校）} をもって代えることができる。また、教育実習（小学校）5 単位のうち 3 単位までは中等教育実地研究 I・II・III {教育実習（中学校）} をもって代えることができる。

## 2-1-6 諸資格

## (1) 社会教育主事

社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与えることを職務とする専門職員（地方公務員）である。各都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、各都道府県や市町村などで青少年から高齢者に対する様々な事業（講座等）の企画を立てたり、実際に公民館や青少年教育施設で指導・助言などをする。

本学部在学中に法令で定められた社会教育に関する科目の単位を修得し、さらに卒業後、1年以上社会教育主事補の職にあった者が、社会教育主事になることができる。つまり対応科目の単位修得によって直ちに資格が得られるものではないが、将来、社会教育関係に進む場合、有利な条件を持つことになる。

この社会教育主事となる資格を取得するには、次の表に示す基準にしたがって所要の単位を修得しなければならない。

法令に規定する科目と単位（社会教育主事）

| 科 目（本学部の授業科目名ではない）              |                         | 所要単位 |
|---------------------------------|-------------------------|------|
| 生涯学習概論                          |                         | 4    |
| 社会教育計画                          |                         | 4    |
| 社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち以上の科目 |                         | 4    |
| 社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）              | 社会教育特講Ⅰ・Ⅱ及びⅢにわたって履修すること | 1 2  |
| 社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設）           |                         |      |
| 社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）               |                         |      |
| 合計修得単位                          |                         | 2 4  |

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

## (2) 学校図書館司書教諭

高度情報社会を迎え、学校図書館は「学習情報センター」及び「読書センター」としての機能の充実が求められている。その中心的役割を担うのが学校図書館司書教諭で、小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）において、図書のみならず、視聴覚教育の資料・各種学習資料を収集・整理・保存し、これを児童・生徒・教師の利用に供するために様々な事業を行う専門職である。現在、小規模校を除く全ての学校に学校図書館司書教諭を置くことが推進されている。

「学校図書館司書教諭」は、いわゆる「資格」とは若干性質が異なり、「資格証明書」や「免許状」を所有するわけではない。「学校図書館司書教諭講習規定」に基づく所定の講習を受けた者に対して、文部科学大臣による「修了証書」が授与され、この「修了証書」を持つ教員（小・中・高および特別支援学校の教諭普通免許状を持つ者）が、その勤務校において「学校図書館司書教諭」となる資格を持つのである。（つまり、「修了証書」を所持していても学校に正規教員として勤務し、さらにその学校において発令がくだされなければ、「学校図書館司書教諭」にはなれない。）

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

本学部では、この講習科目に該当する科目が設けられており、5 科目 10 単位を履修し単位を修得した者は、卒業後の所定の手続きにより修了証書が授与される。

学校図書館司書教諭講習科目と単位数

| 科 目          | 単位数 | 備 考                 |
|--------------|-----|---------------------|
| 学校経営と学校図書館   | 2   | 教職に関する科目中、(1) 共通に掲載 |
| 学校図書館メディアの構成 | 2   |                     |
| 情報メディアの活用    | 2   |                     |
| 学習指導と学校図書館   | 2   |                     |
| 読書と豊かな人間性    | 2   | 「教科又は教職に関する科目」に掲載   |
| 合計修得単位       | 10  |                     |

(3) 学芸員

学芸員とは、国立・公立・私立を問わず、様々な博物館・美術館・資料館等において資料の収集や保管、調査研究及び教育普及活動に従事する専門職員である。

本学部では、歴史系、自然史系、美術系の学芸員の資格取得に配慮がある。ただし、近年、学芸員は専門的な知識ばかりでなく文化・社会・芸術について幅広い教養をそなえた研究者としての役割が期待されており、学芸員となるためには、次のような努力が必要である。

- ① 修士課程を修了しておきたい。
- ② 地方自治体の博物館や美術館では、専門職を現職教員や現職員から採用することがあるので、あらかじめそれらの職種に就ける資格を得ておきたい。

法令に規定する科目と単位（学芸員資格）

| 科 目（本学の授業科目名称ではない） |             | 所要単位 |      |
|--------------------|-------------|------|------|
| 博物館に関する科目          | 生涯学習概論      | 2    | 全て必修 |
|                    | 博物館概論       | 2    |      |
|                    | 博物館経営論      | 2    |      |
|                    | 博物館資料論      | 2    |      |
|                    | 博物館資料保存論    | 2    |      |
|                    | 博物館展示論      | 2    |      |
|                    | 博物館教育論      | 2    |      |
|                    | 視聴覚教育・メディア論 | 2    |      |
|                    | 博物館実習       | 2    |      |
|                    | 選択          | 文化史  |      |
| 美術史                |             |      |      |
| 考古学                |             |      |      |
| 民俗学                |             |      |      |

注) 資格証書は交付されない。上記単位の履修（見込）証明書と卒業（見込）証明書を要求博物館等に提出することで認定される。

(4) 公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、安全に、正しく、本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることができる指導者のことを指す。所定のカリキュラムによる講習会等に参加し、試験に合格すると認定される。その種類と役割は次の通り。

公認スポーツ指導者の種類と役割

| 種 類               |              | 役 割   | 所定時間                                     |
|-------------------|--------------|---|--|
| スポーツ指導者基礎資格       | スポーツリーダー     | 地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。                                | 35h                                      |
| 競技別指導者資格          | 指導員          | 地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に個々人の年齢や性別などに合わせた指導にあたる。                  | 共通 I :35h<br>専門:40h 以上                   |
|                   | 上級指導員        | 年齢や競技レベルに応じた指導にあたり、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。                                  | 共通 I + II :70h<br>専門:20h 以上              |
|                   | コーチ          | 広域スポーツセンターや競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。                                      | 共通 I + II + III:152.5h<br>専門:60h 以上      |
|                   | 上級コーチ        | ナショナルレベルのトレーニング拠点において、選抜された競技者の育成強化にあたる。  | 共通 I + II + III + IV:192.5h<br>専門:40h 以上 |
|                   | 教師           | 商業スポーツ施設等において競技別の専門的指導者として会員のニーズに合わせた実技指導を行う。                                   | 共通 I + II + III:152.5h<br>専門 : 80h 以上    |
|                   | 上級教師         | 各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的な役割を担う。  | 共通 I + II + III:152.5h<br>専門:60h 以上      |
| フィットネス系資格         | ジュニアスポーツ指導員  | 地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた動きづくりの指導を行う。                                   | 共通 I :35h<br>専門:40h                      |
|                   | スポーツプログラマー   | 青年期以降のすべての人に対し、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。  | 共通 I + II :70h<br>専門:63h                 |
| メディカル・コンディショニング資格 | スポーツドクター     | スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療予防研究等にあたる。                                       | 基礎:21 単位<br>応用:20 単位                     |
|                   | アスレティックトレーナー | スポーツドクター及びコーチと協力しながら、競技者の障害予防、応急処置、リハビリテーション、トレーニング、コンディショニング等にあたる。             | 共通 I + II + III:152.5h<br>専門:136h        |
| マネジメント指導者資格       | アシスタントマネジャー  | 総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。  | 共通 I :35h<br>専門:35h                      |
|                   | クラブマネジャー     | 総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。 | 共通 I :35h<br>専門:167.5h                   |

本学部は、公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースになっている。したがって、本学部が開設している所定の科目の単位を修得することにより、資格別に、講習あるいは試験が免除される。

免除される公認スポーツ指導者資格の種類と区分

| 公認スポーツ指導者の種類              | 共通科目                  | 専門科目       |
|---------------------------|-----------------------|------------|
|                           | 講習・試験                 | 講習・試験      |
| スポーツリーダー（注1）              | 免除される                 | 該当なし       |
| 指導員・上級指導員<br>コーチ・上級コーチ    | 免除される<br>(共通Ⅳは免除されない) | 免除されない（注2） |
| ジュニアスポーツ指導員<br>スポーツプログラマー | 免除される                 | 講習のみ免除される  |
| アスレティックトレーナー              | 免除される                 | 免除されない     |
| アシスタントマネジャー               | 免除される                 | 講習のみ免除される  |

注1) スポーツリーダーは、基礎資格なので共通科目のみ。本学部保健体育選修・スポーツコース・健康コース修了者は、修得科目の種類にかかわらず、申請すれば資格が得られる。

注2) 競技別指導者資格の専門科目は、それぞれの種目の中央競技団体が主催する講習および検定試験を受けなければならない。

注3) スポーツドクターは医師免許を有している人のみ対象。

注4) いずれの場合も、資格申請や修了証明書発行手続きには審査料等が必要となる。

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目カリキュラム

|     |                       |       |     |                            |              |
|-----|-----------------------|-------|-----|----------------------------|--------------|
| 共通Ⅰ | 文化としてのスポーツ            | 3.75h | 共通Ⅲ | 社会の中のスポーツ                  | 5h           |
|     | 指導者の役割Ⅰ               | 5h    |     | 指導者の役割Ⅱ                    | 7.5h         |
|     | トレーニング論               | 3.75h |     | スポーツと法                     | 5h           |
|     | スポーツ指導者に必要な<br>医学的知識Ⅰ | 7.5h  |     | アスリートの栄養・食事                | 5h           |
|     | スポーツと栄養               | 2.5h  |     | スポーツの心理Ⅰ                   | 7.5h         |
|     | 指導計画と安全管理             | 3.75h |     | スポーツの心理Ⅱ                   | 10h          |
|     | ジュニア期のスポーツ            | 5h    |     | 身体のしくみと働き                  | 10h          |
|     | 地域におけるスポーツ振興          | 3.75h |     | トレーニング論Ⅱ                   | 20h          |
|     |                       |       |     |                            | 競技者育成のための指導法 |
| 共通Ⅱ | 社会の中のスポーツ             | 5h    | 共通Ⅳ | スポーツ指導者に必要な<br>医学的知識Ⅱ      | 20h          |
|     | スポーツと法                | 5h    |     | トップアスリートを取り<br>巻く諸問題       | 20h          |
|     | スポーツの心理Ⅰ              | 7.5h  |     | 指導能力を高めるための<br>スキルアッププログラム | 20h          |
|     | スポーツ組織の運営と事業          | 10h   |     |                            |              |
|     | 対象に合わせたスポーツ指導         | 7.5h  |     |                            |              |

注5) 免除を受けるために必要な本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注6) スポーツプログラマー及びジュニアスポーツ指導員の専門科目については、「授業科目一覧及び授業時間割」を参照すること。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## (5) 健康運動指導士

健康運動指導士は、生涯を通じた国民の健康づくりに寄与する目的で創設され、生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進するための運動指導の専門家としての役割を担う。

本学はその養成校として認定されており、所定の単位を取得すると卒業時に受験資格が得られる。

## 健康運動指導士養成カリキュラム

| 科目（本学の授業科目名称ではない）       | 所要授業時間数 |       |
|-------------------------|---------|-------|
| 健康づくり施策概論               | 講義 3    |       |
| 健康管理概論                  | 講義 3    |       |
| 生活習慣病（成人病）              | 講義 13   |       |
| 運動生理学                   | 講義 12   |       |
| 機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源） | 講義 9    |       |
| 健康づくり運動の理論              | 講義 9    |       |
| 運動障害と予防                 | 講義 5    |       |
| 体力測定と評価                 | 講義 2    | 実習 6  |
| 健康づくり運動の実際              |         | 実習 22 |
| 救急処置                    | 講義 2    | 実習 2  |
| 運動プログラムの管理              | 講義 7    | 実習 6  |
| 運動負荷試験                  | 講義 1    | 実習 4  |
| 運動行動変容の理論と実際            | 講義 3    |       |
| 運動と心の健康増進               | 講義 4    |       |
| 栄養摂取と運動                 | 講義 6    | 実習 1  |
| 健康産業施設現場実習              |         | 実習    |

注) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。



## (6) 二級・木造建築士受験資格対応専門科目

二級・木造建築士受験資格を取得するためには、下表の「建築士法に定める建築に関する科目分類」の各分類における最低修得単位数を満たしたうえで、実務経験年数によって異なる合計単位数を修得しなければならない。

## 二級建築士専門科目

| 建築士法に定める建築に関する科目分類     | 本学における開講科目   | 最低修得単位数     |             |             |
|------------------------|--|-------------|-------------|-------------|
|                        |  | 実務経験<br>0年  | 実務経験<br>1年  | 実務経験<br>2年  |
| 建築設計製図                 | 設計製図Ⅰ<br>設計製図Ⅱ<br>設計製図Ⅲ<br>インテリアデザイン演習                       | 5 単 位 以 上   |             |             |
| 建築計画<br>建築環境工学<br>建築設備 | 住居計画学<br>住環境計画学<br>建築学概論<br>住居環境学<br>都市設備及び住居環境              | 7 単 位 以 上   |             |             |
| 構造力学<br>建築一般構造<br>建築材料 | 構造力学<br>材料力学<br>建築一般構造<br>コンクリート構造学<br>建築材料学基礎<br>建設材料学      | 6 単 位 以 上   |             |             |
| 建築生産                   | 建築施工   | 1 単 位 以 上   |             |             |
| 建築法規                   | 建築法規   | 1 単 位 以 上   |             |             |
| その他                    | 図学演習<br>ベーシックデザイン<br>測量学演習<br>測量学<br>ユニバーサルデザイン演習<br>居住地計画演習 |             |             |             |
| 合 計                    |  | 40 単位<br>以上 | 30 単位<br>以上 | 20 単位<br>以上 |

建築士の設計又は工事管理の業務範囲

| 構造                    |       | 木造                  |      |      | 木造以外                |         | すべての構造                   |
|-----------------------|-------|---------------------|------|------|---------------------|---------|--------------------------|
|                       |       | 高さ 13m 以下かつ軒高 9m 以下 |      |      | 高さ 13m 以下かつ軒高 9m 以下 |         |                          |
| 延べ面積(m <sup>2</sup> ) |       |                     | 階数 1 | 階数 2 | 階数 3 以上             | 階数 2 以下 | 階数 3 以上                  |
|                       | 30 以下 | A                   |      | C    |                     |         | A                        |
| 30 を超え 100 以下         |       |                     |      |      |                     |         |                          |
| 100 を超え 300 以下        | B     |                     |      |      |                     |         |                          |
| 300 を超え 500 以下        | 一般    |                     | C    |      |                     | D       | 高さ 13m を超えるまたは軒高 9m を超える |
| 500 を超え 1000 以下       |       |                     |      |      |                     |         |                          |
| 1000 を超える             | 一般    | C                   |      | D    |                     |         |                          |
|                       | 特定    |                     |      |      |                     |         |                          |

(注)

1. 本学情報文化課程で取得できるのは、2級建築士の受験資格である。
2. 特定とは学校、病院、劇場、映画館、観覧場、公会堂、オーディトリウムを有する集会場、百貨店。
3. A:誰にでもできる、B:一級、二級、木造建築士でなければならない、C:一級、二級建築士でなければならない、D:一級建築士でなければならない

## 2-1-7 資料

## (1) 教育実習

## a. 教育実習とは

教育実習とは、大学在学中に一定期間継続的に幼稚園・小学校・中学校・高等学校、及び特別支援学校等での教育場面に触れ、教師や子どもが行う教育の実際を観察し、様々な教員としての職務に参加し、教材研究をして授業を実施する（あるいは指導計画を作成し授業以外の諸活動を行う）授業科目である。具体的な目的は以下の通り。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みること。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得すること。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証すること。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激すること。

## b. 教育（医療）現場における実習の種類

教育実習は教員免許状を取得するために必ず行わなければならない。全ての学校種に共通に「教職に関する科目」として設定されているものであり、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教諭免許状の取得には「教育実習」、養護教諭免許状の取得には「養護実習」として、それぞれの学校種毎に必要な単位が定められている。

この他に、特別支援学校教諭（特別支援学校の先生）の免許状を取得する場合は「特別支援教育に関する科目」、養護教諭（保健室の先生）の免許状を取得する場合は「養護に関する科目」の中にも実際に学校や病院において行われる実習（それぞれ「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」「臨床実習」）が設定されている。

ここでは、全ての学校種に共通した「教職に関する科目」の教育実習（養護実習）について解説しており、上述した「特殊教育に関する科目」及び「養護に関する科目」にある実習科目については、該当する課程・コースのガイダンスに留意すること。

## c. 教育実習に対応した授業科目の種類

教育職員免許法（教免法）で規定されている教育実習（養護実習）には「事前事後指導」が平行して設定されており、これを同時に受講することで教育実習の事前準備、実習中必要な知識・技術や心構え等の学習、さらに実習の成果を後につなげ、さらに深めるための学習等が行われる。

本学部では、各学校種等に応じて 3・4 年次に 2—3 週間程度の集中授業として設定される「教育実地研究（4 または 2 単位）」及び「養護教育実地研究（2 単位）」と、1・2 年次に行われる「教育実地研究入門□・□（各 1 単位）」及び 2 年次に行われる「養護教育実地研究入門（1 単位）」が設定されている。

## 教育実習に対応した本学部の科目の種類

|          | 必要単位数 | 教育実習                  | 事前指導     |
|----------|-------|-----------------------|----------|
| 小学校教諭    | 5     | 初等教育実地研究（事後指導を含む）     | 教育実地研究入門 |
| 中学校教諭    | 5     | 中等教育実地研究（事後指導を含む）     |          |
| 高等学校教諭   | 3     | 中等教育実地研究（事後指導を含む）     |          |
| 幼稚園教諭    | 5     | 幼児教育実地研究（事後指導を含む）     |          |
| 特別支援学校教諭 | 3     | 特別支援教育実地研究（事前事後指導を含む） |          |
| 養護教諭     | 5     | 養護教育実地研究（事後指導を含む）     | 養護実地研究入門 |

## 注意事項

- ① 教育職員免許法（教免法）施行規則の定めでは、教育実習の総単位数の一定部分には、他の学校種の免許状取得のための教育実習の単位をあてることが可能となっている。そこで、学校教育教員養成課程学校教育コースでは、初等教育実地研究 4 または 2 単位と中等教育実地研究 4 または 2 単位に加えて教育実地研究入門 I・II の 2 単位を修得すれば、計 8 単位で、小学校・中学校両方の教員免許が取得できるように設定されている。
- ② 同様に教免法では、隣り合った学校段階で教育実習を代替することも可能とされている。したがって、たとえば小学校教諭免許状を取得するために「初等教育実地研究」を履修していれば、それはそのまま幼稚園教諭免許状取得のための教育実習の単位として使用することができる。
- ③ 教育実習の履修にあたっては、履修申告のためのオリエンテーションが行われる。そこで履修基準を満たしているかどうか判断され、各学校種の教員免許状取得のために必要な教育実習の種類と単位数が示される。オリエンテーションは教育実習実施前に随時行われるので、掲示に注意すること。

## d. 教育実習を実施する学校

教育実習は、本学部附属学校（園）を中心に周辺の協力校、及び実習者の出身校で行われる。学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程の学生は、オリエンテーションによって実施する学校が割り振られる。また、情報文化課程及び人間環境教育課程の学生で教員免許状の取得を希望する学生は、原則として各自の出身校に自ら連絡をとり、それぞれの出身校で実習を行なう（「帰省実習」と呼ぶ）。いずれの場合も事前のオリエンテーションで必要な手続きをとらなければ実施できないので注意すること。

## (2) 介護等体験

## a. 介護等体験の趣旨

平成 9 年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」、いわゆる「介護等体験特例法」が公布された。これにより「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連体の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点」から、小・中学校の

教諭の普通免許状を取得しようとする者に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行うことが義務づけられた。この体験を通して、以下のことを学ぶ。

- ① 人間の尊さや人権を理解する。
- ② 一人一人が違った個性と能力を有していることを実感し、様々な価値観があることを理解する。
- ③ 諸施設やそこで働いている人々について理解する。

#### b. 対象学生

上記の法律は平成 10 年度から施行されており、平成 10 年度以降の大学等入学者に適用される。本学部の学校教育教員養成課程（特別支援教育コースを除く）及び養護教諭養成課程の学生と、情報文化課程と人間環境教育課程の学生のうち教員免許取得を希望する者が対象となる。看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの免許を既に取得している人や、身体障害者手帳の交付を受けている人は免除される。

#### c. 体験の期間・時間

18 歳に達した後に、原則として社会福祉施設又は老人保健施設で 5 日間、特別支援学校で 2 日間、合計 7 日間以上の介護等の体験を行う必要がある。茨城大学では、2 年次に上記の日数をそれぞれ連続 5 日間及び連続 2 日間、大学の割り当てた施設で行うこととしている。1 年次の 1 月頃にオリエンテーションが実施される。

1 日当たりの必要時間は、「介護等の体験の内容等を総合的に勘案しつつ、適切な時間を確保するものとする」となっており、受入施設側の裁量に委ねられる。社会福祉施設の場合、原則として日帰りで概ね 5～6 時間程度とする。

#### d. 介護等体験の内容

介護等体験の内容は次の 2 つに大別されるが、具体的に何を行うかは受け入れ側の判断による。

- ① 直接的に介護・介助・交流等を行う：食事、排泄等の介護・介助、話し相手、散歩等の交流、学習活動等の支援や手伝い
- ② 受入施設・学校の職員の業務の補助：行事・バザー等の手伝い、掃除・洗濯・おむつたたみ等

#### e. 受け入れ施設及び学校の概要

##### ① 社会福祉施設又は老人保健施設

ア. 社会福祉施設：憲法第 25 条に定めた国民の「生存権」、すなわち「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するためにつくられたもの。

a. 高齢者施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、デイサービスセンター、他）

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- b. 児童福祉・障害児施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設、児童自立支援施設、他）
- c. 障害者にかかわる施設（身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設）
- d. 生活保護にかかわる施設（救護施設、他）
- イ. 老人保健施設：高齢者の病院等からの居宅復帰を支援するためにリハビリテーション機能を重視し、医療ケアと生活サービスをあわせて提供する施設。医療施設と福祉施設の中間的機能を有する。
- ② 特別支援学校：視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱などの子どもが通っている学校。
  - ア. 盲学校（盲児、強度弱視児）
  - イ. 聾学校（聾児、高度難聴児）
  - ウ. 知的障害特別支援学校（知的発達の遅滞の程度が中等以上の子ども等）
  - エ. 肢体不自由特別支援学校（運動・動作の不自由の程度が重度な子ども等）
  - オ. 病弱特別支援学校（慢性疾患で長期にわたって医療又は生活規則が必要な子ども等）

### (3) 手続き

概ね次の事項が必要となる。

#### ① 健康診断書

体験前には、健康診断を受診し、健康診断書を体験先に持参しなければならない。

#### ② 証明書

体験終了時には、それぞれの体験先で「証明書」を受け取ることになる。これは、教員免許状を申請する際（4年次の11月頃）に必要となるので、大切に保管する必要がある。

#### ③ 学生個人票

体験前に作成し、証明書の用紙とともに体験先に持参する。

#### ④ 保険

以下の2つの保険に加入する。

- ・「学生教育研究災害傷害保険」

原則として、学生本人の傷害等に対して支払われる。

- ・「学研災付帯賠償責任保険（Aコース：学生教育研究賠償責任保険）」

他人に傷害を与えたり、他人の財物を損壊した場合に支払われる。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## (4) 実用英語技能検定及び日本漢字能力検定合格者に係る単位認定

## a. 認定授業科目及び単位数

このことについて、合格者は下記のように単位が認定される。

## 実用英語技能検定合格者の認定科目及び単位数

| 準 1 級        |      |     | 1 級          |      |     |
|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| 認定授業科目       | 区分   | 単位数 | 認定授業科目       | 区分   | 単位数 |
| 英語コミュニケーションⅡ | 専門科目 | 2   | 英語コミュニケーションⅡ | 専門科目 | 2   |
| 英語コミュニケーションⅣ | 専門科目 | 2   | 英語コミュニケーションⅣ | 専門科目 | 2   |
|              |      |     | 英語コミュニケーションⅥ | 専門科目 | 2   |
| 認定単位数        |      | 4   | 認定単位数        |      | 6   |
| 合計           |      |     | 6 単位 (限度)    |      |     |

## 日本漢字能力検定合格者の認定科目及び単位数

| 準 1 級 以 上 |      |      |   |
|-----------|------|------|---|
| 認定授業科目    | 区分   | 単位数  | 備 考   |
| 国語学演習Ⅱ    | 専門科目 | 2    | 認定は 1 回とし、左記認定授業科目のうち、いずれか 1 科目 2 単位とする。<br>なお、認定授業科目については、学生が選択する。 |
| 中国文字学研究   | 専門科目 | 2    |   |
| 認定単位数     |      | 2 単位 |   |

## b. 認定願受付期間 (受付最終日が土曜日の場合は前日、日曜日の場合は前々日)

受付は年 2 回とし、次の期間とする。

1 回目：8 月 20 日～8 月 31 日

2 回目：1 月 20 日～1 月 31 日

## c. 認定の通知

認定された者については、「単位認定通知書」を本人に交付する。なお、交付日等に関しては別に掲示する。

## d. その他

- ① 上記認定は、「大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等認定に関する細則 (平成 7 年 3 月 31 日制定) 第 1 条 (9) に基づく単位の認定である。
- ② 「単位認定願」は教育学部学務係で受領し、受付期間内に同係へ提出すること。
- ③ 上記の単位認定については、教育学部在籍者に限る。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 2-1-8 開設科目と受講者数

## (1) 教職に関する科目

## a. 共通

| 授業コード | 科目名称               | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P0001 | 教育実践と教師(A)         | 望月 厚志  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 233  |
| P0002 | 教育実践と教師(B)         | 望月 厚志  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 55   |
| P0003 | 学校・教師の社会学          | 小島 秀夫  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 3    |
| P0004 | 教育の本質と理念(A)(B)     | 小川 哲哉  | 前期  | 木  | 1  | 常勤     | 168  |
| P0006 | 教育の本質と理念(C)(D)     | 小川 哲哉  | 後期  | 木  | 1  | 常勤     | 130  |
| P0008 | 学校と教育の歴史           | 佐藤 環   | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 145  |
| P0009 | 人間教育の心理学(A)(B)     | 丸山 広人  | 後期  | 木  | 1  | 常勤     | 180  |
| P0011 | 人間教育の心理学(C)(D)     | 丸山 広人  | 前期  | 木  | 1  | 常勤     | 140  |
| P0013 | 発達の理解 I            | 渡部 玲二郎 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 127  |
| P0014 | 発達の理解 II           | 村野井 均  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 40   |
| P0015 | 教育の制度と経営(A)(D)     | 加藤 崇英  | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 202  |
| P0016 | 教育の制度と経営(B)(C)     | 加藤 崇英  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 107  |
| P0020 | 学校教育課程論(A)(C)(D)   | 佐藤 環   | 前期  | 月  | 2  | 常勤     | 185  |
| P0021 | 学校教育課程論(B)(E)(F)   | 佐藤 環   | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 123  |
| P0026 | 幼児教育課程論            | 佐藤 環   | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 42   |
| P0027 | 道徳と価値の教育(A)        | 矢田 訓子  | 前期  | 月  | 2  | 非常勤    | 108  |
| P0028 | 道徳と価値の教育(B)(C)(D)  | 青柳 路子  | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 191  |
| P0031 | 学習指導の方法            | 杉本 憲子  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 226  |
| P0032 | 教育の方法と技術(A)        | 杉本 憲子  | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 83   |
| P0033 | 教育の方法と技術(B)        | 杉本 憲子  | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 170  |
| P0034 | 情報教育指導法            | 本田 敏明  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 6    |
| P0036 | 技能伝達法              | 加藤 敏弘  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 10   |
| P0037 | 視聴覚教育メディア論         | 小泉 晋弥  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| P0038 | 生活指導の方法(A)(C)(F)   | 生越 達   | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 205  |
| P0039 | 生活指導の方法(B)(D)(E)   | 生越 達   | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 114  |
| P0044 | 不適応問題と学校           | 丸山 広人  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 32   |
| P0045 | 学校教育相談(A)(C)       | 三輪 壽二  | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 102  |
| P0046 | 学校教育相談(B)(D)(E)(F) | 三輪 壽二  | 前期  | 月  | 2  | 常勤     | 196  |
| P0051 | 幼児理解の理論と方法         | 村野井 均  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 72   |
| P0054 | 生涯学習論              | 望月 厚志  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 15   |
| P0055 | 学校経営と学校図書館         | 名城 邦孝  | 前期  | 金  | 2  | 非常勤    | 71   |
| P0056 | 学校図書館メディアの構成       | 名城 邦孝  | 後期  | 金  | 2  | 非常勤    | 54   |
| P0057 | 情報メディアの活用          | 速水 智子  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 50   |
| P0058 | 学習指導と学校図書館         | 名城 邦孝  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 55   |
| P0059 | 幼児教育の内容と方法         | 初谷 和行  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 58   |
| P0060 | 教職実践演習(教諭)         | 野崎 英明  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 257  |
| P0061 | 教職実践演習(養護教諭)       | 斉藤 ふくみ | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 36   |

## b. 初等教育の教科の指導

| 授業コード | 科目名称             | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|------------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P0201 | 初等国語科教育法研究(A)    | 昌子 佳広 | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 76   |
| P0202 | 初等国語科教育法研究(B)    | 鈴木 一史 | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 65   |
| P0203 | 初等国語科教育法研究(C)    | 昌子 佳広 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 54   |
| P0204 | 初等国語科教育法研究(D)    | 鈴木 一史 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 45   |
| P0205 | 初等社会科教育法研究(A)    | 木村 勝彦 | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 81   |
| P0206 | 初等社会科教育法研究(B)(D) | 木村 勝彦 | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 107  |
| P0207 | 初等社会科教育法研究(C)    | 木村 勝彦 | 前期  | 月  | 2  | 常勤     | 49   |



平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                  |        |    |   |   |     |     |
|-------|------------------|--------|----|---|---|-----|-----|
| P0209 | 算数科教育法研究(A)      | 久野 勝敬  | 前期 | 火 | 2 | 非常勤 | 80  |
| P0210 | 算数科教育法研究(B)      | 根本 博   | 後期 | 火 | 2 | 常勤  | 70  |
| P0211 | 算数科教育法研究(C)      | 小口 祐一  | 後期 | 月 | 1 | 常勤  | 49  |
| P0212 | 算数科教育法研究(D)      | 小口 祐一  | 前期 | 月 | 2 | 常勤  | 39  |
| P0213 | 算数科教育法特講 I       | 久野 勝敬  | 後期 | 火 | 3 | 非常勤 | 20  |
| P0214 | 算数科教育法特講 II      | 根本 博   | 前期 | 火 | 5 | 常勤  | 26  |
| P0216 | 初等理科教育法研究(A)(B)  | 山本 勝博  | 前期 | 金 | 1 | 常勤  | 156 |
| P0218 | 初等理科教育法研究(C)(D)  | 大辻 永   | 前期 | 火 | 2 | 常勤  | 89  |
| P0220 | 初等音楽科教育法研究(A)    | 田中 健次  | 前期 | 火 | 2 | 常勤  | 39  |
| P0221 | 初等音楽科教育法研究(B)    | 田中 健次  | 後期 | 火 | 3 | 常勤  | 40  |
| P0222 | 初等音楽科教育法研究(C)    | 藤田 文子  | 前期 | 金 | 2 | 常勤  | 18  |
| P0223 | 初等音楽科教育法研究(D)    | 田中 健次  | 前期 | 月 | 1 | 常勤  | 40  |
| P0224 | 初等音楽科教育法研究(E)    | 田中 健次  | 後期 | 月 | 1 | 常勤  | 42  |
| P0225 | 初等音楽科教育法研究(F)    | 藤田 文子  | 後期 | 金 | 2 | 常勤  | 49  |
| P0226 | 図画工作科教育法研究(A)    | 金子 一夫  | 後期 | 月 | 1 | 常勤  | 95  |
| P0227 | 図画工作科教育法研究(B)    | 金子 一夫  | 前期 | 木 | 1 | 常勤  | 73  |
| P0228 | 図画工作科教育法研究(C)    | 向野 康江  | 前期 | 月 | 1 | 常勤  | 67  |
| P0229 | 図画工作科教育法研究(D)    | 向野 康江  | 後期 | 木 | 1 | 常勤  | 44  |
| P0230 | 体育科教育法研究(A)      | 松坂 晃   | 前期 | 火 | 1 | 常勤  | 43  |
| P0231 | 体育科教育法研究(B)      | 渡邊 將司  | 前期 | 火 | 2 | 常勤  | 66  |
| P0232 | 体育科教育法研究(C)      | 上地 勝   | 前期 | 木 | 1 | 常勤  | 67  |
| P0233 | 体育科教育法研究(D)      | 富樫 泰一  | 前期 | 木 | 2 | 常勤  | 36  |
| P0234 | 体育科教育法研究(A)      | 吉野 聡   | 後期 | 火 | 1 | 常勤  | 41  |
| P0235 | 体育科教育法研究(B)      | 吉野 聡   | 後期 | 火 | 2 | 常勤  | 61  |
| P0236 | 体育科教育法研究(C)      | 大津 展子  | 後期 | 木 | 1 | 常勤  | 62  |
| P0237 | 体育科教育法研究(D)      | 大津 展子  | 後期 | 木 | 2 | 常勤  | 37  |
| P0238 | 初等家庭科教育法研究(A)    | 野中 美津枝 | 後期 | 木 | 1 | 常勤  | 66  |
| P0239 | 初等家庭科教育法研究(B)    | 野中 美津枝 | 後期 | 木 | 5 | 常勤  | 84  |
| P0240 | 初等家庭科教育法研究(C)(D) | 野中 美津枝 | 前期 | 木 | 1 | 常勤  | 70  |
| P0242 | 生活科教育法研究(A)      | 杉本 憲子  | 後期 | 火 | 5 | 常勤  | 117 |
| P0243 | 生活科教育法研究(B)      | 杉本 憲子  | 後期 | 火 | 5 | 常勤  | 100 |
| P0244 | 保育内容の研究(健康)      | 渡邊 將司  | 前期 | 火 | 3 | 常勤  | 38  |
| P0245 | 保育内容の研究(人間関係)    | 鈴木 一史  | 後期 | 木 | 5 | 常勤  | 38  |
| P0246 | 保育内容の研究(環境)      | 野崎 英明  | 前期 | 金 | 4 | 常勤  | 32  |
| P0247 | 保育内容の研究(言葉)      | 橋浦 洋志  | 後期 | 火 | 3 | 常勤  | 43  |
| P0248 | 保育内容の研究(表現)      | 小泉 晋弥  | 後期 | 水 | 5 | 常勤  | 35  |

## c. 中等教育の教科の指導法

| 授業コード | 科目名称         | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P0301 | 国語科教育法研究     | 鈴木 一史 | 前期  | 水  | 1  | 常勤     | 60   |
| P0305 | 国語科教育法特講 I   | 鈴木 一史 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 46   |
| P0306 | 国語科教育法特講 II  | 昌子 佳広 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 14   |
| P0313 | 国語科教育法演習 I   | 昌子 佳広 | 後期  | 月  | 5  | 常勤     | 50   |
| P0314 | 国語科教育法演習 II  | 鈴木 一史 | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 28   |
| P0316 | 書道科教育法研究 I   | 齋木 久美 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 10   |
| P0318 | 中等社会科教育法研究   | 村山 朝子 | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 34   |
| P0323 | 社会科教育法特講 II  | 村山 朝子 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 30   |
| P0325 | 社会科教育法演習 I   | 木村 勝彦 | 通年  | 月  | 4  | 常勤     | 7    |
| P0326 | 社会科教育法演習 II  | 村山 朝子 | 通年  | 水  | 2  | 常勤     | 4    |
| P0327 | 社会科教科論       | 村山 朝子 | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 18   |
| P0328 | 地理歴史科教育法研究 I | 加藤 公明 | 通年  | 集中 |    | 非常勤    | 21   |
| P0331 | 公民科教育法研究 I   | 木村 勝彦 | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 17   |
| P0334 | 数学科教育法研究 I   | 根本 博  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 35   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                  |        |    |    |   |     |    |
|-------|------------------|--------|----|----|---|-----|----|
| P0335 | 数学科教育法研究Ⅱ        | 根本 博   | 後期 | 金  | 2 | 常勤  | 33 |
| P0339 | 数学科教育法演習Ⅰ        | 根本 博   | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 26 |
| P0340 | 数学科教育法演習Ⅱ        | 小口 祐一  | 前期 | 月  | 4 | 常勤  | 26 |
| P0341 | 数学科教科論           | 荻原 文弘  | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 24 |
| P0342 | 中等理科教育法研究        | 山本 勝博  | 前期 | 木  | 3 | 常勤  | 33 |
| P0347 | 理科教育法特講A         | 大辻 永   | 後期 | 月  | 2 | 常勤  | 20 |
| P0349 | 中等理科内容研究         | 山本 勝博  | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 33 |
| P0351 | 物理学実験指導法         | 矢島 裕介  | 後期 | 金  | 1 | 常勤  | 1  |
| P0352 | 化学実験指導法          | 松川 覚   | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 1  |
| P0354 | 地学実験指導法          | 伊藤 孝   | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 2  |
| P0355 | 理科教科論            | 山本 勝博  | 後期 | 火  | 1 | 常勤  | 18 |
| P0356 | 理科教育演習Ⅰ          | 大辻 永   | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 5  |
| P0357 | 理科教育演習A          | 大辻 永   | 通年 | 木  | 5 | 常勤  | 4  |
| P0358 | 理科教育演習B          | 山本 勝博  | 通年 | 木  | 5 | 常勤  | 3  |
| P0359 | 音楽科教育法研究Ⅰ        | 田中 健次  | 後期 | 月  | 5 | 常勤  | 14 |
| P0360 | 音楽科教育法研究Ⅱ        | 田中 健次  | 前期 | 火  | 5 | 常勤  | 14 |
| P0361 | 音楽科教育法研究Ⅲ        | 藤田 文子  | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 17 |
| P0363 | 美術科教育法研究         | 金子 一夫  | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 15 |
| P0364 | 美術科内容研究          | 向野 康江  | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 17 |
| P0365 | 美術科教科論           | 金子 一夫  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 17 |
| P0367 | 保健体育科教育法研究Ⅰ      | 吉野 聡   | 後期 | 金  | 2 | 常勤  | 38 |
| P0368 | 保健体育科教育法研究Ⅱ      | 大津 展子  | 前期 | 木  | 3 | 常勤  | 23 |
| P0369 | 保健体育科教育法研究Ⅲ      | 青柳 直子  | 前期 | 金  | 1 | 常勤  | 2  |
| P0370 | 陸上競技指導法          | 上地 勝   | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 2  |
| P0373 | 水泳指導法            | 富樫 泰一  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 18 |
| P0374 | バスケットボール指導法      | 加藤 敏弘  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 0  |
| P0375 | サッカー指導法          | 吉野 聡   | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 0  |
| P0377 | バレーボール指導法        | 勝本 真   | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 1  |
| P0378 | 卓球・テニス指導法        | 日下 裕弘  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 3  |
| P0379 | ソフトボール・バドミントン指導法 | 勝本 真   | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 2  |
| P0380 | 柔道指導法            | 尾形 敬史  | 後期 | 火  | 2 | 常勤  | 2  |
| P0381 | 剣道指導法            | 巽 申直   | 前期 | 火  | 1 | 常勤  | 3  |
| P0382 | 野外運動指導法          | 富樫 泰一  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 0  |
| P0383 | スキー指導法           | 富樫 泰一  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 4  |
| P0385 | 技術科教育法研究Ⅰ        | 佐藤 修   | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 19 |
| P0386 | 技術科教育法研究Ⅱ        | 工藤 雄司  | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 18 |
| P0387 | 技術科教科論           | 工藤 雄司  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 17 |
| P0388 | 技術科内容研究          | 上野 耕史  | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 13 |
| P0389 | 技術科指導論           | 白坂 高司  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 0  |
| P0390 | 技術科指導法（木材加工実習）   | 白坂 高司  | 前期 | 月  | 4 | 常勤  | 8  |
| P0391 | 技術科指導法（金属加工実習）   | 野崎 英明  | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 3  |
| P0392 | 技術科指導法（機械実習）     | 安田 健一  | 前期 | 火  | 4 | 常勤  | 4  |
| P0396 | 技術科教育演習A         | 工藤 雄司  | 前期 | 木  | 4 | 常勤  | 6  |
| P0404 | 家庭科教育実践研究        | 野中 美津枝 | 前期 | 木  | 4 | 常勤  | 16 |
| P0405 | 家庭科教育学演習Ⅰ        | 石島 恵美子 | 後期 | 水  | 2 | 常勤  | 0  |
| P0406 | 家庭科教育学演習Ⅱ        | 野中 美津枝 | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 3  |
| P0407 | 中等家庭科教育法研究       | 野中 美津枝 | 後期 | 金  | 3 | 常勤  | 15 |
| P0408 | 中等家庭科内容研究        | 野中 美津枝 | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 18 |
| P0409 | 家庭科教科論           | 野中 美津枝 | 前期 | 金  | 1 | 常勤  | 19 |
| P0410 | 情報科教育法Ⅰ          | 本田 敏明  | 前期 | 木  | 3 | 常勤  | 9  |
| P0413 | 英語科教育法研究Ⅰ        | 猪井 新一  | 前期 | 水  | 1 | 常勤  | 23 |
| P0414 | 英語科教育法研究Ⅱ        | 齋藤 英敏  | 前期 | 木  | 2 | 常勤  | 7  |
| P0415 | 英語科内容研究          | 猪井 新一  | 後期 | 金  | 2 | 常勤  | 18 |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |           |       |    |   |   |     |    |
|-------|-----------|-------|----|---|---|-----|----|
| P0416 | 英語科教育法特講  | 齋藤 英敏 | 後期 | 木 | 2 | 常勤  | 3  |
| P0417 | 英語科教科論 I  | 相原 和恵 | 後期 | 金 | 2 | 非常勤 | 22 |
| P0418 | 英語科教科論 II | 齋藤 英敏 | 前期 | 木 | 4 | 常勤  | 15 |
| P0419 | 保健科内容研究 I | 青柳 直子 | 前期 | 火 | 3 | 常勤  | 37 |
| P0421 | 保健科教育法研究  | 青柳 直子 | 前期 | 金 | 1 | 常勤  | 36 |
| P0422 | 保健科教育法演習  | 青柳 直子 | 後期 | 木 | 1 | 常勤  | 35 |

## d. 教育実習

| 授業コード | 科目名称         | 教員氏名 | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------------|------|-----|----|----|--------|------|
| P0601 | 教育実地研究入門     | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 230  |
| P0602 | 教育実地研究入門     | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 53   |
| P0603 | 教育実地研究入門     | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 5    |
| P0604 | 教育実践研究       | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| P0605 | 教育実地研究入門 I   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 245  |
| P0607 | 初等教育実地研究 I   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 140  |
| P0608 | 中等教育実地研究 I   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 84   |
| P0611 | 初等教育実地研究 II  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 79   |
| P0612 | 中等教育実地研究 II  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 131  |
| P0614 | 中等教育実地研究 III | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 6    |
| P0615 | 中等教育実地研究 IV  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| P0616 | 中等教育実地研究 V   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 16   |
| P0617 | 中等教育実地研究 VI  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 30   |
| P0618 | 特別支援教育実地研究   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 20   |
| P0620 | 特別支援教育実地研究   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 7    |
| P0621 | 幼児教育実地研究 I   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 11   |
| P0622 | 幼児教育実地研究 II  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| P0623 | 養護実地研究入門     | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 39   |
| P0624 | 養護実践研究 I     | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 37   |
| P0626 | 養護実践研究 III   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 33   |
| P0627 | 養護教育実地研究 I   | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 34   |
| P0628 | 養護教育実地研究 II  | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 34   |
| P0629 | 養護教育実地研究 III | 関係教員 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |

## (2) 教科又は教職に関する科目

| 授業コード | 科目名称            | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P0701 | 特別なニーズをもつ子どもの教育 | 荒川 智  | 後期  | 火  | 5  | 常勤     | 42   |
| P0703 | 教師のキャリア・デザイン    | 望月 厚志 | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 44   |
| P0704 | 環境教育論           | 郡司 晴元 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 3    |
| P0705 | 食生活と健康          | 西川 陽子 | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 16   |
| P0706 | 生活環境学           | 山本 和恵 | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 3    |
| P0708 | 教育臨床の視点から実践をみる  | 生越 達  | 前期  | 水  | 1  | 常勤     | 27   |
| P0709 | 教育における平和学       | 橋浦 洋志 | 後期  | 火  | 5  | 常勤     | 27   |
| P0711 | ものづくり体験         | 安田 健一 | 前期  | 水  | 2  | 常勤     | 35   |
| P0713 | コミュニケーション演習     | 加藤 敏弘 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 7    |
| P0714 | こころを育てるグループワーク  | 正保 春彦 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 52   |
| P0715 | 現代教育の実践的課題      | 野崎 英明 | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 134  |
| P0718 | 小学校英語 I         | 猪井 新一 | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 23   |
| P0719 | 小学校英語 II        | 下 薫   | 後期  | 木  | 5  | 非常勤    | 12   |
| P0720 | 小学校英語 III       | 下 薫   | 前期  | 木  | 4  | 非常勤    | 11   |
| P0721 | 読書と豊かな人間性       | 昌子 佳広 | 後期  | 水  | 1  | 常勤     | 48   |
| P0722 | 郷土の言葉           | 川嶋 秀之 | 後期  | 月  | 5  | 常勤     | 28   |
| P0723 | ヨーロッパの歴史と文化     | 池谷 文夫 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 14   |
| P0724 | 憲法と社会生活         | 中野 雅紀 | 後期  | 木  | 5  | 常勤     | 1    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |            |       |    |    |   |    |    |
|-------|------------|-------|----|----|---|----|----|
| P0725 | 茨城の歴史と文化   | 小野寺 淳 | 前期 | 火  | 1 | 常勤 | 21 |
| P0727 | 言語と文化の諸相   | 君塚 淳一 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 11 |
| P0729 | 音楽通論Ⅱ      | 山口 哲人 | 後期 | 火  | 2 | 常勤 | 14 |
| P0730 | 現代音楽へのいざない | 山口 哲人 | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 16 |
| P0731 | デッサンの基礎Ⅰ   | 片口 直樹 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 13 |
| P0732 | デッサンの基礎Ⅱ   | 島 剛   | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 12 |
| P0733 | デッサンⅠ      | 島 剛   | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 13 |
| P0734 | デッサンⅡ      | 片口 直樹 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 8  |
| P0735 | デッサン指導実践演習 | 島 剛   | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 0  |
| P0736 | 美術教育授業研究Ⅰ  | 島田 裕之 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 12 |
| P0737 | 美術教育授業研究Ⅱ  | 片口 直樹 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 14 |
| P0738 | 美術教育授業研究Ⅲ  | 金子 一夫 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 13 |
| P0739 | 生涯スポーツの実現  | 日下 裕弘 | 前期 | 水  | 3 | 常勤 | 28 |
| P0740 | 現代人の健康     | 松坂 晃  | 後期 | 金  | 2 | 常勤 | 19 |
| P0741 | 住居環境学      | 乾 康代  | 後期 | 木  | 3 | 常勤 | 32 |
| P0742 | 住環境計画学     | 乾 康代  | 前期 | 金  | 3 | 常勤 | 8  |
| P0743 | 小児・思春期保健学  | 青柳 直子 | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 2  |

## (3) 教科に関する科目

## a. 小学校

| 授業コード | 科目名称            | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 時限 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P0801 | 初等国語科内容研究(A)    | 橋浦 洋志  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 67   |
| P0802 | 初等国語科内容研究(B)    | 橋浦 洋志  | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 62   |
| P0803 | 初等国語科内容研究(C)    | 川嶋 秀之  | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 58   |
| P0804 | 初等国語科内容研究(D)    | 川嶋 秀之  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 49   |
| P0805 | 初等書写内容研究(A)     | 齋木 久美  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 115  |
| P0806 | 初等書写内容研究(B)     | 齋木 久美  | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 106  |
| P0807 | 初等社会科内容研究(A)(C) | 小野寺 淳  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 109  |
| P0808 | 初等社会科内容研究(B)(D) | 大島 規江  | 後期  | 月  | 1  | 常勤     | 84   |
| P0811 | 算数科内容研究(A)(B)   | 松村 初   | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 114  |
| P0813 | 算数科内容研究(C)(D)   | 鈴木 芳夫  | 前期  | 金  | 1  | 非常勤    | 66   |
| P0815 | 初等理科内容研究(A)(B)  | 松川 覚   | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 92   |
| P0817 | 初等理科内容研究(C)(D)  | 上栗 伸一  | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 50   |
| P0819 | 初等理科実験観察内容研究    | 松川 覚   | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 12   |
| P0820 | 生活科内容研究(A)      | 杉本 憲子  | 前期  | 火  | 5  | 常勤     | 105  |
| P0821 | 生活科内容研究(B)      | 杉本 憲子  | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 105  |
| P0822 | 初等音楽科内容研究(A)    | 山口 哲人  | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 40   |
| P0823 | 初等音楽科内容研究(B)    | 谷川 佳幸  | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 67   |
| P0824 | 初等音楽科内容研究(C)    | 脇岡 宗一  | 前期  | 木  | 4  | 常勤     | 58   |
| P0825 | 初等音楽科内容研究(D)    | 神部 智   | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 35   |
| P0827 | 図画工作科内容研究(A)    | 金子 一夫  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 39   |
| P0828 | 図画工作科内容研究(B)    | 甲斐 教行  | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 35   |
| P0829 | 図画工作科内容研究(C)    | 島田 裕之  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 20   |
| P0830 | 図画工作科内容研究(D)    | 向野 康江  | 前期  | 月  | 5  | 常勤     | 16   |
| P0831 | 初等家庭科内容研究(A)(C) | 石島 恵美子 | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 119  |
| P0832 | 初等家庭科内容研究(B)    | 石島 恵美子 | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 63   |
| P0834 | 体育科内容研究(A)(C)   | 吉野 聡   | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 92   |
| P0835 | 体育科内容研究(B)(D)   | 大津 展子  | 前期  | 月  | 1  | 常勤     | 122  |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## b. 中学校

## 国語

| 授業コード | 科目名称        | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------|-------|-----|----|-----|--------|------|
| P0901 | 国語学概論       | 川嶋 秀之 | 前期  | 月  | 5   | 常勤     | 54   |
| P0902 | 国語表現法       | 川嶋 秀之 | 後期  | 金  | 3   | 常勤     | 58   |
| P0905 | 国語学演習 I     | 川嶋 秀之 | 前期  | 木  | 5   | 常勤     | 26   |
| P0906 | 国語学演習 II    | 川嶋 秀之 | 前期  | 月  | 3   | 常勤     | 7    |
| P0911 | 国文学史        | 橋浦 洋志 | 後期  | 木  | 5   | 常勤     | 69   |
| P0913 | 古典文学研究 I    | 齋藤 彰  | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 24   |
| P0919 | 近・現代散文研究 I  | 橋浦 洋志 | 前期  | 金  | 3   | 常勤     | 36   |
| P0920 | 近・現代散文研究 II | 橋浦 洋志 | 後期  | 金  | 3   | 常勤     | 30   |
| P0925 | 近・現代韻文演習 I  | 橋浦 洋志 | 前期  | 金  | 4   | 常勤     | 44   |
| P0926 | 近・現代韻文演習 II | 橋浦 洋志 | 後期  | 金  | 4   | 常勤     | 34   |
| P0931 | 漢文学基礎       | 増子 和男 | 前期  | 火  | 1   | 常勤     | 52   |
| P0932 | 漢文学概論       | 増子 和男 | 後期  | 火  | 1   | 常勤     | 53   |
| P0933 | 漢文学演習 I     | 増子 和男 | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 28   |
| P0934 | 漢文学演習 II    | 丸井 憲  | 後期  | 集中 |     | 非常勤    | 7    |
| P0935 | 漢文学研究法 I    | 増子 和男 | 前期  | 火  | 3   | 常勤     | 50   |
| P0936 | 漢文学研究法 II   | 増子 和男 | 前期  | 木  | 4   | 常勤     | 10   |
| P0939 | 鑑賞          | 齋木 久美 | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 18   |
| P0940 | 書道 I        | 齋木 久美 | 前期  | 金  | 2   | 常勤     | 54   |
| P0941 | 書道 II       | 齋木 久美 | 後期  | 金  | 2   | 常勤     | 56   |
| P0942 | 書道 III      | 齋木 久美 | 前期  | 金  | 3   | 常勤     | 44   |
| P0945 | かな書法研究      | 齋木 久美 | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 14   |
| P0946 | 書道史         | 齋木 久美 | 前期  | 水  | 1~2 | 常勤     | 18   |

## 社会

| 授業コード | 科目名称      | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P1003 | 基礎地理      | 大島 規江  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 19   |
| P1005 | 社会科教育学入門  | 木村 勝彦  | 後期  | 水  | 1  | 常勤     | 24   |
| P1008 | 日本史概説 II  | 千葉 真由美 | 前期  | 月  | 1  | 常勤     | 14   |
| P1009 | 日本史特講 I   | 千葉 真由美 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 10   |
| P1010 | 日本史特講 II  | 内山 俊身  | 後期  | 金  | 2  | 非常勤    | 0    |
| P1011 | 日本史特講 III | 添田 仁   | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 2    |
| P1012 | 日本史特講 IV  | 佐々木 啓  | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 5    |
| P1013 | 日本史演習     | 千葉 真由美 | 通年  | 火  | 4  | 常勤     | 8    |
| P1014 | 歴史学特別演習   | 千葉 真由美 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 8    |
| P1016 | 考古学特講     | 千葉 隆司  | 後期  | 月  | 3  | 非常勤    | 31   |
| P1018 | 西洋史概説 I   | 池谷 文夫  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 30   |
| P1020 | 西洋史特講 I   | 池谷 文夫  | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 15   |
| P1021 | 西洋史特講 II  | 池谷 文夫  | 前期  | 木  | 4  | 常勤     | 4    |
| P1023 | 西洋史特講 IV  | 深澤 安博  | 前期  | 金  | 4  | 常勤     | 2    |
| P1024 | 西洋史演習 I   | 池谷 文夫  | 通年  | 木  | 2  | 常勤     | 8    |
| P1025 | 西洋史演習 II  | 深澤 安博  | 通年  | 火  | 4  | 常勤     | 0    |
| P1027 | 東洋史特講 I   | 澁谷 浩一  | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 3    |
| P1028 | 東洋史特講 II  | 山田 桂子  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 4    |
| P1029 | 東洋史特講 III | 妹尾 達彦  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 7    |
| P1031 | 東洋史演習 I   | 澁谷 浩一  | 通年  | 火  | 2  | 常勤     | 0    |
| P1032 | 東洋史演習 II  | 山田 桂子  | 通年  | 金  | 3  | 常勤     | 0    |
| P1033 | 人文地理学 I   | 小野寺 淳  | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 33   |
| P1035 | 人文地理学 III | 小原 規宏  | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 7    |
| P1036 | 人文地理学 IV  | 小原 規宏  | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 3    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |               |        |    |    |   |     |    |
|-------|---------------|--------|----|----|---|-----|----|
| P1037 | 人文地理学Ⅴ        | 葉 倩禱   | 前期 | 木  | 4 | 常勤  | 3  |
| P1038 | 人文地理学Ⅵ        | 堤 純    | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 1  |
| P1039 | 歴史地理学Ⅰ        | 小野寺 淳  | 後期 | 月  | 4 | 常勤  | 6  |
| P1042 | 人文地理学演習       | 小野寺 淳  | 通年 | 月  | 5 | 常勤  | 13 |
| P1043 | 地理学研究法        | 大島 規江  | 前期 | 木  | 4 | 常勤  | 20 |
| P1045 | 自然地理学Ⅰ        | 松倉 公憲  | 後期 | 金  | 4 | 常勤  | 28 |
| P1046 | 自然地理学Ⅱ        | 松倉 公憲  | 前期 | 水  | 2 | 常勤  | 28 |
| P1047 | 自然地理学Ⅲ        | 島野 安雄  | 前期 | 集中 |   | 非常勤 | 4  |
| P1049 | 自然地理学演習       | 松倉 公憲  | 通年 | 水  | 3 | 常勤  | 4  |
| P1052 | 地誌学Ⅰ          | 横山 貴史  | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 19 |
| P1053 | 地誌学Ⅱ          | 葉 倩禱   | 前期 | 火  | 5 | 常勤  | 8  |
| P1054 | 地誌学Ⅲ          | 大島 規江  | 後期 | 木  | 5 | 常勤  | 6  |
| P1057 | 地誌学演習         | 大島 規江  | 通年 | 月  | 5 | 常勤  | 4  |
| P1058 | 地理学野外実習Ⅲ      | 大島 規江  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 17 |
| P1059 | 法と社会          | 中野 雅紀  | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 34 |
| P1060 | 法学概論          | 中野 雅紀  | 後期 | 月  | 5 | 常勤  | 31 |
| P1063 | 法学演習          | 中野 雅紀  | 通年 | 水  | 4 | 常勤  | 1  |
| P1064 | 日本国憲法         | 中野 雅紀  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 29 |
| P1065 | 日本国憲法         | 中野 雅紀  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 3  |
| P1067 | 日本国憲法         | 富塚 祥夫  | 前期 | 月  | 1 | 非常勤 | 4  |
| P1071 | 現代国際政治研究Ⅰ     | 竹峰 誠一郎 | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 18 |
| P1075 | 文化の社会学        | 岩佐 淳一  | 後期 | 火  | 5 | 常勤  | 6  |
| P1076 | マス・コミュニケーション論 | 岩佐 淳一  | 前期 | 木  | 1 | 常勤  | 29 |
| P1077 | 社会学特講         | 岩佐 淳一  | 後期 | 木  | 1 | 常勤  | 11 |
| P1078 | 社会福祉論         | 渋谷 敦司  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 8  |
| P1079 | 日本の社会と経済      | 齋藤 典生  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 29 |
| P1082 | 国際経済史         | 齋藤 典生  | 前期 | 水  | 1 | 常勤  | 49 |
| P1086 | 経済学演習         | 齋藤 典生  | 通年 | 木  | 4 | 常勤  | 5  |
| P1087 | 社会と思想         | 木村 競   | 前期 | 月  | 1 | 常勤  | 24 |
| P1088 | 哲学概論Ⅰ         | 渡邊 邦夫  | 後期 | 火  | 2 | 常勤  | 12 |
| P1089 | 哲学概論Ⅱ         | 伊藤 聡   | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 7  |
| P1090 | 哲学特講Ⅰ         | 守屋 唱進  | 後期 | 木  | 2 | 常勤  | 0  |
| P1091 | 哲学演習          | 渡邊 邦夫  | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 0  |
| P1092 | 倫理学概論         | 木村 競   | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 28 |
| P1095 | 倫理学特別演習Ⅰ      | 木村 競   | 前期 | 月  | 5 | 常勤  | 3  |
| P1096 | 倫理学特別演習Ⅱ      | 木村 競   | 後期 | 水  | 2 | 常勤  | 3  |

英語

| 授業コード | 科目名称    | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|---------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P1101 | 英語学概論Ⅰ  | 竝木 崇康 | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 22   |
| P1102 | 英語学概論Ⅱ  | 竝木 崇康 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 24   |
| P1103 | 英文法     | 竝木 崇康 | 前期  | 金  | 4  | 常勤     | 14   |
| P1107 | 英語学演習Ⅰ  | 竝木 崇康 | 前期  | 木  | 1  | 常勤     | 5    |
| P1108 | 英語学演習Ⅱ  | 竝木 崇康 | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 0    |
| P1109 | 英米文学概論Ⅰ | 小林 英美 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 22   |
| P1110 | 英米文学概論Ⅱ | 君塚 淳一 | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 18   |
| P1111 | 英米文学特講Ⅰ | 小林 英美 | 後期  | 水  | 2  | 常勤     | 25   |
| P1112 | 英米文学特講Ⅱ | 小林 英美 | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 3    |
| P1113 | 英米文学特講Ⅲ | 君塚 淳一 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 4    |
| P1114 | 英米文学特講Ⅳ | 君塚 淳一 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 7    |
| P1115 | 英米文学演習Ⅰ | 小林 英美 | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 12   |
| P1116 | 英米文学演習Ⅱ | 小林 英美 | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 5    |
| P1117 | 英米文学演習Ⅲ | 君塚 淳一 | 前期  | 月  | 5  | 常勤     | 17   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                    |           |    |    |   |     |    |
|-------|--------------------|-----------|----|----|---|-----|----|
| P1118 | 英米文学演習Ⅳ            | 君塚 淳一     | 前期 | 月  | 4 | 常勤  | 9  |
| P1119 | 英米文学・文化から教える英語テキスト | 君塚 淳一     | 後期 | 月  | 5 | 常勤  | 29 |
| P1120 | 英語コミュニケーションⅠ       | アームド デイ   | 前期 | 火  | 3 | 非常勤 | 11 |
| P1121 | 英語コミュニケーションⅡ       | アームド デイ   | 後期 | 火  | 3 | 非常勤 | 11 |
| P1122 | 英語コミュニケーションⅢ       | 猪井 新一     | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 23 |
| P1123 | 英語コミュニケーションⅣ       | アームド デイ   | 前期 | 火  | 1 | 非常勤 | 14 |
| P1124 | 英語コミュニケーションⅤ       | アームド デイ   | 前期 | 火  | 2 | 非常勤 | 3  |
| P1125 | 英語コミュニケーションⅥ       | アームド デイ   | 後期 | 火  | 2 | 非常勤 | 12 |
| P1126 | 英語コミュニケーションⅦ       | 齋藤 英敏     | 後期 | 月  | 3 | 常勤  | 12 |
| P1128 | 英語コミュニケーションⅨ       | 齋藤 英敏     | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 22 |
| P1129 | 英語コミュニケーションⅩ       | ハッセンジャー C | 前期 | 月  | 3 | 非常勤 | 13 |
| P1131 | 英語コミュニケーションⅩⅡ      | 齋藤 英敏     | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 6  |
| P1132 | 異文化理解              | 小林 英美     | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 27 |
| P1133 | 異文化間コミュニケーション      | 関係教員      | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 26 |

## 数学

| 授業コード | 科目名称     | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|----------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P1201 | 代数学の基礎Ⅰ  | 柳田 伸顯  | 前期  | 金  | 5  | 常勤     | 46   |
| P1202 | 代数学の基礎Ⅱ  | 柳田 伸顯  | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 44   |
| P1203 | 代数学A     | 柳田 伸顯  | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 28   |
| P1204 | 代数学B     | 柳田 伸顯  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 28   |
| P1205 | 代数学C     | 木村 達雄  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 13   |
| P1206 | 代数学D     | 柳田 伸顯  | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 4    |
| P1208 | 幾何学の基礎Ⅰ  | 栗原 博之  | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 41   |
| P1209 | 幾何学の基礎Ⅱ  | 栗原 博之  | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 42   |
| P1210 | 幾何学A     | 大嶋 秀明  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 28   |
| P1211 | 幾何学B     | 栗原 博之  | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 14   |
| P1212 | 幾何学C     | 栗原 博之  | 前期  | 金  | 4  | 常勤     | 2    |
| P1213 | 幾何学D     | 栗原 博之  | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 2    |
| P1214 | 解析学の基礎Ⅰ  | 梅津 健一郎 | 前期  | 水  | 1  | 常勤     | 59   |
| P1215 | 解析学の基礎Ⅱ  | 梅津 健一郎 | 後期  | 水  | 1  | 常勤     | 32   |
| P1216 | 解析学A     | 梅津 健一郎 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 34   |
| P1217 | 解析学B     | 梅津 健一郎 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 30   |
| P1218 | 解析学C     | 梅津 健一郎 | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 17   |
| P1219 | 解析学D     | 梅津 健一郎 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 7    |
| P1220 | 応用解析学Ⅰ   | 曾我 日出夫 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 37   |
| P1223 | 確率統計概論   | 柳田 伸顯  | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 36   |
| P1224 | 応用確率統計論  | 千葉 康生  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 11   |
| P1226 | コンピュータ概論 | 松村 初   | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 37   |

## 理科

| 授業コード | 科目名称   | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------|-------|-----|----|-----|--------|------|
| P1301 | 基礎物理学  | 永尾 敬一 | 前期  | 火  | 1   | 常勤     | 30   |
| P1302 | 電磁気学   | 永尾 敬一 | 後期  | 水  | 1   | 常勤     | 26   |
| P1303 | 量子物性概論 | 矢島 裕介 | 前期  | 火  | 5   | 常勤     | 4    |
| P1304 | 量子力学   | 矢島 裕介 | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 4    |
| P1305 | 物理学演習Ⅰ | 矢島 裕介 | 後期  | 木  | 4   | 常勤     | 3    |
| P1306 | 物理学演習A | 矢島 裕介 | 通年  | 木  | 5   | 常勤     | 0    |
| P1307 | 物理学演習B | 永尾 敬一 | 通年  | 木  | 5   | 常勤     | 2    |
| P1308 | 物理学実験Ⅰ | 矢島 裕介 | 後期  | 金  | 1~2 | 常勤     | 20   |
| P1310 | 基礎化学   | 青島 政之 | 後期  | 火  | 2   | 常勤     | 24   |
| P1311 | 有機化学   | 松川 覚  | 前期  | 金  | 2   | 常勤     | 24   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |         |       |    |    |     |    |    |
|-------|---------|-------|----|----|-----|----|----|
| P1312 | 環境化学    | 松川 覚  | 後期 | 月  | 4   | 常勤 | 20 |
| P1313 | 物理化学演習  | 青島 政之 | 後期 | 木  | 5   | 常勤 | 0  |
| P1314 | 無機物理化学  | 青島 政之 | 前期 | 水  | 1   | 常勤 | 9  |
| P1315 | 有機化学演習  | 松川 覚  | 後期 | 木  | 5   | 常勤 | 6  |
| P1316 | 化学演習    | 松川 覚  | 通年 | 木  | 4   | 常勤 | 1  |
| P1317 | 化学実験 I  | 松川 覚  | 前期 | 金  | 4~5 | 常勤 | 24 |
| P1318 | 化学実験 II | 松川 覚  | 後期 | 金  | 4~5 | 常勤 | 9  |
| P1319 | 基礎生物学   | 棗田 孝晴 | 前期 | 月  | 5   | 常勤 | 27 |
| P1320 | 動物生態学   | 棗田 孝晴 | 後期 | 月  | 3   | 常勤 | 20 |
| P1321 | 植物学     | 小野 義隆 | 前期 | 月  | 4   | 常勤 | 5  |
| P1322 | 植物分類学   | 小野 義隆 | 前期 | 火  | 1   | 常勤 | 1  |
| P1324 | 動物学     | 棗田 孝晴 | 後期 | 月  | 4   | 常勤 | 7  |
| P1326 | 植物学演習   | 小野 義隆 | 後期 | 月  | 5   | 常勤 | 0  |
| P1327 | 動物学演習   | 棗田 孝晴 | 後期 | 月  | 5   | 常勤 | 5  |
| P1328 | 生物学演習   | 小野 義隆 | 通年 | 木  | 5   | 常勤 | 4  |
| P1329 | 生物学実験   | 小野 義隆 | 前期 | 火  | 3~4 | 常勤 | 12 |
| P1330 | 生物学野外実習 | 小野 義隆 | 前期 | 集中 |     | 常勤 | 18 |
| P1331 | 臨湖実習    | 中里 亮治 | 前期 | 集中 |     | 常勤 | 2  |
| P1332 | 基礎地学    | 上栗 伸一 | 前期 | 火  | 3   | 常勤 | 26 |
| P1333 | 環境地球科学  | 伊藤 孝  | 前期 | 水  | 1   | 常勤 | 17 |
| P1334 | 地質学     | 上栗 伸一 | 後期 | 水  | 1   | 常勤 | 4  |
| P1336 | 気象学     | 伊藤 孝  | 後期 | 金  | 3   | 常勤 | 17 |
| P1337 | 地球科学演習  | 伊藤 孝  | 後期 | 木  | 4   | 常勤 | 3  |
| P1338 | 地学演習    | 伊藤 孝  | 通年 | 木  | 5   | 常勤 | 5  |
| P1339 | 地学実験 A  | 上栗 伸一 | 前期 | 金  | 4~5 | 常勤 | 20 |
| P1340 | 地学実験 B  | 伊藤 孝  | 後期 | 月  | 4~5 | 常勤 | 5  |
| P1341 | 地学野外実習  | 伊藤 孝  | 前期 | 集中 |     | 常勤 | 5  |
| P1342 | 岩石学     | 伊藤 孝  | 後期 | 木  | 2   | 常勤 | 7  |

## 音楽

| 授業コード | 科目名称 | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P1401 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 前期  | 水  | 1  | 常勤     | 9    |
| P1402 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 後期  | 水  | 1  | 常勤     | 8    |
| P1403 | ピアノ  | 神部 智   | 前期  | 金  | 5  | 常勤     | 7    |
| P1404 | ピアノ  | 神部 智   | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 7    |
| P1405 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 7    |
| P1406 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 7    |
| P1406 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 1    |
| P1407 | ピアノ  | 神部 智   | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 6    |
| P1408 | ピアノ  | 神部 智   | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 6    |
| P1409 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 前期  | 水  | 2  | 常勤     | 6    |
| P1410 | ピアノ  | 佐藤 篤   | 後期  | 水  | 2  | 常勤     | 6    |
| P1411 | 管打楽器 | 脇岡 宗一  | 前期  | 水  | 4  | 常勤     | 1    |
| P1412 | 管打楽器 | 脇岡 宗一  | 後期  | 水  | 3  | 常勤     | 8    |
| P1413 | 管打楽器 | 脇岡 宗一  | 前期  | 水  | 3  | 常勤     | 6    |
| P1414 | 管打楽器 | 脇岡 宗一  | 後期  | 水  | 5  | 常勤     | 1    |
| P1415 | 弦楽器  | 野末 あけみ | 前期  | 水  | 4  | 非常勤    | 15   |
| P1415 | 弦楽器  | 野末 あけみ | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 10   |
| P1416 | 合奏   | 脇岡 宗一  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 17   |
| P1418 | 独唱   | 谷川 佳幸  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 8    |
| P1419 | 独唱   | 谷川 佳幸  | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 8    |
| P1420 | 独唱   | 藤田 文子  | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 8    |
| P1421 | 独唱   | 藤田 文子  | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 8    |



平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |              |        |    |    |   |     |    |
|-------|--------------|--------|----|----|---|-----|----|
| P1422 | 独唱           | 谷川 佳幸  | 前期 | 木  | 1 | 常勤  | 7  |
| P1423 | 独唱           | 谷川 佳幸  | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 7  |
| P1424 | 独唱           | 藤田 文子  | 前期 | 木  | 4 | 常勤  | 6  |
| P1425 | 独唱           | 藤田 文子  | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 6  |
| P1426 | 独唱           | 谷川 佳幸  | 前期 | 水  | 1 | 常勤  | 5  |
| P1427 | 独唱           | 谷川 佳幸  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 5  |
| P1428 | 合唱           | 谷川 佳幸  | 後期 | 木  | 2 | 常勤  | 14 |
| P1429 | 日本音楽(箏唄)     | 福永 千恵子 | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 29 |
| P1430 | ソルフェージュ I    | 佐藤 篤   | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 16 |
| P1431 | ソルフェージュ II   | 脇岡 宗一  | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 14 |
| P1432 | 指揮法          | 山口 哲人  | 後期 | 火  | 1 | 常勤  | 20 |
| P1433 | 和声学 I        | 山口 哲人  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 14 |
| P1435 | 対位法 I        | 山口 哲人  | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 11 |
| P1437 | 作曲法 I        | 山口 哲人  | 前期 | 月  | 4 | 常勤  | 14 |
| P1439 | 作曲特別演習 I     | 山口 哲人  | 前期 | 月  | 3 | 常勤  | 0  |
| P1440 | 作曲特別演習 II    | 山口 哲人  | 後期 | 月  | 4 | 常勤  | 0  |
| P1441 | 音楽史          | 神部 智   | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 15 |
| P1443 | 音楽学 I        | 神部 智   | 後期 | 木  | 5 | 常勤  | 9  |
| P1445 | 音楽学特別演習 I    | 神部 智   | 前期 | 水  | 2 | 常勤  | 0  |
| P1446 | 音楽学特別演習 II   | 神部 智   | 後期 | 水  | 2 | 常勤  | 0  |
| P1447 | 音楽教育特別演習 I   | 田中 健次  | 前期 | 水  | 1 | 常勤  | 0  |
| P1448 | 音楽教育特別演習 II  | 田中 健次  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 0  |
| P1449 | 音楽教育特別演習 III | 藤田 文子  | 前期 | 水  | 2 | 常勤  | 0  |
| P1450 | 音楽教育特別演習 IV  | 藤田 文子  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 0  |

## 美術

| 授業コード | 科目名称        | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P1501 | 絵画基礎        | 片口 直樹 | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 14   |
| P1502 | 絵画 I        | 片口 直樹 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 14   |
| P1503 | 絵画 II       | 片口 直樹 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 15   |
| P1504 | 絵画表現演習 I    | 片口 直樹 | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 6    |
| P1505 | 絵画表現演習 II   | 片口 直樹 | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 5    |
| P1506 | 彩画特別演習      | 片口 直樹 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 5    |
| P1507 | 絵画特別演習      | 間島 秀徳 | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 8    |
| P1508 | 彫刻基礎        | 島 剛   | 前期  | 月  | 5  | 常勤     | 13   |
| P1509 | 彫刻 I        | 島 剛   | 前期  | 金  | 5  | 常勤     | 15   |
| P1510 | 彫刻 II       | 島 剛   | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 11   |
| P1511 | 彫刻表現演習 I    | 島 剛   | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 6    |
| P1512 | 彫刻表現演習 II   | 島 剛   | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 5    |
| P1513 | 塑造特別演習      | 島 剛   | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 8    |
| P1514 | 彫刻特別演習      | 松田 文平 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 4    |
| P1515 | デザイン基礎      | 島田 裕之 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 13   |
| P1516 | デザイン I      | 島田 裕之 | 前期  | 木  | 1  | 常勤     | 15   |
| P1517 | デザイン II     | 島田 裕之 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 14   |
| P1518 | デザイン表現演習 I  | 島田 裕之 | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 4    |
| P1519 | デザイン表現演習 II | 島田 裕之 | 後期  | 木  | 5  | 常勤     | 4    |
| P1520 | デザイン特別演習    | 海老原 豊 | 通年  | 集中 |    | 非常勤    | 4    |
| P1521 | 工芸基礎        | 寺本 輝正 | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 11   |
| P1522 | 工芸 I        | 寺本 輝正 | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 11   |
| P1523 | 工芸 II       | 寺本 輝正 | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 10   |
| P1524 | 工芸表現演習 I    | 寺本 輝正 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 3    |
| P1525 | 工芸表現演習 II   | 寺本 輝正 | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 3    |
| P1527 | 図法及び製図      | 齋藤 芳徳 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 13   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

| P1528 | 西洋美術史 I        | 甲斐 教行 | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 9    |
|-------|----------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P1529 | 西洋美術史 II       | 甲斐 教行 | 後期  | 木  | 5  | 常勤     | 5    |
| P1530 | 日本美術史 I        | 小泉 晋弥 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 17   |
| P1531 | 日本美術史 II       | 小泉 晋弥 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 18   |
| P1532 | 西洋美術史特別演習 I    | 甲斐 教行 | 前期  | 火  | 5  | 常勤     | 4    |
| P1533 | 西洋美術史特別演習 II   | 甲斐 教行 | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 3    |
| P1534 | 日本美術史特別演習 I    | 小泉 晋弥 | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 2    |
| P1535 | 日本美術史特別演習 II   | 小泉 晋弥 | 後期  | 月  | 3  | 常勤     | 2    |
| P1536 | 日本美術実地研究       | 小泉 晋弥 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 15   |
| P1539 | デザイン理論         | 齋藤 芳徳 | 後期  | 火  | 5  | 常勤     | 11   |
| P1540 | 美術批評論          | 小泉 晋弥 | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 7    |
| P1542 | 美術科教育特別演習 A I  | 金子 一夫 | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 6    |
| P1543 | 美術科教育特別演習 B I  | 向野 康江 | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 6    |
| P1544 | 美術科教育特別演習 A II | 金子 一夫 | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 5    |
| P1545 | 美術科教育特別演習 B II | 向野 康江 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 6    |
| 保健体育  |                |       |     |    |    |        |      |
| 授業コード | 科目名称           | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
| P1601 | 陸上競技           | 上地 勝  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 20   |
| P1602 | ギムナスティック       | 會沢 哲史 | 前期  | 金  | 4  | 非常勤    | 19   |
| P1603 | ダンス・身体表現       | 瀬谷 元子 | 前期  | 木  | 4  | 非常勤    | 21   |
| P1604 | 水泳             | 富樫 泰一 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 20   |
| P1605 | バスケットボール       | 加藤 敏弘 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 19   |
| P1606 | ソフトボール・バドミントン  | 勝本 真  | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 13   |
| P1607 | サッカー           | 吉野 聡  | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 18   |
| P1609 | バレーボール         | 勝本 真  | 前期  | 金  | 4  | 常勤     | 19   |
| P1610 | 卓球・テニス         | 日下 裕弘 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 15   |
| P1611 | 柔道             | 尾形 敬史 | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 19   |
| P1612 | 剣道             | 巽 申直  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 19   |
| P1613 | 野外運動           | 富樫 泰一 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| P1614 | スキー            | 富樫 泰一 | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 37   |
| P1616 | 体育学概論          | 加藤 敏弘 | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 33   |
| P1617 | 体育史            | 日下 裕弘 | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 12   |
| P1618 | 測定評価           | 渡邊 將司 | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 7    |
| P1619 | スポーツ心理学        | 中島 宣行 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 39   |
| P1620 | 体育経営管理学        | 日下 裕弘 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 12   |
| P1622 | 体育スポーツ社会学      | 日下 裕弘 | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 19   |
| P1623 | 運動学概論          | 勝本 真  | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 19   |
| P1624 | トレーニング法        | 吉岡 利貢 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 35   |
| P1627 | 陸上競技方法論        | 上地 勝  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 22   |
| P1630 | ボールゲーム方法論 I    | 加藤 敏弘 | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 10   |
| P1631 | ボールゲーム方法論 II   | 日下 裕弘 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 9    |
| P1632 | 武道方法論          | 尾形 敬史 | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 19   |
| P1633 | 生理学            | 尾形 敬史 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 21   |
| P1634 | 運動生理学          | 松坂 晃  | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 19   |
| P1635 | 形態学            | 渡邊 將司 | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 19   |
| P1637 | 栄養学            | 西川 陽子 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 4    |
| P1638 | 運動処方論          | 松坂 晃  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 17   |
| P1640 | スポーツ栄養学        | 古旗 照美 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 31   |
| P1641 | 衛生公衆衛生学概論      | 上地 勝  | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 22   |
| P1642 | 健康調査解析法        | 上地 勝  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 9    |
| P1643 | 学校保健概論         | 上地 勝  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 22   |
| P1644 | 救急処置法          | 富樫 泰一 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 12   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |             |       |    |    |   |    |    |
|-------|-------------|-------|----|----|---|----|----|
| P1645 | 保健体育総合演習    | 渡邊 將司 | 前期 | 水  | 2 | 常勤 | 18 |
| P1646 | 保健体育特別演習 I  | 渡邊 將司 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 16 |
| P1647 | 保健体育特別演習 II | 渡邊 將司 | 前期 | 水  | 2 | 常勤 | 15 |

## 技術

| 授業コード | 科目名称         | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------------|--------|-----|----|-----|--------|------|
| P1701 | 製図 I         | 安田 健一  | 前期  | 金  | 2   | 常勤     | 19   |
| P1702 | 基礎木材加工       | 白坂 高司  | 前期  | 火  | 3   | 常勤     | 19   |
| P1703 | 木材加工の基礎技術    | 白坂 高司  | 前期  | 月  | 4~5 | 常勤     | 19   |
| P1704 | 木材加工の応用技術    | 白坂 高司  | 後期  | 月  | 4~5 | 常勤     | 19   |
| P1705 | 木材加工学        | 白坂 高司  | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 8    |
| P1706 | 木材加工演習       | 白坂 高司  | 前期  | 火  | 1   | 常勤     | 3    |
| P1707 | 製図 II        | 野崎 英明  | 後期  | 金  | 2   | 常勤     | 19   |
| P1708 | 基礎金属加工       | 野崎 英明  | 後期  | 金  | 1   | 常勤     | 19   |
| P1709 | 金属加工の基礎技術    | 野崎 英明  | 前期  | 金  | 4~5 | 常勤     | 18   |
| P1710 | 金属加工の応用技術    | 野崎 英明  | 後期  | 金  | 4~5 | 常勤     | 18   |
| P1711 | 金属加工学        | 野崎 英明  | 前期  | 金  | 3   | 常勤     | 18   |
| P1712 | 金属加工演習       | 野崎 英明  | 前期  | 火  | 1   | 常勤     | 4    |
| P1713 | 基礎機械工学       | 安田 健一  | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 20   |
| P1714 | 機械の基礎技術      | 安田 健一  | 前期  | 火  | 4~5 | 常勤     | 16   |
| P1715 | 機械の応用技術      | 安田 健一  | 後期  | 火  | 4~5 | 常勤     | 16   |
| P1716 | 機械工学         | 安田 健一  | 前期  | 金  | 4   | 常勤     | 10   |
| P1717 | 機械工学演習       | 安田 健一  | 前期  | 金  | 5   | 常勤     | 0    |
| P1718 | 基礎電気         | 榊 守    | 後期  | 水  | 1   | 常勤     | 19   |
| P1719 | 電気の基礎技術      | 榊 守    | 前期  | 木  | 3~4 | 常勤     | 18   |
| P1720 | 電気の応用技術      | 榊 守    | 後期  | 木  | 4~5 | 常勤     | 2    |
| P1721 | 電気工学         | 榊 守    | 前期  | 水  | 1   | 常勤     | 8    |
| P1722 | 電気工学演習       | 榊 守    | 前期  | 金  | 1   | 常勤     | 3    |
| P1723 | 基礎栽培学        | 稲葉 健五  | 前期  | 金  | 5   | 非常勤    | 19   |
| P1724 | 栽培の基礎技術      | 加藤 達人  | 前期  | 月  | 3~4 | 非常勤    | 16   |
| P1728 | 基礎情報処理       | 工藤 雄司  | 後期  | 木  | 2   | 常勤     | 0    |
| P1729 | 情報処理の基礎技術 I  | 佐々木 忠之 | 前期  | 木  | 2   | 常勤     | 16   |
| P1730 | 情報処理の基礎技術 II | 関 友作   | 前期  | 金  | 3   | 常勤     | 16   |
| P1731 | 情報処理の応用技術    | 佐々木 忠之 | 後期  | 金  | 3~4 | 常勤     | 0    |
| P1732 | 情報教育研究法      | 工藤 雄司  | 通年  | 集中 |     | 常勤     | 0    |
| P1734 | 情報基礎演習       | 田村 俊之  | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 2    |
| P1735 | 職業指導原論 I     | 大平 典男  | 後期  | 集中 |     | 非常勤    | 10   |

## 家庭

| 授業コード | 科目名称    | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|---------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P1801 | 食物科学    | 西川 陽子  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 24   |
| P1802 | 食品衛生管理学 | 西川 陽子  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 13   |
| P1803 | 食生活論    | 西川 陽子  | 前期  | 木  | 4  | 常勤     | 16   |
| P1804 | 栄養学     | 西川 陽子  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 16   |
| P1805 | 食物学演習   | 西川 陽子  | 後期  | 水  | 2  | 常勤     | 3    |
| P1806 | 調理学基礎   | 石島 恵美子 | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 21   |
| P1807 | 調理学応用   | 石島 恵美子 | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 17   |
| P1808 | 被服科学    | 木村 美智子 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 24   |
| P1809 | 衣生活論    | 木村 美智子 | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 17   |
| P1811 | アパレル科学  | 木村 美智子 | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 6    |
| P1812 | 被服学演習   | 木村 美智子 | 後期  | 水  | 2  | 常勤     | 2    |
| P1813 | 被服構成学基礎 | 木村 美智子 | 前期  | 水  | 1  | 常勤     | 23   |
| P1814 | 被服構成学応用 | 太田 茜   | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 16   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |          |        |    |    |   |    |    |
|-------|----------|--------|----|----|---|----|----|
| P1815 | 住居計画学    | 乾 康代   | 前期 | 金  | 5 | 常勤 | 20 |
| P1816 | 住居デザインⅠ  | 乾 康代   | 後期 | 金  | 5 | 常勤 | 1  |
| P1817 | 住居デザインⅡ  | 乾 康代   | 前期 | 水  | 2 | 常勤 | 4  |
| P1818 | 住居学演習    | 乾 康代   | 後期 | 木  | 4 | 常勤 | 0  |
| P1819 | 保育学      | 数井 みゆき | 前期 | 木  | 5 | 常勤 | 24 |
| P1820 | 養育環境学    | 数井 みゆき | 後期 | 月  | 5 | 常勤 | 16 |
| P1821 | 親子関係学    | 数井 みゆき | 前期 | 月  | 5 | 常勤 | 12 |
| P1822 | 保育学演習    | 数井 みゆき | 後期 | 木  | 4 | 常勤 | 2  |
| P1823 | 家庭経営学    | 佐藤 裕紀子 | 後期 | 火  | 2 | 常勤 | 23 |
| P1825 | 現代家族論    | 佐藤 裕紀子 | 前期 | 火  | 3 | 常勤 | 45 |
| P1826 | 家族とジェンダー | 佐藤 裕紀子 | 後期 | 金  | 2 | 常勤 | 32 |
| P1827 | 家庭経営学演習  | 佐藤 裕紀子 | 後期 | 火  | 4 | 常勤 | 0  |
| P1828 | 家庭電気・機械  | 榎 守    | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 17 |
| P1829 | 情報教育研究法  | 工藤 雄司  | 通年 | 集中 |   | 常勤 | 13 |

## 教育基礎

| 授業コード | 科目名称     | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|----------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P1902 | 教育哲学特講   | 小川 哲哉  | 前期  | 金  | 3  | 常勤     | 6    |
| P1905 | 教育史演習Ⅰ   | 小川 哲哉  | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 9    |
| P1906 | 教育史演習Ⅱ   | 佐藤 環   | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 1    |
| P1907 | 教育史特講    | 佐藤 環   | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 6    |
| P1908 | 教育行政特講   | 加藤 崇英  | 前期  | 木  | 4  | 常勤     | 2    |
| P1909 | 教育行政演習   | 加藤 崇英  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 0    |
| P1910 | 社会教育計画Ⅰ  | 長谷川 幸介 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 11   |
| P1911 | 社会教育計画Ⅱ  | 長谷川 幸介 | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 12   |
| P1912 | 社会教育演習   | 望月 厚志  | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 10   |
| P1913 | 社会教育実習   | 望月 厚志  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| P1914 | 社会教育課題研究 | 長谷川 幸介 | 前期  | 木  | 2  | 常勤     | 13   |
| P1915 | 学習指導演習   | 杉本 憲子  | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 6    |
| P1916 | 教育的関係論演習 | 生越 達   | 後期  | 木  | 5  | 常勤     | 10   |
| P1917 | 教育的関係論特講 | 生越 達   | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 8    |
| P1918 | 学習指導特講   | 杉本 憲子  | 前期  | 金  | 4  | 常勤     | 10   |

## (4) 高等学校「情報」

| 授業コード | 科目名称             | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|------------------|--------|-----|----|-----|--------|------|
| P1951 | 情報社会及び情報倫理       | 實原 隆志  | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 2    |
| P1953 | 情報技術演習Ⅰ          | 佐々木 忠之 | 後期  | 金  | 3~4 | 常勤     | 7    |
| P1957 | 情報システム演習         | 田村 俊之  | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 4    |
| P1958 | 情報通信ネットワーク       | 工藤 雄司  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 9    |
| P1959 | 情報通信ネットワーク演習     | 工藤 雄司  | 後期  | 木  | 2   | 常勤     | 5    |
| P1961 | マルチメディア表現の理論及び演習 | 小泉 晋弥  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 7    |
| P1962 | 情報編集法            | 関 友作   | 後期  | 木  | 1   | 常勤     | 16   |
| P1963 | シミュレーション技法       | 野崎 英明  | 後期  | 月  | 5   | 常勤     | 20   |

## (5) 特別支援教育に関する科目

| 授業コード | 科目名称      | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P2101 | 特別支援教育原論  | 荒川 智  | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 34   |
| P2102 | 障害児教育学演習Ⅰ | 荒川 智  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| P2103 | 障害児教育学演習Ⅱ | 新井 英靖 | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| P2104 | 特別支援教育研究法 | 勝二 博亮 | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 12   |
| P2105 | 障害者福祉論    | 米田 宏樹 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 19   |
| P2106 | 知的障害児の心理  | 前川 久男 | 前期  | 火  | 5  | 常勤     | 32   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |             |        |    |    |   |     |    |
|-------|-------------|--------|----|----|---|-----|----|
| P2107 | 知的障害児の生理    | 勝二 博亮  | 後期 | 月  | 4 | 常勤  | 27 |
| P2108 | 知的障害児の病理    | 尾崎 久記  | 前期 | 月  | 5 | 常勤  | 30 |
| P2109 | 障害児心理学演習 I  | 前川 久男  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 1  |
| P2110 | 障害児心理学演習 II | 東條 吉邦  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 5  |
| P2111 | 障害児生理学演習 I  | 尾崎 久記  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 0  |
| P2112 | 障害児生理学演習 II | 勝二 博亮  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 5  |
| P2113 | 肢体不自由児の生理   | 岡澤 慎一  | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 32 |
| P2114 | 病弱児の生理      | 勝二 博亮  | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 28 |
| P2115 | 知的障害児の教育方法  | 新井 英靖  | 前期 | 金  | 1 | 常勤  | 28 |
| P2116 | 知的障害児教育実践論  | 遠藤 貴則  | 前期 | 金  | 2 | 非常勤 | 28 |
| P2117 | 知的障害児指導法演習  | 新井 英靖  | 後期 | 水  | 2 | 常勤  | 32 |
| P2118 | 障害児発達臨床学    | 菊池 由葵子 | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 34 |
| P2119 | 障害児心理診断法    | 前川 久男  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 14 |
| P2120 | 肢体不自由児の教育方法 | 新井 英靖  | 後期 | 水  | 1 | 常勤  | 32 |
| P2121 | 病弱児の教育方法    | 新井 英靖  | 前期 | 月  | 3 | 常勤  | 36 |
| P2123 | 感覚障害児の教育    | 堀籠 義明  | 前期 | 集中 |   | 非常勤 | 18 |
| P2124 | 重度重複障害児教育論  | 林 恵津子  | 前期 | 集中 |   | 非常勤 | 32 |
| P2125 | 発達障害児教育概論   | 東條 吉邦  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 36 |
| P2126 | 障害児生理機能評価法  | 勝二 博亮  | 後期 | 木  | 5 | 常勤  | 11 |
| P2127 | 障害児教育総論     | 荒川 智   | 前期 | 水  | 1 | 常勤  | 28 |
| P2128 | 特別支援教育研究法   | 荒川 智   | 前期 | 月  | 5 | 常勤  | 8  |

## (6) 養護に関する科目

| 授業コード | 科目名称        | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------|--------|-----|----|-----|--------|------|
| P3001 | 衛生学         | 瀧澤 利行  | 前期  | 金  | 2   | 常勤     | 38   |
| P3002 | 公衆衛生学       | 瀧澤 利行  | 前期  | 火  | 5   | 常勤     | 38   |
| P3003 | 保健福祉論       | 瀧澤 利行  | 前期  | 火  | 2   | 常勤     | 22   |
| P3004 | 保健学演習       | 青柳 直子  | 後期  | 木  | 3   | 常勤     | 33   |
| P3005 | 学校保健概論      | 瀧澤 利行  | 前期  | 金  | 5   | 常勤     | 39   |
| P3006 | 小児健康運動学     | 松坂 晃   | 後期  | 金  | 4   | 常勤     | 36   |
| P3007 | 養護学概論 I     | 斉藤 ふくみ | 後期  | 火  | 2   | 常勤     | 38   |
| P3009 | 養護実践論       | 斉藤 ふくみ | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 37   |
| P3010 | 養護活動と関連法規   | 斉藤 ふくみ | 後期  | 木  | 2   | 常勤     | 35   |
| P3011 | 養護活動演習 I    | 斉藤 ふくみ | 後期  | 金  | 2   | 常勤     | 37   |
| P3012 | 養護活動演習 II   | 斉藤 ふくみ | 前期  | 火  | 1   | 常勤     | 33   |
| P3016 | 健康相談活動 I    | 斉藤 ふくみ | 前期  | 火  | 3   | 常勤     | 37   |
| P3018 | 栄養学         | 西川 陽子  | 後期  | 木  | 4   | 常勤     | 38   |
| P3019 | 解剖生理学       | 石原 研治  | 前期  | 木  | 2   | 常勤     | 38   |
| P3020 | 解剖生理学演習     | 石原 研治  | 後期  | 木  | 2   | 常勤     | 37   |
| P3021 | 障害児の病理      | 尾崎 久記  | 前期  | 月  | 5   | 常勤     | 37   |
| P3022 | 免疫学 I       | 石原 研治  | 前期  | 金  | 1   | 常勤     | 38   |
| P3023 | 免疫学 II      | 石原 研治  | 後期  | 金  | 2   | 常勤     | 38   |
| P3024 | 薬理学         | 石原 研治  | 前期  | 金  | 2   | 常勤     | 35   |
| P3025 | 精神保健        | 瀧澤 利行  | 前期  | 火  | 4   | 常勤     | 42   |
| P3026 | 精神医学        | 古池 雄治  | 後期  | 木  | 1   | 常勤     | 36   |
| P3027 | 臨床医学概論      | 古池 雄治  | 前期  | 木  | 5   | 常勤     | 37   |
| P3028 | 学校看護学概論     | 廣原 紀恵  | 前期  | 水  | 1   | 常勤     | 37   |
| P3029 | 学校看護学実習     | 廣原 紀恵  | 前期  | 火  | 1~2 | 常勤     | 37   |
| P3030 | 学校救急看護      | 廣原 紀恵  | 前期  | 木  | 4   | 常勤     | 38   |
| P3031 | 学校救急看護実習    | 廣原 紀恵  | 後期  | 火  | 1~2 | 常勤     | 38   |
| P3032 | 学校救急看護演習 I  | 廣原 紀恵  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 38   |
| P3034 | 内科系臨床医学・看護学 | 古池 雄治  | 後期  | 木  | 5   | 常勤     | 37   |
| P3035 | 外科系臨床医学・看護学 | 古池 雄治  | 後期  | 金  | 1   | 常勤     | 37   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                |       |    |    |   |    |    |
|-------|----------------|-------|----|----|---|----|----|
| P3036 | 母性・小児系臨床医学・看護学 | 古池 雄治 | 前期 | 木  | 2 | 常勤 | 35 |
| P3037 | 感覚器系臨床医学・看護学   | 古池 雄治 | 前期 | 木  | 3 | 常勤 | 36 |
| P3040 | 臨床医学・看護学臨床実習   | 古池 雄治 | 通年 | 集中 |   | 常勤 | 34 |
| P3041 | 小児・思春期保健学      | 青柳 直子 | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 37 |

## (7) 情報文化課程

## 課程共通科目

| 授業コード | 科目名称                  | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P4501 | 情報文化論                 | 市村 眞一  | 後期  | 火  | 1  | 非常勤    | 131  |
| P4502 | 情報リテラシーと情報モラル         | 本田 敏明  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 67   |
| P4503 | 情報と倫理                 | 實原 隆志  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 19   |
| P4505 | 基礎情報処理                | 工藤 雄司  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 44   |
| P4507 | 動画像処理(初級) a           | 小泉 晋弥  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 16   |
| P4508 | 動画像処理(初級) b           | 小泉 晋弥  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 13   |
| P4509 | Illustrator で DTP(初級) | 島田 裕之  | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 12   |
| P4510 | 静止画像処理(初級) a          | 佐々木 忠之 | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 23   |
| P4511 | 静止画像処理(初級) b          | 佐々木 忠之 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 21   |
| P4512 | ウェブ制作(初級) a           | 林 延哉   | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 20   |
| P4513 | ウェブ制作(初級) b           | 林 延哉   | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 19   |
| P4516 | 統計の初歩                 | 林 延哉   | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 58   |
| P4517 | 統計学                   | 小島 秀夫  | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 7    |
| P4518 | チームワーク&コーチング論         | 加藤 敏弘  | 後期  | 火  | 1  | 常勤     | 6    |
| P4519 | 課題図書講読Ⅰ               | 林 延哉   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 79   |
| P4520 | 課題図書講読Ⅱ               | 林 延哉   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 79   |
| P4521 | 課題図書講読Ⅲ               | 林 延哉   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 25   |
| P4522 | 生涯学習論                 | 望月 厚志  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 33   |
| P4523 | 外書講読Ⅰ                 | 小島 秀夫  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 22   |
| P4524 | 外書講読Ⅱ                 | 小島 秀夫  | 後期  | 火  | 2  | 常勤     | 7    |
| P4525 | インターンシップ              | 岩佐 淳一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |

## 課程専門科目

| 授業コード | 科目名称                 | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|----------------------|--------|-----|----|-----|--------|------|
| P4526 | 情報文化広報プロジェクトⅠ        | 林 延哉   | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 46   |
| P4527 | 情報文化広報プロジェクトⅡ        | 林 延哉   | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 47   |
| P4528 | メディア批評プロジェクトⅠ        | 小泉 晋弥  | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 29   |
| P4529 | メディア批評プロジェクトⅡ        | 小泉 晋弥  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 29   |
| P4530 | 地域活動プロジェクトⅠ          | 佐々木 忠之 | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 16   |
| P4531 | 地域活動プロジェクトⅡ          | 佐々木 忠之 | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 15   |
| P4532 | 映像工房プロジェクトⅠ          | 島田 裕之  | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 43   |
| P4533 | 映像工房プロジェクトⅡ          | 島田 裕之  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 42   |
| P4534 | 子ども文化プロジェクトⅠ         | 林 延哉   | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 52   |
| P4535 | 子ども文化プロジェクトⅡ         | 林 延哉   | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 50   |
| P4536 | 音×環境プロジェクト1          | 林 延哉   | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 11   |
| P4537 | 音×環境プロジェクト2          | 林 延哉   | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 11   |
| P4538 | 静止画像処理(中級)           | 島田 裕之  | 後期  | 集中 |     | 常勤     | 22   |
| P4539 | マイクロコンピュータ・プログラミング入門 | 佐々木 忠之 | 後期  | 金  | 3~4 | 常勤     | 9    |
| P4540 | マルチメディア・コンテンツ制作      | 本田 敏明  | 前期  | 木  | 4   | 常勤     | 23   |
| P4541 | 設計製図Ⅰ                | 乾 康代   | 後期  | 金  | 5   | 常勤     | 21   |
| P4542 | 設計製図Ⅱ                | 齋藤 芳徳  | 前期  | 木  | 3   | 常勤     | 12   |
| P4543 | 設計製図Ⅲ                | 齋藤 芳徳  | 後期  | 月  | 3   | 常勤     | 9    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |               |        |    |    |   |     |    |
|-------|---------------|--------|----|----|---|-----|----|
| P4544 | 図学演習          | 齋藤 芳徳  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 30 |
| P4545 | 建築一般構造        | 齋藤 芳徳  | 前期 | 木  | 2 | 常勤  | 28 |
| P4546 | 住居計画学         | 乾 康代   | 前期 | 金  | 5 | 常勤  | 26 |
| P4547 | 住居環境学         | 乾 康代   | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 46 |
| P4548 | 住環境計画学        | 乾 康代   | 前期 | 金  | 3 | 常勤  | 21 |
| P4549 | 居住地計画演習       | 乾 康代   | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 14 |
| P4553 | ベーシックデザイン     | 寺本 輝正  | 前期 | 金  | 5 | 常勤  | 32 |
| P4554 | デザイン素材研究      | 寺本 輝正  | 後期 | 金  | 5 | 常勤  | 15 |
| P4555 | 生活用品デザイン演習 I  | 寺本 輝正  | 前期 | 金  | 3 | 常勤  | 13 |
| P4556 | 生活用品デザイン演習 II | 寺本 輝正  | 後期 | 金  | 3 | 常勤  | 15 |
| P4557 | デザイン特別演習      | 海老原 豊  | 通年 | 集中 |   | 非常勤 | 38 |
| P4558 | デザイン理論        | 齋藤 芳徳  | 後期 | 火  | 5 | 常勤  | 20 |
| P4559 | 視覚コミュニケーション演習 | 島田 裕之  | 後期 | 金  | 2 | 常勤  | 20 |
| P4560 | デザイン史演習       | 島田 裕之  | 前期 | 木  | 1 | 常勤  | 24 |
| P4561 | 編集出版演習        | 岡部 泰明  | 後期 | 火  | 5 | 非常勤 | 16 |
| P4562 | 感覚の科学         | 佐々木 忠之 | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 39 |
| P4563 | 工芸演習          | 寺本 輝正  | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 0  |
| P4564 | 筆による表現        | 齋木 久美  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 28 |
| P4565 | 子どもアート演習      | 福田 邦夫  | 前期 | 集中 |   | 非常勤 | 40 |
| P4568 | 美術批評論         | 小泉 晋弥  | 後期 | 火  | 2 | 常勤  | 47 |
| P4569 | 図像学入門         | 甲斐 教行  | 後期 | 水  | 3 | 常勤  | 45 |
| P4570 | 表象文化論         | 小泉 晋弥  | 前期 | 水  | 4 | 常勤  | 60 |
| P4574 | 日本美術史 I       | 小泉 晋弥  | 前期 | 木  | 3 | 常勤  | 39 |
| P4575 | 日本美術史 II      | 小泉 晋弥  | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 62 |
| P4576 | 西洋美術史 I       | 甲斐 教行  | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 31 |
| P4577 | 西洋美術史 II      | 甲斐 教行  | 後期 | 木  | 5 | 常勤  | 16 |
| P4578 | 西洋美術史特別講義 I   | 藤原 貞朗  | 前期 | 火  | 5 | 常勤  | 15 |
| P4580 | 古美術実地研究       | 小泉 晋弥  | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 8  |
| P4582 | 美術館教育         | 小泉 晋弥  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 7  |
| P4583 | 表現の基礎 I       | 片口 直樹  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 23 |
| P4584 | 表現の基礎 II      | 島 剛    | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 6  |
| P4585 | 造形実技 I        | 島 剛    | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 3  |
| P4586 | 造形実技 II       | 片口 直樹  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 5  |
| P4587 | 平面表現演習 I      | 片口 直樹  | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 17 |
| P4588 | 平面表現演習 II     | 片口 直樹  | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 12 |
| P4589 | 平面表現演習 III    | 片口 直樹  | 後期 | 月  | 3 | 常勤  | 8  |
| P4590 | 彩画特別演習        | 片口 直樹  | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 7  |
| P4591 | 絵画特別演習        | 間島 秀徳  | 前期 | 集中 |   | 非常勤 | 17 |
| P4592 | 立体表現演習 I      | 島 剛    | 前期 | 月  | 5 | 常勤  | 18 |
| P4593 | 立体表現演習 II     | 島 剛    | 前期 | 金  | 5 | 常勤  | 5  |
| P4594 | 立体表現演習 III    | 島 剛    | 後期 | 金  | 2 | 常勤  | 2  |
| P4595 | 塑造特別演習        | 島 剛    | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 2  |
| P4596 | 彫刻特別演習        | 松田 文平  | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 3  |
| P4597 | 絵本制作演習        | 島田 裕之  | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 22 |
| P4598 | 現代文化批評        | 小泉 晋弥  | 後期 | 水  | 4 | 常勤  | 17 |
| P4599 | 社会調査法         | 小島 秀夫  | 前期 | 金  | 3 | 常勤  | 21 |
| P4601 | メディア・リテラシー II | 岩佐 淳一  | 後期 | 木  | 2 | 常勤  | 32 |
| P4602 | フィールドワークの科学   | 岩佐 淳一  | 前期 | 木  | 2 | 常勤  | 37 |
| P4603 | 文化記号論         | 高田 明典  | 通年 | 集中 |   | 非常勤 | 11 |
| P4604 | 社会文化情報演習 I    | 小島 秀夫  | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 27 |
| P4605 | 社会文化情報演習 II   | 岩佐 淳一  | 前期 | 火  | 5 | 常勤  | 20 |
| P4606 | 社会臨床演習 I      | 林 延哉   | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 13 |
| P4607 | 社会臨床演習 II     | 林 延哉   | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 13 |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                 |       |    |    |   |     |    |
|-------|-----------------|-------|----|----|---|-----|----|
| P4608 | 情報社会論           | 岩佐 淳一 | 後期 | 木  | 1 | 常勤  | 46 |
| P4609 | マス・コミュニケーション論   | 岩佐 淳一 | 前期 | 木  | 1 | 常勤  | 65 |
| P4610 | 文化の社会学          | 岩佐 淳一 | 後期 | 火  | 5 | 常勤  | 62 |
| P4611 | 人文地理学           | 小野寺 淳 | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 37 |
| P4612 | 社会統計学           | 小島 秀夫 | 後期 | 金  | 4 | 常勤  | 19 |
| P4613 | 社会意識論           | 小島 秀夫 | 前期 | 火  | 1 | 常勤  | 27 |
| P4614 | 地域社会論           | 小島 秀夫 | 後期 | 金  | 3 | 常勤  | 26 |
| P4618 | 視聴覚教育メディア論      | 小泉 晋弥 | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 2  |
| P4619 | 茨城の歴史と文化        | 小野寺 淳 | 前期 | 火  | 1 | 常勤  | 43 |
| P4620 | ヨーロッパの歴史と文化     | 池谷 文夫 | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 12 |
| P4621 | アメリカ文学史         | 君塚 淳一 | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 13 |
| P4623 | 映像作品と時代そして文化的背景 | 君塚 淳一 | 後期 | 木  | 5 | 常勤  | 51 |
| P4623 | 視聴覚教育メディア論      | 小泉 晋弥 | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 1  |
| P4624 | 博物館学Ⅰ           | 田中 裕  | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 3  |
| P4625 | 博物館学Ⅰ（教育と理念）    | 田中 裕  | 前期 | 木  | 5 | 常勤  | 20 |
| P4626 | 博物館学Ⅱ           | 梶山 孝  | 後期 | 月  | 4 | 非常勤 | 0  |
| P4627 | 博物館学ⅠⅡ（経営論）     | 梶山 孝  | 後期 | 月  | 4 | 非常勤 | 12 |
| P4628 | 博物館学Ⅲ           | 小泉 晋弥 | 前期 | 木  | 2 | 常勤  | 10 |
| P4630 | 博物館学Ⅳ（展示論）      | 水嶋 英治 | 後期 | 集中 |   | 非常勤 | 15 |
| P4631 | 文化財保存と博物館       | 田中 裕  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 14 |
| P4632 | 情報メディアと博物館      | 田中 裕  | 後期 | 水  | 3 | 常勤  | 12 |
| P4633 | 博物館実習Ⅰ          | 小泉 晋弥 | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 0  |
| P4634 | 博物館実習Ⅱ          | 小泉 晋弥 | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 10 |
| P4635 | 美術館ワークショップ実習    | 片口 直樹 | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 17 |
| P4636 | 博物館実習Ⅰ（校内実習）    | 小泉 晋弥 | 通年 | 集中 |   | 常勤  | 12 |
| P4638 | 建築材料学基礎         | 野崎 英明 | 前期 | 月  | 3 | 常勤  | 51 |
| P4640 | 材料力学            | 車谷 麻緒 | 後期 | 月  | 1 | 常勤  | 12 |
| P4641 | コンクリート構造学       | 原田 隆郎 | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 8  |
| P4642 | 建築施工            | 齋藤 芳徳 | 後期 | 月  | 2 | 常勤  | 23 |
| P4644 | 測量学演習           | 宮原 寛実 | 前期 | 火  | 2 | 非常勤 | 36 |
| P4645 | 都市設備及び住居環境      | 沼尾 達弥 | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 9  |
| P4646 | 測量学             | 桑原 祐史 | 前期 | 金  | 2 | 常勤  | 12 |
| P4647 | 建設材料学           | 沼尾 達弥 | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 11 |
| P4648 | 都市・地域計画         | 金 利昭  | 後期 | 火  | 1 | 常勤  | 4  |
| P4649 | 建築学概論           | 一ノ瀬 彩 | 後期 | 金  | 3 | 常勤  | 0  |
| P4650 | 都市計画論Ⅰ          | 斎藤 義則 | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 0  |
| P4651 | 都市計画論Ⅱ          | 斎藤 義則 | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 9  |
| P4652 | 特別演習Ⅰ           | 林 延哉  | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 56 |
| P4653 | 特別演習Ⅱ           | 林 延哉  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 54 |
| P4654 | 情報と倫理           | 本田 敏明 | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 1  |

## (8) 人間環境教育課程

共通

| 授業コード | 科目名称        | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P5001 | 社会と思想       | 木村 競   | 前期  | 月  | 1  | 常勤     | 19   |
| P5002 | 現代のナショナルリズム | 木村 競   | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 21   |
| P5003 | 科学技術と社会     | 曾我 日出夫 | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 15   |
| P5004 | 教育実践と教師     | 望月 厚志  | 前期  | 火  | 1  | 常勤     | 37   |
| P5005 | 教育の本質と理念    | 小川 哲哉  | 前期  | 木  | 1  | 常勤     | 43   |
| P5010 | 生活の中の環境問題   | 曾我 日出夫 | 後期  | 月  | 1  | 常勤     | 23   |
| P5011 | 生涯スポーツの実現   | 日下 裕弘  | 前期  | 水  | 3  | 常勤     | 21   |
| P5012 | 現代人の健康      | 松坂 晃   | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 22   |



平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                |        |    |    |   |    |    |
|-------|----------------|--------|----|----|---|----|----|
| P5014 | 人間教育の心理学       | 丸山 広人  | 後期 | 木  | 1 | 常勤 | 43 |
| P5015 | 情報の収集と活用       | 関 友作   | 前期 | 木  | 2 | 常勤 | 22 |
| P5016 | データ解析法         | 関 友作   | 前期 | 木  | 4 | 常勤 | 28 |
| P5018 | 情報編集法          | 関 友作   | 後期 | 木  | 1 | 常勤 | 37 |
| P5019 | 技能伝達法          | 加藤 敏弘  | 前期 | 火  | 1 | 常勤 | 29 |
| P5020 | コミュニケーション演習    | 加藤 敏弘  | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 13 |
| P5022 | 視聴覚教育メディア論     | 小泉 晋弥  | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 0  |
| P5023 | チームワーク&コーチング論  | 加藤 敏弘  | 後期 | 火  | 1 | 常勤 | 20 |
| P5024 | 組織の合意          | 曾我 日出夫 | 前期 | 月  | 3 | 常勤 | 18 |
| P5025 | 生涯学習論          | 望月 厚志  | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 1  |
| P5026 | プロジェクト・マネジメントA | 木村 競   | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 5  |
| P5028 | 総合演習           | 加藤 敏弘  | 前期 | 水  | 5 | 常勤 | 1  |
| P5029 | 知識経営特別演習 I     | 加藤 敏弘  | 後期 | 水  | 5 | 常勤 | 1  |
| P5030 | 知識経営特別演習 II    | 加藤 敏弘  | 前期 | 水  | 5 | 常勤 | 0  |
| P5031 | 総合演習           | 曾我 日出夫 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 9  |
| P5032 | 環境特別演習 I       | 曾我 日出夫 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 9  |
| P5033 | 環境特別演習 II      | 曾我 日出夫 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 12 |
| P5034 | 総合演習           | 加藤 敏弘  | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 16 |
| P5035 | スポーツ特別演習 I     | 加藤 敏弘  | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 8  |
| P5036 | スポーツ特別演習 II    | 加藤 敏弘  | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 11 |
| P5037 | 総合演習           | 上地 勝   | 前期 | 水  | 5 | 常勤 | 5  |
| P5038 | 健康特別演習 I       | 上地 勝   | 後期 | 水  | 2 | 常勤 | 13 |
| P5039 | 健康特別演習 II      | 上地 勝   | 前期 | 水  | 2 | 常勤 | 11 |
| P5040 | 総合演習           | 丸山 広人  | 前期 | 水  | 1 | 常勤 | 10 |
| P5041 | 心理特別演習 I       | 丸山 広人  | 後期 | 水  | 1 | 常勤 | 10 |
| P5042 | 心理特別演習 II      | 丸山 広人  | 前期 | 水  | 1 | 常勤 | 11 |
| P5043 | プロジェクト研究 I     | 曾我 日出夫 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 0  |
| P5044 | プロジェクト研究 II    | 曾我 日出夫 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 0  |
| P5045 | プロジェクト研究 III   | 曾我 日出夫 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 0  |

## 環境コース

| 授業コード | 科目名称      | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時  | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------|--------|-----|----|-----|--------|------|
| P5101 | 環境科学総論    | 曾我 日出夫 | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 11   |
| P5102 | 地球環境論     | 阿部 信一郎 | 後期  | 月  | 2   | 常勤     | 12   |
| P5103 | 環境科学への数学  | 曾我 日出夫 | 後期  | 火  | 3   | 常勤     | 5    |
| P5104 | 基礎生物学     | 棗田 孝晴  | 前期  | 月  | 5   | 常勤     | 12   |
| P5105 | 基礎化学      | 青島 政之  | 後期  | 火  | 2   | 常勤     | 18   |
| P5106 | 基礎地学      | 上栗 伸一  | 前期  | 火  | 3   | 常勤     | 8    |
| P5109 | 環境倫理学     | 大倉 茂   | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 14   |
| P5112 | 複雑系の適応行動  | 曾我 日出夫 | 後期  | 金  | 1   | 常勤     | 8    |
| P5113 | 生活環境学     | 山本 和恵  | 前期  | 集中 |     | 非常勤    | 7    |
| P5114 | 衛生公衆衛生学概論 | 上地 勝   | 後期  | 金  | 4   | 常勤     | 2    |
| P5115 | 環境教育論     | 郡司 晴元  | 後期  | 金  | 2   | 常勤     | 10   |
| P5117 | 環境地球科学    | 伊藤 孝   | 前期  | 水  | 1   | 常勤     | 11   |
| P5118 | 岩石学       | 伊藤 孝   | 後期  | 木  | 2   | 常勤     | 6    |
| P5119 | 地質学       | 上栗 伸一  | 後期  | 水  | 1   | 常勤     | 12   |
| P5120 | 気象学       | 伊藤 孝   | 後期  | 金  | 3   | 常勤     | 14   |
| P5121 | 地形学 I     | 松倉 公憲  | 後期  | 金  | 4   | 常勤     | 10   |
| P5122 | 地学実験 A    | 上栗 伸一  | 前期  | 金  | 4~5 | 常勤     | 11   |
| P5123 | 地学実験 B    | 伊藤 孝   | 後期  | 月  | 4~5 | 常勤     | 8    |
| P5124 | 地学実験指導法   | 上栗 伸一  | 前期  | 金  | 4   | 常勤     | 3    |
| P5125 | 地学野外実習    | 伊藤 孝   | 前期  | 集中 |     | 常勤     | 5    |
| P5126 | 無機物理化学    | 青島 政之  | 前期  | 水  | 1   | 常勤     | 6    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |          |        |    |    |     |     |    |
|-------|----------|--------|----|----|-----|-----|----|
| P5127 | 有機化学     | 松川 覚   | 前期 | 金  | 2   | 常勤  | 11 |
| P5128 | 水環境論     | 森野 浩   | 前期 | 火  | 2   | 非常勤 | 11 |
| P5129 | 汚染化学論    | 根岸 正美  | 前期 | 木  | 3   | 非常勤 | 11 |
| P5130 | 化学実験 I   | 松川 覚   | 前期 | 金  | 4~5 | 常勤  | 10 |
| P5131 | 化学実験 II  | 松川 覚   | 後期 | 金  | 4~5 | 常勤  | 1  |
| P5132 | 環境科学実験   | 阿部 信一郎 | 後期 | 月  | 4~5 | 常勤  | 2  |
| P5133 | 環境化学     | 松川 覚   | 後期 | 月  | 4   | 常勤  | 10 |
| P5134 | 植物学      | 小野 義隆  | 前期 | 月  | 4   | 常勤  | 24 |
| P5135 | 植物分類学    | 小野 義隆  | 前期 | 火  | 1   | 常勤  | 4  |
| P5136 | 動物生態学    | 棗田 孝晴  | 後期 | 月  | 3   | 常勤  | 15 |
| P5138 | 動物学      | 棗田 孝晴  | 後期 | 月  | 4   | 常勤  | 10 |
| P5139 | 生物学実験    | 小野 義隆  | 前期 | 火  | 3~4 | 常勤  | 5  |
| P5140 | 臨湖実習     | 中里 亮治  | 前期 | 集中 |     | 常勤  | 3  |
| P5141 | 生物学野外実習  | 小野 義隆  | 前期 | 集中 |     | 常勤  | 10 |
| P5144 | 微分積分の基礎  | 梅津 健一郎 | 前期 | 水  | 1   | 常勤  | 2  |
| P5145 | 基礎物理学    | 永尾 敬一  | 前期 | 火  | 1   | 常勤  | 14 |
| P5146 | 環境計測法    | 曾我 日出夫 | 前期 | 水  | 2   | 常勤  | 22 |
| P5147 | 物理学実験 I  | 矢島 裕介  | 後期 | 金  | 1~2 | 常勤  | 6  |
| P5148 | 応用確率統計演習 | 千葉 康生  | 後期 | 集中 |     | 非常勤 | 0  |
| P5149 | 博物館学 I   | 田中 裕   | 前期 | 木  | 5   | 常勤  | 0  |
| P5150 | 博物館学 II  | 梶山 孝   | 後期 | 月  | 4   | 非常勤 | 0  |
| P5151 | 博物館学 III | 山崎 晃司  | 後期 | 集中 |     | 非常勤 | 0  |
| P5152 | 博物館実習 I  | 曾我 日出夫 | 通年 | 集中 |     | 常勤  | 0  |
| P5153 | 博物館実習 II | 曾我 日出夫 | 通年 | 集中 |     | 常勤  | 0  |

## スポーツコース

| 授業コード | 科目名称      | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-----------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P5201 | 体育スポーツ社会学 | 日下 裕弘 | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 13   |
| P5204 | 体育学概論     | 加藤 敏弘 | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 10   |
| P5205 | 体育史       | 日下 裕弘 | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 8    |
| P5206 | 体育経営管理学   | 日下 裕弘 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| P5207 | 運動学概論     | 勝本 真  | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 10   |
| P5209 | 運動生理学     | 松坂 晃  | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 10   |
| P5210 | 栄養学       | 西川 陽子 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 7    |
| P5211 | トレーニング法   | 吉岡 利貢 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 13   |
| P5214 | 運動障害救急法   | 富樫 泰一 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 7    |
| P5215 | 生理学       | 尾形 敬史 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 9    |
| P5216 | 形態学       | 渡邊 將司 | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 12   |
| P5217 | 測定評価      | 渡邊 將司 | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 7    |
| P5218 | スポーツ栄養学   | 古旗 照美 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 10   |
| P5219 | 運動処方論     | 松坂 晃  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 11   |
| P5220 | 衛生公衆衛生学概論 | 上地 勝  | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 12   |
| P5221 | 健康調査解析法   | 上地 勝  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 13   |
| P5222 | 学校保健概論    | 上地 勝  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 10   |
| P5223 | スポーツ心理学   | 中島 宣行 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 20   |
| P5225 | 野外運動      | 富樫 泰一 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| P5226 | スキー       | 富樫 泰一 | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 35   |
| P5228 | 陸上競技      | 上地 勝  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 7    |
| P5229 | ギムナスティック  | 會沢 哲史 | 前期  | 金  | 4  | 非常勤    | 7    |
| P5230 | ダンス・身体表現  | 瀬谷 元子 | 前期  | 木  | 4  | 非常勤    | 7    |
| P5231 | 水泳        | 富樫 泰一 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 10   |
| P5232 | バスケットボール  | 加藤 敏弘 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 10   |
| P5233 | サッカー      | 吉野 聡  | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 10   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |                  |       |    |    |   |    |    |
|-------|------------------|-------|----|----|---|----|----|
| P5235 | バレーボール           | 勝本 真  | 前期 | 金  | 4 | 常勤 | 10 |
| P5236 | 卓球・テニス           | 日下 裕弘 | 前期 | 火  | 3 | 常勤 | 9  |
| P5237 | ソフトボール・バドミントン    | 勝本 真  | 後期 | 火  | 4 | 常勤 | 10 |
| P5238 | 柔道               | 尾形 敬史 | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 21 |
| P5239 | 剣道               | 巽 申直  | 後期 | 火  | 2 | 常勤 | 21 |
| P5240 | 陸上競技方法論          | 上地 勝  | 後期 | 木  | 3 | 常勤 | 7  |
| P5243 | ボールゲーム方法論Ⅰ       | 加藤 敏弘 | 前期 | 火  | 4 | 常勤 | 10 |
| P5244 | ボールゲーム方法論Ⅱ       | 日下 裕弘 | 後期 | 火  | 3 | 常勤 | 12 |
| P5245 | 武道方法論            | 尾形 敬史 | 後期 | 火  | 1 | 常勤 | 21 |
| P5246 | 陸上競技指導法          | 上地 勝  | 後期 | 木  | 4 | 常勤 | 1  |
| P5249 | 水泳指導法            | 富樫 泰一 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 14 |
| P5250 | バスケットボール指導法      | 加藤 敏弘 | 前期 | 火  | 3 | 常勤 | 1  |
| P5251 | サッカー指導法          | 吉野 聡  | 後期 | 火  | 4 | 常勤 | 0  |
| P5253 | バレーボール指導法        | 勝本 真  | 前期 | 金  | 4 | 常勤 | 7  |
| P5254 | 卓球・テニス指導法        | 日下 裕弘 | 前期 | 火  | 3 | 常勤 | 3  |
| P5255 | ソフトボール・バドミントン指導法 | 勝本 真  | 後期 | 火  | 4 | 常勤 | 2  |
| P5256 | 柔道指導法            | 尾形 敬史 | 前期 | 火  | 2 | 常勤 | 1  |
| P5257 | 剣道指導法            | 巽 申直  | 後期 | 火  | 2 | 常勤 | 2  |
| P5258 | 野外運動指導法          | 富樫 泰一 | 前期 | 集中 |   | 常勤 | 1  |
| P5259 | スキー指導法           | 富樫 泰一 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 4  |
| P5261 | スポーツ実習Ⅰ          | 加藤 敏弘 | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 34 |
| P5262 | スポーツ実習Ⅱ          | 勝本 真  | 後期 | 集中 |   | 常勤 | 1  |

## 健康コース

| 授業コード | 科目名称        | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P5301 | 衛生公衆衛生学概論   | 上地 勝   | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 14   |
| P5303 | 健康調査解析法     | 上地 勝   | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 19   |
| P5304 | 運動学概論       | 勝本 真   | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 11   |
| P5305 | 形態学         | 渡邊 將司  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 13   |
| P5306 | 生理学         | 尾形 敬史  | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 12   |
| P5307 | 運動生理学       | 松坂 晃   | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 12   |
| P5308 | 栄養学         | 西川 陽子  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 12   |
| P5309 | 臨床医学概論      | 古池 雄治  | 前期  | 木  | 5  | 常勤     | 4    |
| P5311 | 測定評価        | 渡邊 將司  | 後期  | 金  | 3  | 常勤     | 4    |
| P5312 | 保健福祉論       | 瀧澤 利行  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 8    |
| P5313 | トレーニング法     | 吉岡 利貢  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 20   |
| P5315 | 運動処方論       | 松坂 晃   | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 12   |
| P5317 | 運動障害救急法     | 富樫 泰一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 6    |
| P5318 | メンタルヘルス     | 瀧澤 利行  | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 9    |
| P5320 | スポーツ心理学     | 中島 宣行  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 22   |
| P5321 | 体育学概論       | 加藤 敏弘  | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 11   |
| P5322 | 体育スポーツ社会学   | 日下 裕弘  | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 12   |
| P5323 | 食生活と健康      | 西川 陽子  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 0    |
| P5324 | スポーツ栄養学     | 古旗 照美  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 14   |
| P5325 | 環境科学総論      | 曾我 日出夫 | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| P5328 | 生活環境学       | 山本 和恵  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 3    |
| P5329 | 発達心理学       | 村野井 均  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 12   |
| P5331 | 保健体育科教育法研究Ⅲ | 青柳 直子  | 前期  | 金  | 1  | 常勤     | 3    |
| P5332 | 学校保健概論      | 上地 勝   | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 9    |
| P5333 | 健康相談活動Ⅰ     | 斉藤 ふくみ | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 4    |
| P5334 | 障害児生理心理学    | 勝二 博亮  | 後期  | 木  | 5  | 常勤     | 9    |
| P5335 | ダンス・身体表現    | 瀬谷 元子  | 前期  | 木  | 4  | 非常勤    | 12   |
| P5336 | アクアフィットネス   | 富樫 泰一  | 前期  | 集中 |    | 常勤     | 13   |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |               |       |    |    |   |     |    |
|-------|---------------|-------|----|----|---|-----|----|
| P5337 | 卓球・テニス        | 日下 裕弘 | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 8  |
| P5338 | 野外運動          | 富樫 泰一 | 前期 | 集中 |   | 常勤  | 8  |
| P5339 | バスケットボール      | 加藤 敏弘 | 前期 | 火  | 3 | 常勤  | 12 |
| P5340 | サッカー          | 吉野 聡  | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 11 |
| P5342 | バレーボール        | 勝本 真  | 前期 | 金  | 4 | 常勤  | 12 |
| P5343 | ソフトボール・バドミントン | 勝本 真  | 後期 | 火  | 4 | 常勤  | 10 |
| P5344 | ギムナスティック      | 會沢 哲史 | 前期 | 金  | 4 | 非常勤 | 8  |
| P5345 | 陸上競技          | 上地 勝  | 後期 | 木  | 4 | 常勤  | 8  |
| P5346 | ボールゲーム方法論 I   | 加藤 敏弘 | 前期 | 火  | 4 | 常勤  | 8  |
| P5347 | ボールゲーム方法論 II  | 日下 裕弘 | 後期 | 火  | 3 | 常勤  | 9  |
| P5349 | 陸上競技方法論       | 上地 勝  | 後期 | 木  | 3 | 常勤  | 8  |
| P5350 | 健康運動指導実習      | 上地 勝  | 前期 | 木  | 2 | 常勤  | 0  |
| P5351 | 健康施設実習        | 上地 勝  | 後期 | 集中 |   | 常勤  | 1  |

## 心理コース

| 授業コード | 科目名称         | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|--------------|--------|-----|----|----|--------|------|
| P5401 | 心理学史         | 丸山 広人  | 前期  | 金  | 2  | 常勤     | 10   |
| P5402 | 発達心理学        | 村野井 均  | 前期  | 火  | 2  | 常勤     | 10   |
| P5404 | 人格心理学        | 三輪 壽二  | 後期  | 木  | 2  | 常勤     | 27   |
| P5405 | 心理学研究法 I     | 渡部 玲二郎 | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 10   |
| P5407 | 心理学統計法       | 渡部 玲二郎 | 後期  | 火  | 3  | 常勤     | 14   |
| P5408 | 心理学実験        | 丸山 広人  | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 10   |
| P5409 | 心理学文献講読 I    | 渡部 玲二郎 | 前期  | 火  | 4  | 常勤     | 9    |
| P5411 | 心理学文献講読 III  | 関 友作   | 後期  | 火  | 4  | 常勤     | 11   |
| P5412 | グループアプローチ特講  | 正保 春彦  | 前期  | 月  | 3  | 常勤     | 23   |
| P5414 | 生涯学習とメディア    | 石川 勝博  | 後期  | 月  | 5  | 非常勤    | 2    |
| P5415 | 幼児心理学        | 村野井 均  | 後期  | 集中 |    | 常勤     | 10   |
| P5416 | 発達心理学特講      | 村野井 均  | 後期  | 金  | 2  | 常勤     | 15   |
| P5417 | 学校心理学        | 丸山 広人  | 前期  | 月  | 4  | 常勤     | 27   |
| P5420 | 発達臨床心理学      | 渡部 玲二郎 | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 19   |
| P5422 | 職業指導の原理 I    | 大平 典男  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 0    |
| P5424 | 発達の理解 A      | 渡部 玲二郎 | 前期  | 木  | 3  | 常勤     | 13   |
| P5425 | 発達の理解 B      | 村野井 均  | 後期  | 木  | 3  | 常勤     | 12   |
| P5426 | 学校教育相談       | 三輪 壽二  | 後期  | 月  | 2  | 常勤     | 8    |
| P5428 | 不応問題と学校      | 丸山 広人  | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 20   |
| P5429 | 社会の中の心理学     | 松澤 広和  | 前期  | 集中 |    | 非常勤    | 29   |
| P5430 | 心理臨床検査法演習    | 三輪 壽二  | 前期  | 木  | 4  | 常勤     | 20   |
| P5431 | 心理臨床援助法実習 I  | 三輪 壽二  | 前期  | 水  | 5  | 常勤     | 11   |
| P5432 | 心理臨床援助法実習 II | 三輪 壽二  | 後期  | 水  | 5  | 常勤     | 10   |
| P5433 | 衛生公衆衛生学概論    | 上地 勝   | 後期  | 金  | 4  | 常勤     | 1    |
| P5434 | 生理学          | 尾形 敬史  | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 5    |
| P5435 | 学校保健概論       | 上地 勝   | 後期  | 月  | 4  | 常勤     | 2    |
| P5436 | 健康相談活動 I     | 斉藤 ふくみ | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 0    |
| P5437 | 保健科教育内容研究 I  | 青柳 直子  | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 1    |
| P5438 | 障害児臨床学       | 菊池 由葵子 | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 5    |
| P5440 | 栄養学          | 西川 陽子  | 後期  | 木  | 4  | 常勤     | 0    |
| P5442 | 社会福祉論        | 渋谷 敦司  | 前期  | 火  | 3  | 常勤     | 1    |
| P5443 | スポーツ心理学      | 中島 宣行  | 後期  | 集中 |    | 非常勤    | 1    |
| P5444 | 複雑系の適応行動     | 曾我 日出夫 | 後期  | 金  | 1  | 常勤     | 9    |
| P5445 | 運動障害救急法      | 富樫 泰一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## (9) 特別専門科目

| 授業コード | 科目名称              | 教員氏名  | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|-------------------|-------|-----|----|----|--------|------|
| P5501 | 教師の資質と教職設計A       | 五島 浩一 | 前期  | 金  | 5  | 常勤     | 48   |
| P5502 | 教師の資質と教職設計B       | 五島 浩一 | 後期  | 金  | 5  | 常勤     | 101  |
| P5503 | 教職のためのパブリックスピーキング | 橋浦 洋志 | 前期  | 火  | 5  | 常勤     | 21   |

## (10) 卒業研究

| 授業コード | 科目名称 | 教員氏名   | 開講期 | 曜日 | 講時 | 常勤・非常勤 | 受講者数 |
|-------|------|--------|-----|----|----|--------|------|
| PG301 | 卒業研究 | 青島 政之  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| PG302 | 卒業研究 | 青柳 直子  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG303 | 卒業研究 | 新井 英靖  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG304 | 卒業研究 | 荒川 智   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG305 | 卒業研究 | 池谷 文夫  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG306 | 卒業研究 | 石島 恵美子 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| PG307 | 卒業研究 | 石原 研治  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 6    |
| PG308 | 卒業研究 | 伊藤 孝   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 6    |
| PG309 | 卒業研究 | 乾 康代   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| PG310 | 卒業研究 | 岩佐 淳一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 8    |
| PG311 | 卒業研究 | 上地 勝   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 5    |
| PG312 | 卒業研究 | 白坂 高司  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG313 | 卒業研究 | 梅津 健一郎 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG314 | 卒業研究 | 大島 規江  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG315 | 卒業研究 | 大津 展子  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| PG316 | 卒業研究 | 大辻 永   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG317 | 卒業研究 | 尾形 敬史  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 0    |
| PG318 | 卒業研究 | 小川 哲哉  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG319 | 卒業研究 | 小口 祐一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 7    |
| PG320 | 卒業研究 | 生越 達   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG321 | 卒業研究 | 尾崎 久記  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG322 | 卒業研究 | 小野 義隆  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 1    |
| PG323 | 卒業研究 | 小野寺 淳  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 8    |
| PG324 | 卒業研究 | 甲斐 教行  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 1    |
| PG325 | 卒業研究 | 賀来 健輔  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG326 | 卒業研究 | 数井 みゆき | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG327 | 卒業研究 | 片口 直樹  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG328 | 卒業研究 | 勝本 真   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 5    |
| PG329 | 卒業研究 | 加藤 敏弘  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG330 | 卒業研究 | 加藤 崇英  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG331 | 卒業研究 | 金子 一夫  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 3    |
| PG332 | 卒業研究 | 上栗 伸一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG333 | 卒業研究 | 川嶋 秀之  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 5    |
| PG334 | 卒業研究 | 神部 智   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 1    |
| PG335 | 卒業研究 | 君塚 淳一  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG336 | 卒業研究 | 木村 競   | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG337 | 卒業研究 | 木村 勝彦  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 1    |
| PG338 | 卒業研究 | 木村 美智子 | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 2    |
| PG339 | 卒業研究 | 日下 裕弘  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 4    |
| PG340 | 卒業研究 | 工藤 雄司  | 通年  | 集中 |    | 常勤     | 6    |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |      |        |    |    |  |    |    |
|-------|------|--------|----|----|--|----|----|
| PG341 | 卒業研究 | 栗原 博之  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG342 | 卒業研究 | 郡司 晴元  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG343 | 卒業研究 | 小泉 晋弥  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG344 | 卒業研究 | 向野 康江  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG345 | 卒業研究 | 小島 秀夫  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG346 | 卒業研究 | 五島 浩一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG347 | 卒業研究 | 小林 英美  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG348 | 卒業研究 | 齋木 久美  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG349 | 卒業研究 | 齋藤 英敏  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1  |
| PG350 | 卒業研究 | 齋藤 ふくみ | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG351 | 卒業研究 | 齋藤 芳徳  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG352 | 卒業研究 | 猪井 新一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG353 | 卒業研究 | 榎 守    | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG354 | 卒業研究 | 佐々木 忠之 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1  |
| PG355 | 卒業研究 | 佐藤 篤   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG356 | 卒業研究 | 佐藤 環   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG357 | 卒業研究 | 佐藤 裕紀子 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG359 | 卒業研究 | 島 剛    | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG360 | 卒業研究 | 島田 裕之  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 18 |
| PG361 | 卒業研究 | 勝二 博亮  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG362 | 卒業研究 | 昌子 佳広  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG363 | 卒業研究 | 正保 春彦  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG364 | 卒業研究 | 杉本 憲子  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG365 | 卒業研究 | 鈴木 一史  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 7  |
| PG366 | 卒業研究 | 関 友作   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG367 | 卒業研究 | 曾我 日出夫 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG368 | 卒業研究 | 瀧澤 利行  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 9  |
| PG369 | 卒業研究 | 巽 申直   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG370 | 卒業研究 | 田中 健次  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1  |
| PG371 | 卒業研究 | 谷川 佳幸  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG372 | 卒業研究 | 千葉 真由美 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG373 | 卒業研究 | 寺本 輝正  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG374 | 卒業研究 | 東條 吉邦  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG375 | 卒業研究 | 富樫 泰一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG376 | 卒業研究 | 永尾 敬一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG377 | 卒業研究 | 古池 雄治  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG378 | 卒業研究 | 中野 雅紀  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG379 | 卒業研究 | 棗田 孝晴  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG380 | 卒業研究 | 竝木 崇康  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2  |
| PG381 | 卒業研究 | 西川 陽子  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 4  |
| PG382 | 卒業研究 | 根本 博   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 6  |
| PG383 | 卒業研究 | 野崎 英明  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG384 | 卒業研究 | 野中 美津枝 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG385 | 卒業研究 | 橋浦 洋志  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5  |
| PG386 | 卒業研究 | 長谷川 幸介 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG387 | 卒業研究 | 林 延哉   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 18 |
| PG388 | 卒業研究 | 藤田 文子  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG389 | 卒業研究 | 廣原 紀恵  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 8  |
| PG390 | 卒業研究 | 本田 敏明  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |
| PG391 | 卒業研究 | 増子 和男  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3  |
| PG392 | 卒業研究 | 前川 久男  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1  |
| PG393 | 卒業研究 | 松川 覚   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1  |
| PG394 | 卒業研究 | 松倉 公憲  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0  |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|       |      |        |    |    |  |    |   |
|-------|------|--------|----|----|--|----|---|
| PG395 | 卒業研究 | 松坂 晃   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 8 |
| PG396 | 卒業研究 | 丸山 広人  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2 |
| PG397 | 卒業研究 | 三輪 壽二  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2 |
| PG398 | 卒業研究 | 村野井 均  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2 |
| PG399 | 卒業研究 | 村山 朝子  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1 |
| PG400 | 卒業研究 | 望月 厚志  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3 |
| PG401 | 卒業研究 | 矢島 裕介  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 0 |
| PG402 | 卒業研究 | 安田 健一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2 |
| PG403 | 卒業研究 | 柳田 伸顯  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5 |
| PG404 | 卒業研究 | 山口 哲人  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 2 |
| PG405 | 卒業研究 | 山本 勝博  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3 |
| PG406 | 卒業研究 | 吉野 聡   | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5 |
| PG407 | 卒業研究 | 脇岡 宗一  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1 |
| PG408 | 卒業研究 | 渡邊 將司  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 5 |
| PG409 | 卒業研究 | 渡部 玲二郎 | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 3 |
| PG410 | 卒業研究 | 齋藤 典生  | 通年 | 集中 |  | 常勤 | 1 |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 2-2 開設授業科目の各種比率

学校教育教員養成課程

(特別支援学校教育  
コース)

|      |              |     |       |
|------|--------------|-----|-------|
| 専門科目 | 専任担当科目数      | 603 | 30    |
|      | 兼任担当科目数      | 76  | 6     |
|      | 全体の科目数及び専任割合 | 679 | 88.8% |
|      |              | 36  | 83.3% |

養護教諭養成課程

|      |              |    |        |
|------|--------------|----|--------|
| 専門科目 | 専任担当科目数      | 45 |        |
|      | 兼任担当科目数      | 0  |        |
|      | 全体の科目数及び専任割合 | 45 | 100.0% |

情報文化課程

|      |              |     |       |
|------|--------------|-----|-------|
| 専門科目 | 専任担当科目数      | 118 |       |
|      | 兼任担当科目数      | 26  |       |
|      | 全体の科目数及び専任割合 | 144 | 81.9% |

人間環境教育課程

|      |              |     |       |
|------|--------------|-----|-------|
| 専門科目 | 専任担当科目数      | 193 |       |
|      | 兼任担当科目数      | 26  |       |
|      | 全体の科目数及び専任割合 | 219 | 88.1% |



平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 2-3 単位互換協定及び大学独自の単位認定の状況

|              |                          |               | 学校教育教<br>員養成課程 | 養護教諭養<br>成課程 | 情報文化課<br>程 | 人間環境教<br>育課程 | 計  |    |
|--------------|--------------------------|---------------|----------------|--------------|------------|--------------|----|----|
| 単位互換協定に基づくもの | 認定者数(a)                  |               | 7              | 1            | 3          |              | 11 |    |
|              | 他大学                      | 認定単位総数<br>(b) | 専門<br>科目       |              |            | 2            |    | 2  |
|              |                          |               | 専門<br>以外       | 32           | 2          | 8            |    | 42 |
|              | 短期大学                     | 認定単位総数<br>(c) | 専門<br>科目       |              |            |              |    |    |
|              |                          |               | 専門<br>以外       |              |            |              |    |    |
|              | 1人当たり平均認定単位数(b+c)<br>/a  |               |                | 4.6          | 2          | 3.3          |    | 4  |
| 単位互換協定以外のもの  | 認定者数(d)                  |               | 2              | 2            |            |              | 4  |    |
|              | 他大学                      | 認定単位総数<br>(e) | 専門<br>科目       |              | 26         |              |    | 26 |
|              |                          |               | 専門<br>以外       | 14           | 10         |              |    | 24 |
|              | 短期大学<br>高専<br>含む・そ<br>の他 | 認定単位総数<br>(f) | 専門<br>科目       |              | 31         |              |    | 31 |
|              |                          |               | 専門<br>以外       | 2            | 15         |              |    | 17 |
|              | 1人当たり平均認定単位数(e+f)<br>/d  |               |                | 8            | 41         |              |    | 25 |

### 3 大学院教育学研究科のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

#### 3-1 学校教育専攻

##### 3-1-1 カリキュラム・ポリシー

学校教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①以下について教員としての高い専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。
  - a) 教育および学校での教育実践の意義
  - b) 学校教育の内容と方法
  - c) 学校教育の組織と運営
  - d) 児童・生徒の発達と人間形成
- ②上記について、学校における教育活動に活かせる研究を行う能力を身に付けさせる。
- ③専門的知識と研究能力を活かして、学校における教員集団の中心となって教育活動を行うことができる能力を身に付けさせる。

##### 3-1-2 ディプロマ・ポリシー

学校教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な学校教育に関する知識を有している。
- ・学校における教育活動に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして学校教育を行うことができる能力を有している。

#### 3-2 障害児教育専攻

##### 3-2-1 カリキュラム・ポリシー

障害児教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教員としての専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を身に付けさせる。
- ②特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③特別支援教育の課題に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に沿った特別支援教育を展開できる力を身に付けさせる。

##### 3-2-2 ディプロマ・ポリシー

障害児教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を有している。
- ・特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を有している。
- ・特別支援教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして特別支援教育を行うことができる能力を有している。

### 3-3 教科教育専攻

#### 3-3-1 カリキュラム・ポリシー

教科教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教科内容について、教員としての専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。
- ②教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を身に付けさせる。
- ③教育内容の深化・変化に対応し、教科指導の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に合わせた教科指導を展開できる力を身に付けさせる。

#### 3-3-2 ディプロマ・ポリシー

教科教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、教科内容についての知識を有している。
- ・教科における教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を有している。
- ・教科教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして教科教育を行うことができる能力を有している。

### 3-4 養護教育専攻

#### 3-4-1 カリキュラム・ポリシー

養護教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①養護教諭としての専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識と学校教育における多様な課題を理解させる。
- ②児童・生徒の状況を把握し、発達段階や特性に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③課題の変化に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に沿って、養護教諭としての活動を展開できる力を身に付けさせる。

#### 3-4-2 ディプロマ・ポリシー

養護教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・養護教諭としての高い専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識を有し、学校教育における課題を理解している。
- ・児童・生徒および学校の状況に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を有している。
- ・養護教諭としての活動に活かせる研究を行う能力を有している。

### 3-5 学校臨床心理専攻

#### 3-5-1 カリキュラム・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ①こころの問題の専門家としての専門性を満たすに十分な臨床心理学的な知識を身に付けさせる。
- ②こころの問題の多様性及びその変化に対応できる実践力を身に付けさせる。
- ③こころの問題の様々な変化に対応し、心理学的な支援の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

### 3-5-2 ディプロマ・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教育をはじめとする様々な分野における多様なこころの問題への心理学的援助に関わる実践と研究を専門的に行う力を有している。
- ・こころの問題に関する様々な分野において、こころの問題に取り組む専門家としての見識と専門的技能を持ち、それぞれの分野において社会の発展に寄与することができる力を有している。

## 4 茨城大学教育学研究科の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学研究科「大学院学生便覧」から引用した。

### 4-1 概要

#### 4-1-1 茨城大学大学院教育学研究科を運営するに当たって準拠する規則

学校教育法に基づく大学院設置基準 (昭和 49 年 6 月 20 日 文部省令第二十八号)

茨城大学学則

茨城大学大学院学則（以下「大学院学則」）

茨城大学学位規則（以下「学位規則」）

茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「研究科規則」）

学位論文の審査及び最終試験実施要項（以下「学位論文審査要項」）（その他各種申し合わせ事項、及び各種ガイドライン等

この便覧は、それらから学生に必要なと思われる内容を編集したものである。

#### 4-1-2 教育学研究科の組織構成

茨城大学大学院教育学研究科は、5 専攻 14 専修で構成されている（研究科規則第 3 条）。

|         |         |
|---------|---------|
| 学校教育専攻  | 学校教育専修  |
| 障害児教育専攻 | 障害児教育専修 |
| 教科教育専攻  | 国語教育専修  |
|         | 社会科教育専修 |
|         | 数学教育専修  |

|          |          |
|----------|----------|
|          | 理科教育専修   |
|          | 音楽教育専修   |
|          | 美術教育専修   |
|          | 保健体育専修   |
|          | 技術教育専修   |
|          | 家政教育専修   |
|          | 英語教育専修   |
| 養護教育専攻   | 養護教育専修   |
| 学校臨床心理専攻 | 学校臨床心理専修 |

#### 4-1-3 教育学研究科の運営体制

教育学研究科の諸事項は大学院教育学研究科教員で組織する研究科委員会で審議し、決定する。各専修には専修を代表する専修主任と専修関係の諸事項を担当する専門委員がいる。種々の専門的事項については、各専修の専門委員で構成する専門委員会が審議し、研究委員会に提案する。

#### 4-1-4 主指導教員・副指導教員

学生には、その研究主題に応じ、指導教員を定める（研究科規則第 4 条）。各専修は年度当初に学生の希望や指導体制を考慮して、主指導教員 1 名、副指導教員 2 名以上を決め、所定書式で提出する。大学院教員には指導教員と授業担当教員との区別がある。学生の研究指導と授業をするのが指導教員、授業をするのが授業担当教員である。各専修で確認すること。主指導教員は当該専攻・専修の指導教員の中から選ぶ。副指導教員は研究主題との関係で適切と判断できれば、他専攻・他専修の指導教員・授業担当教員でもよい。

#### 4-1-5 履修方法

後掲の「研究科規則 別表 3」の各専修備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規則第 6 条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目（学校臨床心理専修は選択必修科目）とに分かれる。各専修によって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規則別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」及び「開講授業科目概要」に掲載されている。「開講授業科目一覧」で授業科目は各種の科目群「分野」に分類されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

ほとんどの授業は半期 2 単位である。ただし、大学院共通科目及びサステイナビリティ学教育プログラム、学校臨床心理専修の一部授業は 1 単位であり、最終年次に修了研究の指導を行う特別課題研究は通年 4 単位である。

修了に必要な最低単位は別表備考欄で指定された授業科目 34 単位である（下表及び研究科

規則別表参照)。専修毎にバランスの取れた複数の履修モデルを提供しているため、それを参考に計画をたてること。学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究科長へ提出する(研究科規則第6条)。該当授業の担当教員に必要事項を記入して提出した履修科目申告票が受領されれば、履修の承諾となる。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承認を得て学務第二係へ届ける。

| 専 攻              |             | 学校<br>教育      | 障害<br>児教<br>育 | 教科<br>教育 | 養護<br>教育 | 学校臨<br>床心理 |     |
|------------------|-------------|---------------|---------------|----------|----------|------------|-----|
| 必 修              | 研究科共通科目 a 群 | 4             | 4             | 4        | 4        |            |     |
| 選<br>択<br>必<br>修 | 共通科目        | 大学院共通科目から     | 2             | 2        | 2        | 2          |     |
|                  |             | 研究科共通科目 b 群から | 2             | 2        | 2        | 2          |     |
|                  | 専攻科目        | 学校教育に関する科目から  | 1 0           |          |          |            |     |
|                  |             | 障害児教育に関する科目から | ( 2 )         | 1 2      |          |            |     |
|                  |             | 教科教育に関する科目から  | 4             | 2        | 1 2      |            |     |
|                  |             | 養護教育に関する科目から  |               |          |          | 1 4        |     |
|                  |             | 学校臨床に関する科目から  |               |          |          |            | 1 6 |
| 選択 (研究科内の科目から)   | 8 *         | 8 *           | 1 0<br>*      | 8 *      | 1 4      |            |     |
| 特別課題研究 (必修)      | 4           | 4             | 4             | 4        | 4        |            |     |
| 修了要件単位合計         |             | 3 4           | 3 4           | 3 4      | 3 4      | 3 4        |     |

また、他研究科での授業科目(大学院共通科目を除く)は自由単位(修了要件にしない)として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主指導教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許取得等の関係で学部の科目等履修生(単位取得をする)になる場合、在学中 24 単位の修得を認める(科目数は不問とする)。

#### 4-1-6 試験及び成績評価

履修科目の単位の授与は、試験その他の方法によって授業科目の担当教員が行う(研究科規則第10条)。試験又は報告書(レポート)等の評価はA、B、C、Dをもって行い、Dは不合格である(同11条)。その評価基準は表の通りである。各授業科目の具体的な評価基準及び評価方法は、授業概要に記載の通りである。学生には年度末又は学期末に履修授業の成績通知票が交付される。

| 区分 | 点数     | 評価の内容                              |
|----|--------|------------------------------------|
| A  | 80~100 | 授業科目の到達目標、内容を8割以上達成、理解・修得できた。      |
| B  | 60~ 79 | 授業科目の到達目標、内容を7割達成、理解・修得できた。        |
| C  | 50~ 59 | 授業科目の到達目標、内容を5~6割達成、理解・修得できた。      |
| D  | 0~ 49  | 授業科目の到達目標、内容を5割未満しか達成、理解・修得できなかった。 |

以上のA～Dの評価の他に、「欠試」「取止」がある。試験欠席又は報告書未提出の場合は「欠試」、受講者が自ら受講取止を申告した場合は「取止」となる。授業の出席時数が総授業数の3分の2に達しない場合は、試験を受けても単位は認定されずD評価となる。追試験は研究科委員会の議を経て行われる(研究科規則第10条2)。追試験はやむを得ない事由のある「欠試」の場合のみに認められる。一度単位が認定された評価は再履修しても変更できない。D評価、欠試、取止の場合は再履修ができる。単位累加可の授業以外は、既に単位が認定された授業を再履修しても単位は認定されない。交付された成績に関して説明を希望する場合は、当該教員又は後述の相談窓口申し出ることができる。

#### 4-1-7 修了研究としての学位論文

特別課題研究で指導を受け、指定された期限までに学位論文(大学院学則に規定された特定課題の研究成果を含む)を提出する(研究科規則第12条)。学位論文の審査会は所属専攻の指導教員の1名と研究科内の内容に関係する教員2名以上をもって組織される(学位規則第12条の2)。審査員は原則として主指導教員と副指導教員2名である。学位論文は、別に定める評価基準と審査方法により可・不可の二種に評価される。なお、前述の「大学院学則に規定された特定の課題の研究成果」とは、演奏・演技・作品及び関連論文を指す。各専修における学位論文に関する基準等については、「IV 各専修の履修計画指針」を参照すること。

#### 4-1-8 最終試験と学位論文の公開

最終試験は学位論文を中心として、それに関連する事項について行う(学位規則第14条)。学位論文は各専修における発表会等で公開する。合格した学位論文は、研究科で刊行する抄録集に概要を掲載できる。その際、国立教育政策研究所の教育情報検索システムによる電子化を了承する。

#### 4-1-9 修了要件と学位

研究科に2年以上在籍し、研究科指定の科目34単位修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すると修了でき、学位(教育学)が与えられる(大学院学則第21条の2)。在籍期間については1年、3年と例外的制度がある(研究科規則第9条、第14条参照)。

#### 4-1-10 学生相談の体制

学生が学習、経済、進路、人間関係、その他各種困難な事態に直面した場合は、専修主任、専修専門委員に相談されたい。また、専修を超えた研究科全体としての相談窓口も設けているので、そちらへ相談したい場合は、学務第二係の相談受付窓口申し出ること。秘密は厳守される。

## 4-1-11 奨学金・授業料免除・奨学金返還免除

日本学生支援機構の奨学金貸与や授業料免除を希望する学生は、年度当初に募集要項を配布しているので所定の窓口に取りに行くこと。また、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けた者のうち、特に優れた業績をあげた者を奨学金返還免除候補者として大学が推薦する制度がある。推薦を希望する者には第2年度の2月に申請書を配布するが、第1年度から条件に合うように留意すること。

## 4-1-12 学位論文の審査及び最終試験実施要項

(昭和 63 年 12 月 21 日教育学研究科委員会決定)

## 1. 趣旨

修士（教育学）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）によるものほか、この要項による。

## 2. 学位論文審査

## (1) 論文の提出資格

所属専修に1年以上在学し、修士課程修了見込みの者。

## (2) 論文の提出期限

1月31日（9月修了予定の者については、7月31日）とする。（提出日が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする。）

## (3) 論文の提出部数

1編3部とする。（正本1部、副本2部）

## (4) 論文の提出方法

論文には論文要旨（2,000字以内）及び論文審査願を添付し、指導教員の承認を得て、研究科長に提出する。

ただし、教育学研究科規則第9条第1項の規定に基づき、専修領域によって特定の課題についての研究作品をもって代える場合は、その関連論文を添えて提出する。

## (5) 論文審査会・審査員

学位規則第12条の規定に基づき審査会を設置する。審査員は原則として主指導教員を主査、副指導教員2名を副査とする。各専修においては審査の一環として、発表会等論文内容を公開する場を設けるものとする。

## (6) 評価

学位論文の評価は可・不可の二種とし、教育に関する優れた知見を修得したことが認められ、学位論文が次のいずれかに該当する場合は可とする。

① 高度な研究又は実践の能力を修得したと認められる。

② 修士課程修了時の研究論文としても妥協性、または独創性が認められる。



### (7) 学生への明示

この要項に基づいて各専修で設定する学位論文及び茨城大学大学院学則第 22 条に規定された「特定の課題」に関する評価基準、審査方法及び最終試験の方法等については、該当学生にあらかじめ明示するものとする。

### 3. 論文題目の変更

論文題目を変更する場合は、指導教員の承認を得て、研究科長に届出なければならない。

### 4. 最終試験

最終試験は、学位規則第 14 条の規定に基づき実施するものとする。

### 5. 論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2 月 20 日（9 月修了予定の者については、8 月末日）までに終了し、審査会はその結果を文書をもって研究科委員会に報告しなければならない。（期日が土・日曜日にあたる場合は前の休業日とする。）

### 6. 論文の保管

審査に合格した論文の 1 部は、教育学研究科に保管する。

### 7. その他

この要項によりがたいときは、その都度、研究科委員会に付議し決定する。

## 4-2 共通科目の履修について

### 4-2-1 大学院授業科目

茨城大学大学院は、知識基盤社会の構築を担う高度専門職業人養成と知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の育成をめざしています。そのために、専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するとともに、幅広い学識と専門分野に関連する基礎的素養を培うことを目標としています。これらの目標を実現するため、大学院授業科目は次のような科目で構成されています。

#### (1) 共通科目

1) 大学院共通科目：幅広い学識と俯瞰的視野及び職業的素養などを涵養するための科目です。

2) 研究科共通科目：教育学研究科が開講する科目で、専門に近い領域で基盤的な学識や素養を涵養するための科目です。

## (2) 専攻科目

専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するための科目です。

## (3) 独立及び横断型プログラム等の科目

研究科や専攻をまたぐ横断的分野や特定の職種に特化した分野の科目です。プログラムを修了すると「修了認定証」が交付されます。

## 4-2-2 修了要件

教育学研究科の各専攻を修了するためには、教育学研究科規則に示した 3 4 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、学位論文の最終審査に合格することが必要です。学校臨床心理専攻を除く各専攻においては、大学院共通科目 2 単位以上、研究科共通科目 6 単位以上（a 群：2 科目 4 単位が必修、b 群：どちらか 1 科目 2 単位を選択必修）の修得が必要です。（学校臨床心理専攻においては、大学院共通科目および研究科共通科目の修得は修了要件に含まれません。）

## 4-2-3 共通科目の授業科目

| 科目群             | 科目名             | 単位  | 担当教員   |
|-----------------|-----------------|-----|--------|
| 大学院<br>共通<br>科目 | 地球環境システム論Ⅰ      | 1   | 三村他    |
|                 | 地球環境システム論Ⅱ      | 1   | 山村他    |
|                 | 持続社会システム論Ⅰ      | 1   | 中川他    |
|                 | 持続社会システム論Ⅱ      | 1   | 田村、蓮井  |
|                 | 人間システム基礎論Ⅰ      | 1   | 伊藤他    |
|                 | 人間システム基礎論Ⅱ      | 1   | 賀来 他   |
|                 | 学術英会話           | 2   | 未定     |
|                 | 国際コミュニケーション基礎   | 2   | 中野     |
|                 | 研究と教育           | 2   | 橋浦他    |
|                 | 科学と倫理           | 2   | 曾良     |
|                 | 実学的産業特論         | 2   | 中澤     |
|                 | 学術情報リテラシー       | 1   | 小野寺    |
|                 | 霞ヶ浦環境科学概論       | 1   | 黒田、吉田他 |
|                 | 原子科学と倫理         | 2   | 小澤     |
|                 | 地域サステナビリティ農学概論  | 1   | 小松崎他   |
|                 | 食料の安定生産と農学      | 1   | 新田     |
|                 | 実践国際コミュニケーション   | 2   | 中野     |
|                 | 先端科学トピックスB      | 1   | 工学部教員  |
|                 | 感性数理工学特論        | 2   | 湊      |
|                 | バイオテクノロジーと社会    | 1   | 安西他    |
| 研究科<br>共通<br>科目 | a 群             |     |        |
|                 | 地域教育資源フィールドスタディ | 2   | 橋浦他    |
|                 | 授業展開ケーススタディ     | 2   | 橋浦他    |
|                 | b 群             |     |        |
|                 | 教科コラボレートケーススタディ | 2   | 橋浦他    |
|                 | 学校教育総合研究        | 2   | 佐藤他    |
|                 | c 群             |     |        |
|                 | サステナビリティ教育特論Ⅰ   | 1   | 郡司他    |
|                 | サステナビリティ教育特論Ⅱ   | 1   | 郡司他    |
|                 | サステナビリティ教育演習Ⅰ   | 1   | 大辻他    |
| サステナビリティ教育演習Ⅱ   | 1               | 未定  |        |
| サステナビリティ教育演習Ⅲ   | 1               | 大辻他 |        |

#### 4-2-4 履修上の注意

##### (1) 大学院共通科目の履修申告

学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究科長に提出して下さい。該当授業の担当教員に必要事項を記入して提出した履修科目申告票が受理されれば、履修の承諾となります。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承諾を得て学務第二係へ提出して下さい。

(2) 大学院共通科目は、基本的には、3 キャンパス遠隔講義として同時開講しますので、開講時間やそれぞれのキャンパスでの受講する教室に注意して下さい。

(3) 教育職員免許状（専修免許状）の取得希望者は、免許の取得に必要な単位数に大学院共通科目を含めることはできませんので、注意して下さい。

#### 4-3 サステナビリティ学教育プログラムの履修について

##### 4-3-1 サステナビリティ学教育プログラムの履修について

##### (1) サステナビリティ学教育プログラムの趣旨

茨城大学は、平成 18 年 5 月に「地球変動適応科学研究機関 (ICAS : Institute for Global Change Adaptation Science)」を設置し、東京大学を基幹校とする「サステナビリティ学連携研究機構 (Integrated Research System for Sustainability Science: IR3S)」に主要 5 大学（他に、京都大学、大阪大学、北海道大学）の一員として参加、「アジア・太平洋の地域性を生かした気候変動への適応」を研究テーマに、全学をあげて、地球環境と社会の持続性（サステナビリティ）を確保するための新しい学問の創造をめざしています。教育面では、平成 21 年 4 月から本学全研究科に共通した「サステナビリティ学教育プログラム」を創設し、サステナビリティ学研究成果を生かしつつ、アジア・太平洋地域の現場の問題解決を担う人材育成を行っています。

環境問題やエネルギー・資源の不足、水・食料の逼迫、人口問題などを解決して、社会の持続性（サステナビリティ）をいかに確保するかは現代の大きな課題になっています。本教育プログラムは、基盤科目や海外及び国内での現場演習を通して、これらの問題を把握する俯瞰的視点と専門分野の知識をつなぐ分野横断的な勉学の機会を提供します。

教育学研究科で実施する「サステナビリティ学教育プログラム」では、上記の全学の目的に加え、あらゆる教育的場面において、サステナビリティの視点をもって活動ができる以下の人材を育成します。

- ・地球環境問題、地域環境問題など、持続可能な社会を実現するための諸課題に関する俯瞰的・横断的知識をもつ。
- ・学校教育や生涯学習等あらゆる教育機会において、持続可能な社会にむけた教育 (Education for Sustainable Society) を自ら計画・実施する意欲、技能、知識をもつ。
- ・持続可能な社会を実現する観点から、未来を生きる次世代の構成員を育成する高い意識をもつ。

当該プログラムの修了要件を満たした院生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステ

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

「イナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、IR3S 主要 5 大学は共同教育プログラムを設置し、この要件を満たした院生には、共同教育プログラム修了認定証が授与されます。この運営は、平成 22 年度から一般社団法人「サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム (SSC)」に引き継がれ、認定証は「SSC 共同教育プログラム修了認定証」になります。

## (2) 平成 24 年度教育学研究科「サステイナビリティ学プログラム」科目一覧

| 科目区分               | 科目名                | 単位                   | SSC 共同教育プログラム | 必要単位数 |    |
|--------------------|--------------------|----------------------|---------------|-------|----|
| コア科目               | 基盤科目               | サステイナビリティ学最前線 (必修)   | 俯瞰型科目         | 2*    |    |
|                    |                    | 地球環境システム論 I          |               |       | 1● |
|                    |                    | 地球環境システム論 II         |               |       | 1  |
|                    |                    | 持続社会システム論 I          |               |       | 1● |
|                    |                    | 持続社会システム論 II         |               |       | 1  |
|                    |                    | 人間システム基礎論 I          |               |       | 1● |
|                    | 人間システム基礎論 II       | 1                    |               |       |    |
|                    | 演習科目               | 国際実践教育演習             |               |       | 2  |
|                    |                    | 国内実践教育演習             |               |       | 2  |
|                    |                    | ファシリテーション能力開発演習 I    |               |       | 1  |
| ファシリテーション能力開発演習 II |                    | 1                    |               |       |    |
|                    | サステイナビリティ学インターンシップ | 2                    |               |       |    |
| 専門科目               | 教育学研究科専門科目         | サステイナビリティ教育特論 I (*)  | 選択科目          | 4     |    |
|                    |                    | サステイナビリティ教育特論 II (*) |               |       | 1● |
|                    |                    | サステイナビリティ教育演習 I      |               |       | 1● |
|                    |                    | サステイナビリティ教育演習 II     |               |       | 1● |
|                    |                    | サステイナビリティ教育演習 III    |               |       | 1● |
|                    |                    | 地域教育資源フィールドスタディ      |               |       | 1● |
|                    |                    | 地域自然環境特論             |               |       | 1● |
|                    |                    | 食物学特論                |               |       | 2● |
|                    |                    | 被服学特論                |               |       | 2● |
|                    |                    |                      |               |       | 2● |

(\*) 「サステイナビリティ教育特論□」または「サステイナビリティ教育特論□」を必ず履修する。

(●) ●印を付した科目のみ修了要件としてカウントされる。それ以外は修了要件にならないので注意すること。

## (3) プログラムの修了要件と履修上の注意

1) (プログラムの修了要件) 前表に示す基盤科目と演習科目から合わせて 6 単位、教育学研究科専門科目から 4 単位の合計 10 単位を履修すること。ただし、基盤科目「サステイナビリティ学最前線」はサステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム (SSC) 参加大学が協力して開講する科目で、必修です。

また、「サステイナビリティ教育特論 I」または「サステイナビリティ教育特論 II」のいずれかの科目を必ず履修すること。なお、「SSC 共同教育プログラム運営規則」でいう「俯瞰型科目」及び「サステイナビリティ学関連科目」とは上の表に示すとおりです。

2) 基盤科目及び演習科目は、地球変動適応科学研究機関 (ICAS) の協力の下で開講する科目です。

3) 「地球環境システム論 I」、「持続社会システム論 I」、「人間システム基礎論 I」は、本プ

プログラムの科目かつ大学院共通科目として申告できます。

- 4) 「国際実践教育演習」及び「国内実践教育演習」、「サステナビリティ教育演習 III」を履修する場合は、「学生教育研究災害保険」に加入し、担当教員の指示に従うこと。
- 5) このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得た上で、別紙「サステナビリティ学プログラム履修届」を指定された期日までに学務第二係に提出して下さい。
- 6) 修了要件を満たした学生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、5 大学で共通の認定証「SSC 共同教育プログラム修了認定証」が SSC での審議を経て授与されます。
- 7) 「教育学研究科サステナビリティ学プログラム修了認定証」の発行申請にあたっては、別紙「サステナビリティ学プログラム修了認定証発行願」を指定された期日までに、学務第二係に提出してください。

#### (4) その他

- 1) 修了認定証を授与された者が、不正に修了認定を受けた事実が判明した場合は、修了の認定を取消、修了認定証を返還しなければなりません。
- 2) 修了認定証の再発行を受けようとする者は、研究科長に願い出てください。

#### 4-4 教育職員免許について

本研究科において、修了資格を得た者で、各専修の授業科目（※印の授業科目を除く）のうちから 24 単位以上の所要の単位を修得した者は、各専攻・専修に応じ以下の専修免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。

ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

| 専攻    | 専修    | 幼稚園教諭<br>専修免許状 | 小学校教諭<br>専修免許状 | 中学校教諭<br>専修免許状  | 高等学校教諭<br>専修免許状  | 養護教諭<br>専修免許状 | 特別支援<br>学校教諭<br>専修免許状 |
|-------|-------|----------------|----------------|---|--|---------------|-----------------------|
| 学校教育  | 学校教育  | ○              | ○              | 国語、社会、<br>数学、理科、<br>音楽、美術、<br>保健体育、<br>保健、技術、<br>家庭、職業指<br>導、英語 | 国語、地理歴史、<br>公民、数学、<br>理科、音楽、<br>美術、工芸、<br>書道、保健体育、<br>保健、家庭、<br>工業、職業指導、<br>英語 | ○             |                       |
| 障害児教育 | 障害児教育 |                |                |   |  |               | ○                     |
| 教科教育  | 国語教育  | ○              | ○              | 国語  | 国語   |               |                       |
|       | 社会科教育 |                | ○              | 社会  | 地理歴史、公民  |               |                       |

平成 26 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

|        |        |   |   |                                    |   |   |  |
|--------|--------|---|---|------------------------------------|---|---|--|
|        | 数学教育   | ○ | ○ | 数学                                 | 数学  |   |  |
|        | 理科教育   |   | ○ | 理科                                 | 理科  |   |  |
|        | 音楽教育   | ○ | ○ | 音楽                                 | 音楽  |   |  |
|        | 美術教育   | ○ | ○ | 美術                                 | 美術、工芸   |   |  |
|        | 保健体育   | ○ | ○ | 保健体育                               | 保健体育  |   |  |
|        | 技術教育   |   |   | 技術                                 | 工業  |   |  |
|        | 家政教育   |   | ○ | 家庭                                 | 家庭  |   |  |
|        | 英語教育   |   |   | 英語                                 | 英語  |   |  |
| 養護教育   | 養護教育   |   |   | 保健                                 | 保健  | ○ |  |
| 学校臨床心理 | 学校臨床心理 | ○ | ○ | 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、英語 | ○ |  |

(注) 1. 教科教育専攻及び養護教育専攻の者は、学校教育の授業科目（教職に関する科目）を 24 単位の中に含めて取得しても差し支えない。

2. 学校教育専攻の者は、取得しようとする当該免許（教科）の教科教育専修の授業科目（教科に関する科目及び教職に関する科目）を 24 単位の中に含めて取得しても差し支えない。

3. 学校教育、国語教育、数学教育、音楽教育、美術教育及び保健体育専修の者で幼稚園教諭専修免許状を取得する場合は、「道德教育特論」、「道德教育演習」の単位は含まれない。

※本研究科では、学生が一種免許状を取得するために、学部授業の聴講が一定の範囲で認められている（科目等履修生）が、別途、検定料、入学料および授業料が必要になるので注意すること。希望者は学務係に相談すること。

4-5 開講科目

①研究科共通科目(必修)※学校臨床心理専攻を除く。〔担当教員欄( )書きは、当該教員の研究領域を示す。〕

| 分野         | 授業科目            | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員      | 専修免許区分        |   |   |   |    |              |
|------------|-----------------|----|----|----|----|------|-------|-----------|---------------|---|---|---|----|--------------|
|            |                 |    |    |    |    |      |       |           | 教科又は教職に関する科目  |   |   |   |    | 特別支援教育に関する科目 |
|            |                 |    |    |    |    |      |       |           | 幼             | 小 | 中 | 高 | 養教 |              |
| 共通科目<br>必修 | 地域教育資源フィールドスタディ | 2  | 前  | 水  | 4  | 講義   | ×     | 教授 橋浦洋志 他 | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|            | 授業展開ケーススタディ     | 2  | 後  | 水  | 4  | 演習   | ×     | 教授 橋浦洋志 他 | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |

②研究科共通科目(選択必修) ※学校臨床心理専攻を除く。

|            |                 |   |   |   |   |    |   |           |               |  |  |  |  |    |
|------------|-----------------|---|---|---|---|----|---|-----------|---------------|--|--|--|--|----|
| 共通科目<br>必修 | 学校教育総合研究        | 2 | 前 | 月 | 5 | 講義 | × | 佐藤環、丸山広人  | (教職)全専修免許状に対応 |  |  |  |  | 不可 |
|            | 教科コラボレートケーススタディ | 2 | 前 | 水 | 4 | 講義 | × | 教授 橋浦洋志 他 | (教職)全専修免許状に対応 |  |  |  |  | 不可 |

③大学院共通科目(選択必修) ※学校臨床心理専攻を除く。

|                 |                 |   |    |    |    |    |                 |        |    |  |    |  |    |    |
|-----------------|-----------------|---|----|----|----|----|-----------------|--------|----|--|----|--|----|----|
| 大学院<br>共通<br>科目 | 地球環境システム論Ⅰ(※)   | 1 | 前  | 月  | 1  | 講義 | ×               | 三村信男 他 | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 持続社会システム論Ⅰ(※)   | 1 | 後  | 月  | 1  | 講義 | ×               | 中川光弘 他 | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 人間システム基礎論Ⅰ(※)   | 1 | 後  | 水  | 1  | 講義 | ×               | 伊藤哲司   | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 学術英会話           | 2 | 前  | 水  | 1  | 講義 | ×               | 未定     | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 国際コミュニケーション基礎   | 2 | 前  | 月  | 2  | 講義 | ×               | 中野武重   | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 実践国際コミュニケーション   | 2 | 前  | 水  | 2  | 講義 | ×               | 中野武重   | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 研究と教育—知の往還をめぐる— | 2 | 後  | 水  | 5  | 講義 | ×               | 橋浦洋志 他 | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 科学と倫理           | 2 | 前  | 業中 | 講義 | ×  | 曾良達生            | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 実学的産業特論         | 2 | 後  | 水  | 5  | 講義 | ×               | 中澤哲夫   | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 学術情報リテラシー       | 1 | 前  | 業中 | 講義 | ×  | 小野寺淳            | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 霧ヶ浦環境科学概論       | 1 | 前  | 業中 | 講義 | ×  | 黒田久雄、吉田貢士、中里亮治  | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 原子科学と倫理         | 2 | 後  | 業中 | 講義 | ×  | 小澤哲             | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 食料の安定生産と農学      | 1 | 前  | 木  | 4  | 講義 | ×               | 新田洋司 他 | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | バイオテクノロジーと社会    | 1 | 前  | 業中 | 講義 | ×  | 安西弘行、立川雅司、古谷綾子  | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 地域サステイナビリティ農学概論 | 1 | 後  | 業中 | 講義 | ×  | 小松崎将一、太田寛行、成澤才彦 | 不可     |    |  |    |  | 不可 |    |
|                 | 先端科学トピックスⅠ      | 1 | 休講 | 講義 | ×  | 不可 |                 |        |    |  | 不可 |  |    |    |
|                 | 先端科学トピックスⅡ      | 1 | 前  | 木  | 6  | 講義 | ×               | 工学部教員  | 不可 |  |    |  |    | 不可 |
|                 | 感性数理工学特論        | 2 | 後  | 水  | 2  | 講義 | ×               | 淺 淳    | 不可 |  |    |  |    | 不可 |

(※)印の科目は「サステイナビリティ学プログラム」にも対応した科目

④サステイナビリティ学プログラム

| 分野         | 授業科目               | 単位 | 区分 | 曜日          | 講時 | 授業形態 | 単位の累加  | 担当教員   | 修了要件 | 専修免許区分        |        |        |        |              |    |
|------------|--------------------|----|----|-------------|----|------|--------|--------|------|---------------|--------|--------|--------|--------------|----|
|            |                    |    |    |             |    |      |        |        |      | 教科又は教職に関する科目  |        |        |        | 特別支援教育に関する科目 |    |
|            |                    |    |    |             |    |      |        |        |      | 幼             | 小      | 中      | 高      |              | 養教 |
| 基盤科目       | サステイナビリティ学最前線      | 2  | 前  | 集中          | 講義 | ×    | 田村 誠 他 | ×      | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | 地球環境システム論Ⅰ         | 1  | 前  | 月           | 1  | 講義   | ×      | 三村信男 他 | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
|            | 持続社会システム論Ⅰ         | 1  | 後  | 月           | 1  | 講義   | ×      | 中川光弘 他 | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
|            | 人間システム基礎論Ⅰ         | 1  | 後  | 水           | 1  | 講義   | ×      | 伊藤哲司 他 | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
|            | 地球環境システム論Ⅱ         | 1  | 後  | 集中(11, 12月) |    | 講義   | ×      | 山村靖夫 他 | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
|            | 持続社会システム論Ⅱ         | 1  | 前  | 金           | 2  | 講義   | ×      | 田村 誠 他 | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
|            | 人間システム基礎論Ⅱ         | 1  | 前  | 月           | 4  | 講義   | ×      | 上地勝 他  | (※)  | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
| 演習科目       | ファシリテーション能力開発演習Ⅰ   | 1  | 前  | 集中          | 演習 | ×    | 山岸裕    | ×      | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | ファシリテーション能力開発演習Ⅱ   | 1  | 前  | 集中          | 演習 | ×    | 山岸裕    | ×      | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | 国際実践教育演習           | 2  | 前  | 集中          | 演習 | ×    | 田村誠 他  | ×      | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | 国内実践教育演習           | 2  | 前  | 集中          | 演習 | ×    | 黒田久雄 他 | ×      | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | サステイナビリティ学インターシッブ  | 2  |    | 未定          |    |      | ×      | 関係教員   | ×    | 不可            |        |        |        | 不可           |    |
| 教育学研究科専門科目 | サステイナビリティ教育特論Ⅰ     | 1  | 前  | 集中          | 講義 | ×    | 郡司靖元 他 |        | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | サステイナビリティ教育特論Ⅱ     | 1  |    | 休講          | 講義 | ×    | 郡司靖元 他 |        | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | サステイナビリティ教育演習Ⅰ     | 1  | 後  | 集中          | 演習 | ×    | 大辻永 他  |        | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | サステイナビリティ教育演習Ⅱ     | 1  |    | 休講          | 演習 | ×    |        |        | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | サステイナビリティ教育演習Ⅲ     | 1  | 後  | 集中          | 演習 | ×    | 大辻永 他  |        | 不可   |               |        |        | 不可     |              |    |
|            | 地域教育資源フィールドスタディ(※) | 2  | 前  | 水           | 4  | 講義   | ×      | 樋浦洋志 他 | (※)  | (教職)全専修免許状に対応 |        |        |        | 不可           |    |
|            | 地域自然環境特論           | 2  | 前  | 金           | 4  | 講義   | ×      | 沼澤 篤   |      | 不可            | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可           | 不可 |
|            | 食物学特論              | 2  | 前  | 木           | 2  | 講義   | ○      | 西川 陽子  |      | 不可            | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可           | 不可 |
| 被服学特論      | 2                  | 前  | 月  | 4           | 講義 | ○    | 木村 美智子 |        | 不可   | (教科)対応        | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可     | 不可           |    |

(※)印の科目は、大学院共通科目または研究科共通科目にも対応した科目



⑤学校教育専攻 学校教育専修

| 分野           | 授業科目      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員             | 専修免許区分        |   |   |   |    |              |    |
|--------------|-----------|----|----|----|----|------|-------|------------------|---------------|---|---|---|----|--------------|----|
|              |           |    |    |    |    |      |       |                  | 教科又は教職に関する科目  |   |   |   |    | 特別支援教育に関する科目 |    |
|              |           |    |    |    |    |      |       |                  | 幼             | 小 | 中 | 高 | 養教 | 特別支援         |    |
| 教育学<br>(教育史) | 教育哲学特論    | 2  |    | 休講 |    | 講義   | ○     |                  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育原論特論    | 2  | 前  | 火  | 2  | 講義   | ○     | 教授 小川 哲哉(教育哲学)   | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育原論演習    | 2  | 後  | 火  | 2  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 近代学校教育史特論 | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 教授 佐藤環(教育史)      | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 近代学校教育史演習 | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 学校経営         | 学校経営特論    | 2  | 前  | 木  | 5  | 講義   | ○     | 准教授 加藤崇英(学校経営)   | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 学校経営演習    | 2  | 後  | 木  | 4  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 教育社会学        | 教育社会学特論   | 2  | 前  | 水  | 2  | 講義   | ○     | 教授 小島 秀夫(教育社会学)  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育社会学演習   | 2  | 後  | 水  | 2  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 生涯教育特論    | 2  | 前  | 火  | 3  | 講義   | ○     | 教授 望月 厚志(社会教育)   | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 生涯教育演習    | 2  | 後  | 火  | 3  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 教育内容・方法論     | 教育方法学特論   | 2  | 前  | 木  | 1  | 講義   | ○     | 教授 生越 達(教育方法学)   | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育方法学演習   | 2  | 後  | 木  | 1  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教授学特論     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 教授 本田 敏明(教育方法学)  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教授学演習     | 2  | 前  | 金  | 2  | 演習   | ○     | 准教授 杉本 憲子(教育方法学) | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 教育心理学        | 教育心理学特論   | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ○     | 准教授 丸山 広人(教育心理学) | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育情報処理特論  | 2  | 後  | 月  | 5  | 講義   | ○     | 准教授 丸山 広人(教育心理学) | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 認知心理学演習   | 2  | 前  | 火  | 4  | 演習   | ○     | 准教授 関友作(教育心理学)   | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 発達心理学        | 発達心理学特論   | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ○     | 教授 村野井 均(発達心理学)  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 発達心理学演習   | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | "                | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 人間関係特論    | 2  | 前  | 木  | 4  | 講義   | ○     | 教授 渡部 玲二郎(発達心理学) | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
| 臨床心理学        | 発達論演習     | 2  | 後  | 木  | 3  | 講義   | ○     | 教授 渡部 玲二郎(発達心理学) | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 教育臨床心理特論  | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 教授 三輪 壽二(臨床心理学)  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 臨床家族心理学特論 | 2  | 後  | 月  | 3  | 講義   | ○     | 教授 三輪 壽二(臨床心理学)  | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    |              | 不可 |
|              | 特別課題研究    | 4  |    | 通年 |    | 演習   |       | 指導教員             |               |   |   |   |    |              | 不可 |

⑥障害児教育専攻 障害児教育専修

| 分野     | 授業科目                      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員              | 専修免許区分       |   |   |   |    |                  |
|--------|---------------------------|----|----|----|----|------|-------|-------------------|--------------|---|---|---|----|------------------|
|        |                           |    |    |    |    |      |       |                   | 教科又は教職に関する科目 |   |   |   |    | 特別支援教育に関する科目     |
|        |                           |    |    |    |    |      |       |                   | 幼            | 小 | 中 | 高 | 養教 | 特別支援             |
| 共通科目   | 障害学総合研究                   | 2  | 後  | 月  | 5  | 講義   | ○     | 勝二 博亮・荒川智・前川久男    | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
| 障害児教育  | 障害児教育学特論Ⅰ<br>(障害児教育学・教育史) | 2  | 前  | 火  | 5  | 講義   | ○     | 教授 荒川 智(障害児教育学)   | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児教育学演習Ⅰ                 | 2  | 後  | 火  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児教育学特論Ⅱ<br>(障害児教育方法学)   | 2  | 前  | 水  | 2  | 講義   | ○     | 准教授 新井 英晴(障害児教育学) | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児教育学演習Ⅱ                 | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
| 障害児心理  | 障害児心理学特論Ⅰ<br>(障害児認知心理学)   | 2  | 前  | 火  | 3  | 講義   | ○     | 特任教授 前川久男(障害児心理学) | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児心理学演習Ⅰ                 | 2  | 後  | 火  | 5  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児心理学特論Ⅱ<br>(障害児臨床心理学)   | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ○     | 教授 東條 吉邦(障害児心理学)  | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児心理学演習Ⅱ                 | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
| 障害児生理  | 障害児生理学特論Ⅰ<br>(発達障害学)      | 2  | 前  | 金  | 5  | 講義   | ○     | 准教授 勝二 博亮(障害児生理学) | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児生理学演習Ⅰ                 | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児生理学特論Ⅱ<br>(障害児生理学)     | 2  | 前  | 月  | 2  | 講義   | ○     | 教授 尾崎 久配(障害児生理学)  | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
|        | 障害児生理学演習Ⅱ                 | 2  | 後  | 月  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           |   |   |   |    | 特別支援学校教諭専修免許状に対応 |
| 特別課題研究 |                           | 4  | 通年 |    | 演習 |      | 指導教員  | 不可                |              |   |   |   | 不可 |                  |

⑦教科教育専攻 国語教育専修

| 分野     | 授業科目        | 単<br>位 | 区<br>分 | 曜<br>日 | 講<br>時 | 授<br>業<br>形<br>態 | 単<br>位<br>の<br>累<br>加 | 担当教員                            | 専修免許区分       |         |         |         |    |                  |
|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------|---------|---------|---------|----|------------------|
|        |             |        |        |        |        |                  |                       |                                 | 教科又は教職に関する科目 |         |         |         |    | 特別支援教育<br>に関する科目 |
|        |             |        |        |        |        |                  |                       |                                 | 幼            | 小       | 中       | 高       | 養教 | 特別支援             |
| 共通科目   | 言語文化総合研究    | 2      | 前      | 月      | 4      | 講義               | ×                     | 齋木・橋浦・増子・川嶋・岡部・昌子・鈴木<br>(教科) 対応 | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 国語教育授業設計    | 2      | 後      | 木      | 4      | 講義               | ×                     | 昌子・橋浦・増子・川嶋・岡部・齋木・鈴木<br>(教職) 対応 | (教職) 対応      | (教職) 国語 | (教職) 国語 | (教職) 国語 | 不可 | 不可               |
| 国語科教育  | 国語科教育学特論Ⅰ   | 2      | 前      | 木      | 1      | 講義               | ×                     | 准教授 鈴木一史(国語科教育学)<br>(教職) 対応     | (教職) 対応      | (教職) 国語 | (教職) 国語 | (教職) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 国語科教育学演習Ⅰ   | 2      | 後      | 木      | 1      | 演習               | ×                     | 〃<br>(教職) 対応                    | (教職) 対応      | (教職) 国語 | (教職) 国語 | (教職) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 国語科教育学特論Ⅱ   | 2      | 後      | 月      | 2      | 講義               | ×                     | 教授 昌子 佳広(国語科教育学)<br>(教職) 対応     | (教職) 対応      | (教職) 国語 | (教職) 国語 | (教職) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 国語科教育学演習Ⅱ   | 2      | 前      | 月      | 2      | 演習               | ×                     | 特任教授 岡部千草(国語科教育学)<br>(教職) 対応    | (教職) 対応      | (教職) 国語 | (教職) 国語 | (教職) 国語 | 不可 | 不可               |
| 国語学    | 古典語特論       | 2      | 前      | 火      | 5      | 講義               | ×                     | 教授 川嶋 秀之(国語学)<br>(教科) 対応        | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 現代語演習       | 2      | 後      | 木      | 5      | 演習               | ×                     | 〃<br>(教科) 対応                    | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
| 国文学    | 近代文学特論      | 2      | 前      | 金      | 5      | 講義               | ×                     | 教授 橋浦 洋志(日本近代文学)<br>(教科) 対応     | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 現代文学研究Ⅱ(詩歌) | 2      | 後      | 金      | 5      | 演習               | ×                     | 〃<br>(教科) 対応                    | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
| 漢文学    | 漢文学特論       | 2      | 前      | 火      | 2      | 講義               | ×                     | 教授 増子 和男(漢文学)<br>(教科) 対応        | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 漢文学研究       | 2      | 後      | 火      | 2      | 演習               | ×                     | 〃<br>(教科) 対応                    | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
| 書道     | 書写書道教育研究    | 2      | 前      | 木      | 5      | 講義               | ×                     | 准教授 齋木 久美(書写書道)<br>(教科) 対応      | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
|        | 書写書道教育演習    | 2      | 後      | 木      | 5      | 演習               | ×                     | 〃<br>(教科) 対応                    | (教科) 対応      | (教科) 国語 | (教科) 国語 | (教科) 国語 | 不可 | 不可               |
| 特別課題研究 |             | 4      |        | 通年     |        | 演習               |                       | 指導教員                            |              |         |         |         | 不可 | 不可               |

⑧教科教育専攻 社会科教育専修

| 分野     | 授業科目      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員              | 専修免許区分       |        |        |             |    |              |
|--------|-----------|----|----|----|----|------|-------|-------------------|--------------|--------|--------|-------------|----|--------------|
|        |           |    |    |    |    |      |       |                   | 教科又は教職に関する科目 |        |        |             |    | 特別支援教育に関する科目 |
|        |           |    |    |    |    |      |       |                   | 幼            | 小      | 中      | 高           | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目   | 社会・文化総合研究 | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ×     | 賀来健輔、池谷文夫、大島規江    | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
|        | 社会科授業設計   | 2  | 後  | 火  | 3  | 演習   | ○     | 木村勝彦、村山朝子         | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
| 社会科教育  | 社会科教育特論Ⅰ  | 2  | 前  | 月  | 3  | 講義   | ×     | 教授 木村 勝彦(社会科教育学)  | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
|        | 社会科教育演習Ⅰ  | 2  | 後  | 月  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
|        | 社会科教育特論Ⅱ  | 2  | 前  | 金  | 2  | 講義   | ×     | 教授 村山 朝子(社会科教育学)  | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
|        | 社会科教育演習Ⅱ  | 2  | 後  | 金  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史・公民 | 不可 | 不可           |
| 歴史学    | 日本史特論     | 2  | 前  | 水  | 1  | 講義   | ×     | 特任教授 酒井 紀美(日本中世史) | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 日本史演習     | 2  | 後  | 水  | 1  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 西欧史特論     | 2  | 前  | 火  | 2  | 講義   | ×     | 教授 池谷 文夫(西欧中世史)   | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 西欧史演習     | 2  | 後  | 月  | 5  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
| 地理学    | 人文地理学特論   | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ×     | 教授 小野寺 淳(人文地理学)   | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 人文地理学演習   | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 地誌学特論     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 准教授 大島規江(地誌学)     | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 地誌学演習     | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 自然地理学特論   | 2  | 前  | 休講 |    | 講義   | ×     | 未定                | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
|        | 自然地理学演習   | 2  | 後  | 休講 |    | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)地理歴史    | 不可 | 不可           |
| 政治学    | 政治学特論     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 教授 賀来 健輔(政治学)     | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
|        | 政治学演習     | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
| 経済学    | 経済学特論     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 特任教授 斎藤典生         | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
|        | 経済学演習     | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
| 社会学    | 社会学特論     | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 教授 岩佐 淳一(社会学)     | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
|        | 社会学演習     | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
| 法学     | 憲法特論      | 2  | 前  | 木  | 5  | 講義   | ×     | 准教授 中野 雅紀(憲法学)    | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
|        | 憲法演習      | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
| 哲学     | 倫理学特論     | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ×     | 教授 木村 競(倫理学)      | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
|        | 倫理学演習     | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | 〃                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)社会 | (教科)公民      | 不可 | 不可           |
| 特別課題研究 |           | 4  | 通年 |    | 演習 |      | 指導教員  |                   | 不可           |        |        | 不可          |    |              |

⑨教科教育専攻 数学教育専修

| 分野     | 授業科目      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員                 | 専修免許区分       |        |        |        |    |              |
|--------|-----------|----|----|----|----|------|-------|----------------------|--------------|--------|--------|--------|----|--------------|
|        |           |    |    |    |    |      |       |                      | 教科又は教職に関する科目 |        |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|        |           |    |    |    |    |      |       |                      | 幼            | 小      | 中      | 高      | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目   | 数学総合研究    | 2  | 前  | 金  | 5  | 講義   | ×     | 梅津・根本・曾我・小口・柳田       | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 数学科教育授業設計 | 2  | 後  | 月  | 2  | 講義   | ×     | 根本・曾我・小口・柳田          | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)数学 | (教職)数学 | 不可 | 不可           |
| 数学科教育  | 数学教育学特論Ⅰ  | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 教授 根本 博(数学教育学)       | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)数学 | (教職)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 数学教育学演習Ⅰ  | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | "                    | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)数学 | (教職)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 数学教育学特論Ⅱ  | 2  | 前  | 木  | 5  | 講義   | ×     | 教授 小口 祐一(数学教育学)      | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)数学 | (教職)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 数学教育学演習Ⅱ  | 2  | 後  | 木  | 5  | 演習   | ○     | "                    | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)数学 | (教職)数学 | 不可 | 不可           |
| 代数学    | 代数学特論     | 2  | 前  | 木  | 4  | 講義   | ×     | 特任教授 柳田 伸顕(代数的位相幾何学) | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 代数学演習     | 2  | 後  | 木  | 4  | 演習   | ○     | "                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
| 幾何学    | 幾何学特論Ⅰ    | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 非常勤講師 守屋克洋(微分幾何学)    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 幾何学演習Ⅰ    | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | 未定                   | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
| 解析学    | 解析学特論     | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ×     | 教授 曾我日出夫(微分方程式論)     | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 解析学演習     | 2  | 後  | 金  | 4  | 演習   | ○     | "                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 応用数理学特論   | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ×     | 教授 梅津 健一郎(応用解析学)     | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
|        | 応用数理学演習   | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | "                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)数学 | (教科)数学 | 不可 | 不可           |
| 特別課題研究 | 4         | 通年 |    |    | 演習 |      | 指導教員  | 不可                   |              |        |        |        | 不可 |              |

⑩教科教育専攻 理科教育専修

| 分野     | 授業科目     | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時  | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員   | 専修免許区分       |        |        |        |    |              |
|--------|----------|----|----|----|-----|------|-------|--|--------------|--------|--------|--------|----|--------------|
|        |          |    |    |    |     |      |       |  | 教科又は教職に関する科目 |        |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|        |          |    |    |    |     |      |       |  | 幼            | 小      | 中      | 高      | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目   | 自然科学総合研究 | 2  | 前  | 月  | 4   | 講義   | ×     | 矢島・永尾・松川・小野・薬田・伊藤・上栗・沼澤                              | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 理科授業設計   | 2  | 後  | 火  | 2   | 演習   | ×     | 准教授 大辻 永(理科教育学)<br>教授 山本勝博(理科教育学)<br>准教授 郡司晴元(理科教育学) | 不可           | (教職)対応 | (教職)理科 | (教職)理科 | 不可 | 不可           |
| 理科教育   | 理科教育学特論  | 2  | 後  | 月  | 3   | 講義   | ×     | 山本勝博、大辻 永、郡司晴元                                       | 不可           | (教職)対応 | (教職)理科 | (教職)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 理科教育学演習  | 2  | 前  | 金  | 2   | 演習   | ×     | 准教授 郡司晴元(理科教育学)<br>准教授 大辻 永(理科教育学)<br>教授 山本勝博(理科教育学) | 不可           | (教職)対応 | (教職)理科 | (教職)理科 | 不可 | 不可           |
| 物理学    | 物理学特論    | 2  | 前  | 火  | 3   | 講義   | ×     | 准教授 永尾 敬一(素粒子物理学)                                    | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 物理学特別実験  | 2  | 前  | 火  | 1・2 | 実験   | ×     | 教授 矢島 裕介(物性物理学)                                      | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
| 化学     | 化学特論     | 2  | 前  | 月  | 2   | 講義   | ×     | 准教授 松川 寛(化学)   | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 化学特別実験   | 2  | 後  | 金  | 1・2 | 実験   | ×     | "  | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
| 生物学    | 生物学特論    | 2  | 後  | 木  | 2   | 講義   | ×     | 准教授 薬田幸晴<br>教授 小野 義隆(菌学・植物病理学)                       | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 生物学特別実験  | 2  | 前  | 木  | 1・2 | 実験   | ×     | 教授 小野 義隆(菌学・植物病理学)<br>准教授 薬田幸晴                       | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
| 地学     | 地学特論     | 2  | 前  | 金  | 3   | 講義   | ×     | 教授 伊藤 孝(岩石鉱物学)<br>准教授 上栗伸一(地質学)                      | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 地学特別実験   | 2  | 後  | 金  | 4・5 | 実験   | ×     | 教授 伊藤 孝(岩石鉱物学)<br>准教授 上栗伸一(地質学)                      | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
| 科学論    | 地域自然環境特論 | 2  | 前  | 金  | 4   | 講義   | ×     | 特任教授 沼澤篤(水環境学)                                       | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
|        | 地域自然環境演習 | 2  | 後  | 月  | 4   | 演習   | ×     | 特任教授 沼澤篤(水環境学)                                       | 不可           | (教科)対応 | (教科)理科 | (教科)理科 | 不可 | 不可           |
| 特別課題研究 | 4        | 通年 |    |    | 演習  |      | 指導教員  | 不可   |              |        |        |        | 不可 |              |

⑪教科教育専攻 音楽教育専修

| 分野    | 授業科目     | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員              | 専修免許区分       |        |        |        |    |              |
|-------|----------|----|----|----|----|------|-------|-------------------|--------------|--------|--------|--------|----|--------------|
|       |          |    |    |    |    |      |       |                   | 教科又は教職に関する科目 |        |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|       |          |    |    |    |    |      |       |                   | 幼            | 小      | 中      | 高      | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目  | 音楽文化総合研究 | 2  | 前  | 水  | 3  | 講義   | ×     | 教授 佐藤 篤(器楽)       | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 音楽教育授業設計 | 2  | 後  | 水  | 3  | 講義   | ×     | 教授 田中 健次(音楽科教育学)  | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)音楽 | (教職)音楽 | 不可 | 不可           |
| 音楽科教育 | 音楽科教育研究法 | 2  | 前  | 月  | 3  | 講義   | ○     | 教授 田中 健次(音楽科教育学)  | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)音楽 | (教職)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 音楽科教育特論Ⅰ | 2  | 後  | 月  | 4  | 講義   | ○     | 〃                 | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)音楽 | (教職)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 音楽科教育演習  | 2  | 前  | 金  | 4  | 演習   | ○     | 准教授 藤田 文子(音楽科教育学) | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)音楽 | (教職)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 音楽科教育特論Ⅱ | 2  | 後  | 木  | 5  | 講義   | ○     | 〃                 | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)音楽 | (教職)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 器楽研究Ⅰ    | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ○     | 教授 佐藤 篤(器楽)       | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
| 器楽    | 器楽演習Ⅰ    | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | 〃                 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 器楽研究Ⅱ    | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ○     | 特任教授 守山 光三(器楽)    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 器楽演習Ⅱ    | 2  | 後  | 火  | 5  | 演習   | ○     | 〃                 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 声乐研究     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 准教授 谷川 佳幸(声乐)     | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
| 音楽学   | 声乐演習     | 2  | 後  | 木  | 1  | 演習   | ○     | 〃                 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 作曲・指揮法研究 | 2  | 前  | 水  | 2  | 講義   | ○     | 准教授 山口 哲人(作曲・指揮)  | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
| 音楽学   | 作曲・指揮法演習 | 2  | 後  | 水  | 2  | 演習   | ○     | 〃                 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 音楽学研究    | 2  | 前  | 金  | 2  | 講義   | ○     | 教授 神部 智(音楽学)      | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
| 音楽学   | 音楽学演習    | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | 〃                 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)音楽 | (教科)音楽 | 不可 | 不可           |
|       | 特別課題研究   | 4  | 通年 |    | 演習 |      |       | 指導教員              |              |        | 不可     |        | 不可 |              |

⑫教科教育専攻 美術教育専修

| 分野       | 授業科目      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加            | 担当教員                      | 専修免許区分       |        |           |           |    |              |
|----------|-----------|----|----|----|----|------|------------------|---------------------------|--------------|--------|-----------|-----------|----|--------------|
|          |           |    |    |    |    |      |                  |                           | 教科又は教職に関する科目 |        |           |           |    | 特別支援教育に関する科目 |
|          |           |    |    |    |    |      |                  |                           | 幼            | 小      | 中         | 高         | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目     | 美術文化総合研究  | 2  | 前  | 金  | 1  | 講義   | ×                | 甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田・寺本 | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 美術教育授業設計  | 2  | 後  | 金  | 1  | 演習   | ×                | 甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田・寺本 | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)美術    | (教職)美術    | 不可 | 不可           |
| 美術教育     | 美術教育研究Ⅰ   | 2  | 前  | 火  | 2  | 講義   | ○                | 教授 金子 一夫(美術教育史)           | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)美術    | (教職)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 美術教育演習Ⅰ   | 2  | 後  | 火  | 2  | 演習   | ○                | 〃                         | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)美術    | (教職)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 美術教育研究Ⅱ   | 2  | 前  | 月  | 2  | 講義   | ○                | 准教授 向野 康江(美術教育思想史)        | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)美術    | (教職)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 美術教育演習Ⅱ   | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○                | 〃                         | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)美術    | (教職)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 絵画研究      | 2  | 前  | 金  | 4  | 演習   | ○                | 准教授 片口 直樹(絵画)             | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
| 絵画       | 絵画演習      | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○                | 〃                         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 彫刻研究      | 2  | 前  | 木  | 4  | 演習   | ○                | 准教授 島 剛(彫刻)               | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
| 彫刻       | 彫刻演習      | 2  | 後  | 金  | 5  | 演習   | ○                | 〃                         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | デザイン研究Ⅰ   | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ○                | 教授 島田 裕之(平面デザイン)          | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術・工業 | 不可 | 不可           |
| デザイン     | デザイン演習Ⅰ   | 2  | 後  | 金  | 3  | 演習   | ○                | 〃                         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術・工業 | 不可 | 不可           |
|          | デザイン研究Ⅱ   | 2  | 通年 | 集中 | 講義 | ○    | 教授 齋藤 芳徳(立体デザイン) | (教科)対応                    | (教科)対応       | (教科)美術 | (教科)美術・工業 | 不可        | 不可 |              |
|          | デザイン演習Ⅱ   | 2  | 通年 | 集中 | 演習 | ○    | 〃                | (教科)対応                    | (教科)対応       | (教科)美術 | (教科)美術・工業 | 不可        | 不可 |              |
| 工業       | 木材工芸研究    | 2  | 前  | 木  | 5  | 演習   | ○                | 教授 寺本 輝正(木材工芸)            | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術・工業 | 不可 | 不可           |
|          | 木材工芸演習    | 2  | 後  | 木  | 5  | 演習   | ○                | 〃                         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術・工業 | 不可 | 不可           |
|          | 工芸・デザイン研究 | 2  | 前  | 水  | 3  | 演習   | ○                | 寺本 輝正・島田 裕之               | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)工芸    | 不可 | 不可           |
|          | 工芸・デザイン演習 | 2  | 後  | 水  | 3  | 演習   | ○                | 寺本 輝正・島田 裕之・齋藤芳徳          | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)工芸    | 不可 | 不可           |
| 美術理論・美術史 | 西洋美術史研究   | 2  | 前  | 火  | 3  | 演習   | ○                | 教授 甲斐 敦行(美術理論・美術史)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 日本美術史研究   | 2  | 前  | 水  | 2  | 講義   | ○                | 教授 小泉 晋弥(美術理論・美術史)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 日本美術史演習   | 2  | 後  | 水  | 2  | 演習   | ○                | 〃                         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
|          | 造形芸術学     | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○                | 教授 甲斐 敦行(美術理論・美術史)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)美術    | (教科)美術    | 不可 | 不可           |
| 特別課題研究   | 4         | 通年 |    | 演習 |    |      | 指導教員             |                           |              | 不可     |           | 不可        |    |              |

⑬教科教育専攻 保健体育専修

| 分野      | 授業科目              | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員                 | 専修免許区分       |        |          |          |              |      |
|---------|-------------------|----|----|----|----|------|-------|----------------------|--------------|--------|----------|----------|--------------|------|
|         |                   |    |    |    |    |      |       |                      | 教科又は教職に関する科目 |        |          |          | 特別支援教育に関する科目 |      |
|         |                   |    |    |    |    |      |       |                      | 幼            | 小      | 中        | 高        | 養教           | 特別支援 |
| 共通科目    | 体育科学総合研究          | 2  | 後  | 火  | 5  | 講義   | ×     | 保健体育専修全教員            | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 保健体育授業設計          | 2  | 前  | 火  | 5  | 演習   | ×     | 〃                    | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)保健体育 | (教職)保健体育 | 不可           | 不可   |
| 保健体育科教育 | 体育教育特論            | 2  | 前  | 金  | 5  | 講義   | ×     | 准教授 吉野 聡(保健体育科教育学)   | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)保健体育 | (教職)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 体育教育演習            | 2  | 後  | 金  | 5  | 演習   | ○     | 〃                    | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)保健体育 | (教職)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 保健体育授業特論          | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 特任教授 岡本 研二(保健体育科教育学) | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)保健体育 | (教職)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 保健体育授業論演習         | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | 〃                    | (教職)対応       | (教職)対応 | (教職)保健体育 | (教職)保健体育 | 不可           | 不可   |
| 体育学     | 体育社会学特論           | 2  | 前  | 月  | 5  | 講義   | ×     | 教授 日下 裕弘(体育学)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 体育社会学演習           | 2  | 後  | 月  | 5  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | スポーツ指導論特論         | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ×     | 教授 勝本 真(体育学)         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | スポーツ指導論演習         | 2  | 後  | 金  | 3  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
| 運動学     | 運動生理学特論           | 2  | 前  | 火  | 3  | 講義   | ×     | 教授 尾形 敬史(運動学)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 運動生理学演習           | 2  | 後  | 火  | 3  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 運動方法学特論           | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ×     | 教授 巽 申直(運動学)         | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 運動方法学演習           | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | バイオメカニクス特論        | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 教授 高程 泰一(運動学)        | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | バイオメカニクス演習        | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 形態学特論             | 2  | 前  | 金  | 4  | 講義   | ×     | 准教授 渡邊 将司(運動学)       | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 形態学演習             | 2  | 後  | 金  | 4  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
| 学校保健    | 学校保健特論 I (学校保健総論) | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ×     | 准教授 上地 勝(学校保健)       | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
|         | 学校保健管理演習          | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | 〃                    | (教科)対応       | (教科)対応 | (教科)保健体育 | (教科)保健体育 | 不可           | 不可   |
| 特別課題研究  | 4                 | 通年 |    | 演習 |    |      | 指導教員  | 不可                   |              |        |          | 不可       |              |      |

⑭教科教育専攻 技術教育専修

| 分野    | 授業科目      | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員                 | 専修免許区分       |    |        |        |    |              |
|-------|-----------|----|----|----|----|------|-------|----------------------|--------------|----|--------|--------|----|--------------|
|       |           |    |    |    |    |      |       |                      | 教科又は教職に関する科目 |    |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|       |           |    |    |    |    |      |       |                      | 幼            | 小  | 中      | 高      | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目  | 技術と生活総合研究 | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 野崎・稲葉・安田・佐々木・工藤・榊・臼坂 | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 技術科授業設計   | 2  | 後  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 野崎・稲葉・安田・佐々木・工藤・榊・臼坂 | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 技術科教育 | 技術科教育特論 I | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 教授 工藤雄司(技術科教育法)      | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 技術科教育演習 I | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 電気    | 電気工学特論 I  | 2  | 前  | 木  | 1  | 講義   | ×     | 教授 榊 守(電気工学)         | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 電気工学演習 I  | 2  | 後  | 木  | 1  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 電気工学特論 II | 2  | 前  | 火  | 2  | 講義   | ×     | 教授 佐々木 忠之(電気工学)      | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 電気工学演習 II | 2  | 後  | 金  | 2  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 機械    | 機械工学特論    | 2  | 前  | 火  | 3  | 講義   | ×     | 特任教授 安田 健一(機械工学)     | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 機械工学演習    | 2  | 後  | 金  | 4  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 金属    | 金属工学特論    | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ×     | 教授 野崎 英明(金属工学)       | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 金属工学演習    | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 木材加工  | 木材加工学特論   | 2  | 前  | 木  | 4  | 講義   | ×     | 講師 臼坂 高司(木材加工)       | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 木材加工学演習   | 2  | 後  | 木  | 4  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
| 栽培    | 栽培学特論     | 2  | 前  | 火  | 5  | 講義   | ×     | 特任教授 稲葉 健五(栽培学)      | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 栽培学演習     | 2  | 後  | 火  | 5  | 演習   | ○     | "                    | 不可           | 不可 | (教科)技術 | (教科)工業 | 不可 | 不可           |
|       | 特別課題研究    | 4  | 通年 |    |    | 演習   |       | 指導教員                 | 不可           |    |        |        |    |              |

⑮教科教育専攻 家政教育専修

| 分野    | 授業科目       | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員              | 専修免許区分       |        |        |        |    |              |
|-------|------------|----|----|----|----|------|-------|-------------------|--------------|--------|--------|--------|----|--------------|
|       |            |    |    |    |    |      |       |                   | 教科又は教職に関する科目 |        |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|       |            |    |    |    |    |      |       |                   | 幼            | 小      | 中      | 高      | 養教 | 特別支援         |
| 共通科目  | 生活科学総合研究   | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 木村美智子・乾康代・野中美津江   | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 家庭科授業設計    | 2  | 後  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 西川陽子・佐藤裕紀子・数井みゆき  | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 家庭科教育 | 家庭科教育特論 I  | 2  | 前  | 金  | 4  | 講義   | ○     | 准教授 野中美津江(家庭科教育学) | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 家庭科教育特論 II | 2  | 休講 |    |    | 講義   | ○     |                   | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 家庭科教育演習 I  | 2  | 後  | 金  | 4  | 演習   | ○     | 准教授 野中美津江(家庭科教育学) | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 家庭科教育演習 II | 2  | 休講 |    |    | 演習   | ○     |                   | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 食物学   | 食物学特論      | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 准教授 西川 陽子(食物学)    | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 食物学演習      | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 被服学   | 被服学特論      | 2  | 前  | 月  | 4  | 講義   | ○     | 教授 木村 美智子(被服学)    | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 被服学演習      | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 住居学   | 住居学特論      | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ○     | 教授 乾 康代(住居学)      | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 住居学演習      | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 保育学   | 児童学特論      | 2  | 前  | 月  | 3  | 講義   | ○     | 教授 数井 みゆき(保育学)    | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 児童学演習      | 2  | 後  | 月  | 3  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
| 家庭経営学 | 家族関係学特論    | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ○     | 准教授 佐藤 裕紀子(家庭経営学) | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 家族関係学演習    | 2  | 後  | 金  | 3  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | (教科)対応 | (教科)家庭 | (教科)家庭 | 不可 | 不可           |
|       | 特別課題研究     | 4  | 通年 |    |    | 演習   |       | 指導教員              | 不可           |        |        |        |    |              |



⑩教科教育専攻 英語教育専修

| 分野     | 授業科目              | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員              | 専修免許区分       |    |        |        |    |              |
|--------|-------------------|----|----|----|----|------|-------|-------------------|--------------|----|--------|--------|----|--------------|
|        |                   |    |    |    |    |      |       |                   | 教科又は教職に関する科目 |    |        |        |    | 特別支援教育に関する科目 |
|        |                   |    |    |    |    |      |       |                   | 幼            | 小  | 中      | 高      | 養教 |              |
| 共通科目   | 言語と文化総合研究         | 2  | 後  | 火  | 3  | 講義   | ×     | 英語教育専修全教員         | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英語科授業設計           | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ×     | "                 | 不可           | 不可 | (教職)英語 | (教職)英語 | 不可 | 不可           |
| 英語科教育  | 英語教育学特論Ⅰ(英語教授法研究) | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ○     | 教授 猪井 新一(英語教育学)   | 不可           | 不可 | (教職)英語 | (教職)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英語教育学演習Ⅰ          | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | 不可 | (教職)英語 | (教職)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英語教育学特論Ⅱ(評価論概要)   | 2  | 前  | 金  | 3  | 講義   | ×     | 准教授 齋藤 英敏(英語教育学)  | 不可           | 不可 | (教職)英語 | (教職)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英語教育学演習Ⅱ          | 2  | 後  | 水  | 2  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | 不可 | (教職)英語 | (教職)英語 | 不可 | 不可           |
| 英語学    | 英語学特論Ⅰ(生成文法理論研究)  | 2  | 前  | 火  | 2  | 講義   | ×     | 教授 益木 崇康(英語学)     | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英語学演習Ⅰ            | 2  | 後  | 金  | 2  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
| 英米文学   | 英米文学特論Ⅰ(アメリカ研究)   | 2  | 前  | 月  | 3  | 講義   | ○     | 教授 君塚 淳一(アメリカ文学)  | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英米文学演習Ⅰ           | 2  | 後  | 月  | 4  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英米文学特論Ⅱ(近代英米文学研究) | 2  | 前  | 金  | 4  | 講義   | ○     | 准教授 小林 英美(イギリス文学) | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
|        | 英米文学演習Ⅱ           | 2  | 後  | 金  | 3  | 演習   | ○     | "                 | 不可           | 不可 | (教科)英語 | (教科)英語 | 不可 | 不可           |
| 特別課題研究 | 4                 | 通年 |    |    | 演習 |      |       | 指導教員              | 不可           |    |        |        |    | 不可           |

⑪養護教育専攻 養護教育専修

| 分野       | 授業科目          | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時 | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員                  | 専修免許区分       |        |        |        |        |              |
|----------|---------------|----|----|----|----|------|-------|-----------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
|          |               |    |    |    |    |      |       |                       | 教科又は教職に関する科目 |        |        |        |        | 特別支援教育に関する科目 |
|          |               |    |    |    |    |      |       |                       | 幼            | 小      | 中      | 高      | 養教     |              |
| 養護学      | 養護学総合研究       | 2  | 前  | 火  | 1  | 講義   | ×     | 竹下・瀧澤・斉藤・石原・松坂・宮川・廣原  | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 養護教諭論特論       | 2  | 前  | 木  | 3  | 講義   | ×     | 准教授 斉藤 ふくみ(養護学)       | 不可           | 不可     | 不可     | 不可     | (養護)対応 | 不可           |
|          | 養護教諭論演習       | 2  | 後  | 木  | 3  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | 不可     | 不可     | (養護)対応 | 不可           |
|          | 教育保健経営特論      | 2  | 前  | 金  | 4  | 講義   | ×     | 教授 瀧澤 利行(公衆衛生学)       | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 教育保健経営演習      | 2  | 後  | 金  | 2  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
| 教育保健活動   | 学校救急看護学特論     | 2  | 前  | 木  | 2  | 講義   | ×     | 准教授 廣原 紀恵(看護学)        | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 学校救急看護学演習     | 2  | 後  | 木  | 2  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 学校安全特論        | 2  | 前  | 木  | 1  | 講義   | ×     | 准教授 石原 研治(学校保健)       | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 学校安全演習        | 2  | 後  | 木  | 1  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | ヘルスプロモーション論特論 | 2  | 前  | 金  | 1  | 講義   | ×     | 准教授 青柳直子(学校保健)        | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | ヘルスプロモーション論演習 | 2  | 後  | 金  | 1  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 教育保健医学特論      | 2  | 休講 |    |    | 講義   | ×     |                       | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
| 教育保健医学演習 | 2             | 休講 |    |    | 演習 | ○    |       | 不可                    | 不可           | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可     |              |
| 教育生理学    | 健康生理学特論       | 2  | 前  | 月  | 2  | 講義   | ×     | 教授 松坂 晃(運動生理学)        | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 健康生理学演習       | 2  | 後  | 月  | 3  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 学校疾病論特論       | 2  | 前  | 火  | 4  | 講義   | ×     | 教授 宮川 八平(医学一般・消化器内科学) | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
|          | 学校疾病論演習       | 2  | 後  | 火  | 4  | 演習   | ○     | "                     | 不可           | 不可     | (教科)保健 | (教科)保健 | (養護)対応 | 不可           |
| 特別課題研究   | 4             | 通年 |    |    | 演習 |      |       | 指導教員                  | 不可           |        |        |        |        | 不可           |

⑩学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

| 分野      | 授業科目         | 単位 | 区分 | 曜日 | 講時  | 授業形態 | 単位の累加 | 担当教員                    | 専修免許区分        |   |   |   |    |              |
|---------|--------------|----|----|----|-----|------|-------|-------------------------|---------------|---|---|---|----|--------------|
|         |              |    |    |    |     |      |       |                         | 教科又は教職に関する科目  |   |   |   |    | 特別支援教育に関する科目 |
|         |              |    |    |    |     |      |       |                         | 幼             | 小 | 中 | 高 | 養教 | 特別支援         |
| 学校臨床基礎  | 臨床心理学特論Ⅰ*    | 2  | 前  | 火  | 2・3 | 講義   | ×     | 教授 守屋 英子(臨床心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理学特論Ⅱ*    | 2  | 前  | 火  | 6   | 講義   | ×     | 教授 岸 良範(臨床心理学)          | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 心理療法特論 *     | 2  | 前  | 火  | 1   | 講義   | ×     | 教授 守屋 英子(臨床心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | カウンセリング特論 *  | 2  | 後  | 木  | 1・2 | 講義   | ×     | 教授 岸 良範(臨床心理学)          | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理査定演習Ⅰ*   | 2  | 前  | 火  | 2・3 | 演習   | ×     | 守屋 英子・金丸 隆太             | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理査定演習Ⅱ*   | 2  | 後  | 木  | 1・2 | 演習   | ×     | 岸 良範・金丸 隆太              | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理基礎実習Ⅰ*   | 1  | 前  | 木  | 4・5 | 実習   | ×     | 正保 春彦・守屋 英子             | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理基礎実習Ⅱ*   | 1  | 後  | 木  | 4・5 | 実習   | ×     | 〃                       | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 学校心理学研究法特論   | 2  | 後  | 月  | 5   | 講義   | ○     | 准教授 丸山 広人(臨床心理学)        | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理学研究法演習   | 2  | 後  | 火  | 1   | 演習   | ○     | 准教授 金丸 隆太(臨床心理学)        | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 家族心理学特論      | 2  |    |    | 休講  | 講義   | ○     | 教授 三輪 壽二(臨床心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 人格心理学特論      | 2  | 前  | 月  | 5   | 講義   | ×     | 〃                       | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 障害児臨床心理学特論   | 2  | 後  | 木  | 3   | 講義   | ○     | 非常勤講師 細川美由紀(臨床心理学)      | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 思春期臨床心理学特論   | 2  |    |    | 業中  | 講義   | ○     | 准教授 金丸 隆太(臨床心理学)        | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理学講義演習    | 2  | 前  | 木  | 2   | 講義   | ○     | 〃                       | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 精神医学特論       | 2  |    |    | 休講  | 講義   | ×     | 准教授 布施泰子(精神医学)          | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
| 精神薬理学特論 | 2            | 後  | 火  | 2  | 講義  | ×    | 〃     | (教職)全専修免許状に対応           |               |   |   |   | 不可 |              |
| 学校臨床実践  | 発達臨床心理学特論    | 2  |    |    | 休講  | 講義   | ○     | 教授 村野井 均(発達心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 学校教育心理学特論    | 2  | 前  | 木  | 4   | 講義   | ×     | 教授 渡部 玲二郎(発達心理学)        | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理行政特論     | 2  | 後  | 火  | 3   | 講義   | ○     | 教授 岸 良範(臨床心理学)          | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | グループアプローチ特論* | 2  |    |    | 業中  | 講義   | ○     | 教授 正保 春彦(臨床心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 児童・生徒指導特論    | 2  | 前  | 木  | 3   | 講義   | ○     | 教授 生越 達(教育方法)           | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理実習Ⅰ*     | 1  | 前  | 火  | 4・5 | 実習   | ×     | 岸 良範・金丸 隆太・永原 伸彦・早川 けい子 | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 臨床心理実習Ⅱ*     | 1  | 後  | 火  | 4・5 | 実習   | ×     | 〃                       | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 投映法特論 *      | 2  |    |    | 業中  | 講義   | ○     | 非常勤講師 黒田 浩司(臨床心理学)      | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 箱庭療法特論*      | 2  |    |    | 業中  | 講義   | ×     | 教授 守屋 英子(臨床心理学)         | (教職)全専修免許状に対応 |   |   |   |    | 不可           |
|         | 特別課題研究       | 4  |    |    | 通年  | 演習   |       | 指導教員                    | 不可            |   |   |   |    | 不可           |

## 5 特別支援教育特別専攻科の教育内容と方法

以下は特別支援教育特別専攻科「履修要項」から引用した。

### 5-1 特別支援教育特別専攻科の概要

#### 5-1-1 コース編成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援学校教諭一種免許状取得コース及び特別支援学校教諭専修免許状取得コースからなる。

#### 5-1-2 修了年限及び修了資格

修了年限は1年で、各コースの授業科目を履修基準に従って計 **34** 単位以上修得することによって修了資格を得る。

#### 5-1-3 修了資格

##### (1) 修了の要件

修了に必要な修得単位数等が定められているので、履修基準にしたがって単位を修得することで修了の要件を満たすことができる。特に、必修単位および教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、修了することができないので、細心の注意を払って履修計画を立てること。

##### (2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習等）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告（レポート）、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、修了研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

##### (3) 学位・教員免許状

修了に必要な授業科目等を履修し、修了に必要な単位を修得した者は、教育会議において修了が認定され、修了証書が授与される。また、特別支援学校教諭免許状は修了時に授与される。

教員免許状の取得に必要な要件については、「3. 特別支援学校教諭免許状の取得」を参照すること。

### 5-2 履修の方法

## 5-2-1 履修基準

## (1) 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（一種免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

## (2) 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（専修免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

## 5-2-2 単位制度

## a. 1 単位の時間数

各授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって 1 単位と定められている。授業は、講義・演習（1 時間の授業につき、2 時間の予習又は復習を必要とするもの）と実習等（2 時間の授業につき、1 時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

1 単位の時間数と学期の単位設定

| 授業の種類 | 1 単位時間数の内訳  |                 | 週 1 講時 | 週 2 講時 |
|-------|-------------|-----------------|--------|--------|
|       | 大学等での<br>学習 | 自宅学習<br>(予習・復習) |        |        |
| 講義・演習 | 1 5 時間      | 3 0 時間          | 2 単位   | 4 単位   |
| 実習等   | 3 0 時間      | 1 5 時間          | 1 単位   | 2 単位   |

なお、修了研究等の授業科目については、時間数ではなく学修の成果を評価して単位を授与することになっている。

## b. 学期と時間割

茨城大学では、4 月～9 月までを前学期、1 0 月～3 月までを後学期としている。各学期毎にどの曜日も 1 5 回（週に 1 回の場合）の授業を実施できるように学年暦が定められている。学年暦には、このほかに定期試験と補講の期間や休業期間も定められている。

1 日の授業時間は、5 つの時間帯に分けられ、それぞれ 1 講時～5 講時と呼ばれる。

1 つの講時は単位計算上 2 時間と換算されるが、実際の時間は 9 0 分である（小・中・高等学校の 1 時間が 4 5 分であるのと同様）。

## c. 集中授業

学期中の平日に限らず、土・日・祭日や休業期間中を含めて、集中的に授業を行うものを集中授業と呼ぶ。校外での実習や本学には不在の特定分野の専門家を招いて授業を行う場合などに行われる。具体的な実施時期などは、各授業毎に掲示されるので、その都度担当係（教

育学部学務係)に「履修科目申告票」を提出すること。

### 5-2-3 評価基準

当該科目の修得内容から、下表の「評点の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA<sup>+</sup>、A、B、C、Dの評語をもって表す。評価は、C以上が合格で単位が与えられ、Dは不合格で単位は認められない。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない者には、単位を与えない。

評価の基準

| 評価区分           | 評点             | 評価の内容                          |
|----------------|----------------|--------------------------------|
| A <sup>+</sup> | 90点以上<br>100点  | 到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学業成績を上げている。 |
| A              | 80点以上<br>90点未満 | 到達目標を達成し、優れた学業成績を上げている。        |
| B              | 70点以上<br>80点未満 | 到達目標と学業成果を概ね達成している。            |
| C              | 60点以上<br>70点未満 | 合格と認められる最低限の到達目標に届いている。        |
| D              | 60点未満          | 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。         |

#### 注意事項

- ① [教務情報ポータルシステム]により登録されていない授業科目の単位は認められない。
- ② 単位の累加が認められていない授業科目を複数年度にわたって2回以上履修しても、その単位は認められない。
- ③ 成績には、「A<sup>+</sup>」、「A」、「B」、「C」、「D」の評価のほか、「欠試」（所定の試験等を受けなかった場合）が記録される。
- ④ 一度、記録された成績は、原則として変更されない。取得した「**成績**」に記載された評価の内容などに疑問のある場合は、すみやかに教育学部学務第二係あるいは当該授業の担当教員に申し出ること。
- ⑤ 「D」、「欠試」となった授業科目は、再び履修を申告できる。ただし、一度、単位を修得した科目はその成績いかんにかかわらず、再履修することはできない（単位の累加が「可」になっている科目を除く）。
- ⑥ 専修免コース学生は、特別支援学校一種免許状の領域追加に必要な授業に限り、一種コースの授業を履修してもよい。

#### 5-2-4 試験

前述したとおり、授業の出席時数とその授業の総授業時間数の3分の2に達しない場合は、たとえ試験を受けたとしても、単位は認定されない。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

##### a. 定期試験

定期試験は、7月下旬～8月上旬及び1月下旬～2月上旬に行われる（学年暦参照）。定期試験の時間割は、原則的には授業時間割と同一であるが、諸事情により変更されることがある。詳しい時間割は定期試験開始の一週間前に掲示されるので注意すること。

##### b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

#### 5-2-5 修了研究

修了研究とは、各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

11月に指導教員を定め教室主任の承認を得て、「修了研究題目申告票」を学務係に提出しなければならない。

研究の成果は、論文等によって示され、1月31日（提出期限が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする）までに下記に示す要領で提出しなければならない。論文等は、「修了研究審査票」を添付し、学務係に提出する。

#### 5-2-6 教育実習

特別支援学校教諭免許状を取得するためには、教育実習を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、本学部附属特別支援学校で一定期間行われる（原則として2週間）。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

詳細は、「6. 教育実習」を参照すること。

### 5-3 特別支援学校教諭免許状の取得

#### 5-3-1 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭

の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

| 特別支援教育に関する科目                      |  | 最低修得単位 |    |    |   |
|-----------------------------------|--|--------|----|----|---|
|                                   |  | 一種     |    | 二種 |   |
| 特別支援教育の基礎理論に関する科目                 |  | 2      |    | 2  |   |
| 特別支援教育領域に関する科目                    | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目                                      | 1      | 16 | 1  | 8 |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目                                      | 2      |    | 1  |   |
| 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目<br>心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 5      |    | 3  |   |
| 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習        |  | 3      |    | 3  |   |
| 合計修得単位                            |  | 26     |    | 16 |   |

[備考] 特別専攻科で取得できる特別支援学校教諭免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、基礎理論に関する科目（①）、特別支援教育領域に関する科目（②、③）、特別支援教育領域外に関する科目（④）、特別支援学校での教育実習（⑤）について、それぞれ所定の単位を修得しなければならない（「5. 授業科目時間割 一種免コース」の特支免許区分の丸番号を参照のこと）。

注意しなければならないのは特別支援教育領域と領域外との区別である。特別支援学校教諭免許状には、知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害の計5領域があるが、茨城大学特別支援教育特別専攻科で取得できるのは、知的障害・肢体不自由・病弱の3領域のみである。この3領域の科目から計16単位修得する必要がある。カリキュラム構造上特別専攻科の学生が取得する特別支援学校教諭一種免許状は、以下の3つのパターンである。

パターン1：知的障害領域(12)・肢体不自由領域(4)

パターン2：知的障害領域(12)・病弱領域(4)

パターン3：知的障害領域(16)

注) ( )内の数字は免許法上で取得に必要な最低単位数を示す

このパターンのうち、肢体不自由領域と病弱領域はそれぞれ隔年開講の科目となるので、肢体不自由領域の科目が開講される偶数年度ではパターン1かパターン3から、病弱領域が開講される奇数年度ではパターン2かパターン3で免許を取得することとなる。

では、領域外の科目とは何か？

領域外とは、前述の 5 領域の中で取得しなかった免許状の領域のことを指す。以下に、パターンごとに領域外のものを示す。

- パターン 1：病弱・視覚障害・聴覚障害領域
- パターン 2：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害領域
- パターン 3：視覚障害・聴覚障害・病弱・肢体不自由領域

それぞれのパターンで領域外の科目は異なることから、履修の仕方も非常に複雑になる。そこで、特別支援教育領域外に関する科目（特 4）の中には、「含む領域」として全 5 領域を設定している授業科目があるので、この中から最低 2 単位選択履修すること。そうすることで、上記の 3 パターンのうち、履修年度に開講されている科目がいずれのパターンについても領域外の科目はカバーできる。

さらに、領域外の科目には免許の領域に含まれない「重複・LD 等の領域」があり、必ず修得しなければならない。したがって、「中心となる領域」で「重複・LD 等領域」と書かれている必修科目は全て履修すること。

5-3-2 特別支援学校教諭専修免許状

特別支援学校教諭専修免許状を取得するには、特別支援学校教諭一種免許状を有し、次の表の中から 24 単位以上を修得しなければならない。

| 授 業 科 目                         | 単 位 |
|---------------------------------|-----|
| 障 害 学 総 合 研 究                   | 2   |
| 障 害 児 教 育 学 特 論 □ ・ □           | 各 2 |
| 障 害 児 教 育 学 演 習 □ ・ □           | 各 2 |
| 障 害 児 心 理 学 特 論 □ ・ □           | 各 2 |
| 障 害 児 心 理 学 演 習 □ ・ □           | 各 2 |
| 障 害 児 生 理 学 特 論 □ ・ □           | 各 2 |
| 障 害 児 生 理 学 演 習 □ ・ □           | 各 2 |
| 特 別 支 援 教 育 コ ー デ ィ ン ー タ ー 特 論 | 2   |
| 言 語 障 害 教 育 特 論                 | 2   |
| 情 緒 障 害 教 育 特 論                 | 2   |
| 障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 □           | 2   |
| 障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 □           | 2   |
| 障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 □           | 2   |
| 障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 □           | 2   |
| 障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 □           | 2   |
| 障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 □           | 2   |



平成 25 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

5-4 授業科目の概要

5-4-1 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

| 区 分                               | 授業科目                              | 担当教員                | 単位          | 時間数 | 講 時 | 必 修 | 特許免許区分 | 形態                         | 備 考                        |                  |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|-------------|-----|-----|-----|--------|----------------------------|----------------------------|------------------|
| 特別支援教育の基礎理論に関する科目                 | 特別支援教育原論                          | 荒川 智                | 2           | 前・2 | 火・4 | 必   | ①      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 障害児教育演習Ⅰ                          | 荒川 智                | 2           | 後・2 | 火・1 |     | ①      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 障害児教育演習Ⅱ                          | 新井 美晴               | 2           | 後・2 | 月・3 |     | ①      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 特別支援教育基礎演習                        | 尾崎 久記               | 2           | 前・2 | 月・4 |     | ①      | 演習                         |                            |                  |
| 特別支援教育領域に関する科目                    | 障害者福祉論                            | 米田 宏樹               | 2           | 後期  | 集中  |     | ①      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 知的障害児の心理                          | 前川 久男               | 2           | 前・2 | 火・5 | 必   | ②      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 知的障害児の生涯                          | 藤二 博亮               | 2           | 後・2 | 月・4 | 必   | ②      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 知的障害児の病理                          | 尾崎 久記               | 2           | 前・2 | 月・5 | 必   | ②      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 障害児心理演習Ⅰ                          | 前川 久男               | 2           | 後・2 | 火・4 |     | ②      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 障害児心理演習Ⅱ                          | 東條 富邦               | 2           | 後・2 | 火・3 |     | ②      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 障害児生涯演習Ⅰ                          | 尾崎 久記               | 2           | 後・2 | 火・1 |     | ②      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 障害児生涯演習Ⅱ                          | 藤二 博亮               | 2           | 後・2 | 月・2 |     | ②      | 演習                         |                            |                  |
|                                   | 肢体不自由児の生涯                         | 岡澤 慎一               | 2           | 後期  | 集中  |     | ②      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 病弱児の生涯                            | 藤二 博亮               | 2           | 前・2 | 金・4 |     | ②      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 知的障害児の教育方法                        | 新井 美晴               | 2           | 前・2 | 金・1 | 必   | ③      | 講義                         | 知的障害児教育実践論(金2)と併せて履修すること。  |                  |
|                                   | 知的障害児教育実践論                        | 白土久江・島田肇典和<br>米川三三江 | 2           | 前・2 | 金・2 | 必   | ③      | 講義                         | 知的障害児の教育方法(金1)と併せて履修すること。  |                  |
|                                   | 知的障害児指導法演習                        | 新井 美晴・他             | 2           | 後・2 | 水・2 |     | ③      | 演習                         | 肢体不自由児の教育方法(水1)と併せて履修すること。 |                  |
|                                   | 知的障害児心理診断法                        | 前川 久男               | 2           | 前期  | 集中  |     | ③      | 講義                         |                            |                  |
| 肢体不自由児の教育方法                       | 新井 美晴                             | 2                   | 後・2         | 水・1 |     | ③   | 講義     | 知的障害児指導法演習(水・2)と併せて履修すること。 |                            |                  |
| 病弱児の教育方法                          | 新井 美晴                             | 2                   | 前・2         | 月・3 |     | ③   | 講義     |                            |                            |                  |
| 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 聴 覚 音 語 病 理         | 2           | 休講  |     |     | ④      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 感 覚 障 害 児 の 教 育     | 2           | 前期  | 集中  |     | ④      | 講義                         |                            |                  |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 重症重複障害児教育論          | 林 恵子        | 2   | 前期  | 集中  | 必      | ④                          | 講義                         | 重複               |
|                                   |                                   | 発達障害児教育概論           | 東條 富邦       | 2   | 前・2 | 火・3 | 必      | ④                          | 講義                         | 言語・情緒・LD・ADHD    |
|                                   |                                   | 特別支援教育コーディネーター特論    | 廣瀬 由美子      | 2   | 後期  | 集中  |        | ④                          | 講義                         | 言語・情緒・LD・ADHD    |
|                                   | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 言語障害教育特論            | 湯浅 邦彦       | 2   | 前・2 | 金・3 |        | ④                          | 講義                         | 重複・言語・情緒・LD・ADHD |
|                                   |                                   | 情緒障害教育特論            |             | 2   | 休講  |     |        | ④                          | 講義                         | 言語・情緒・LD・ADHD    |
|                                   |                                   | 障害児生涯機能評価法          | 藤二 博亮・細川美由紀 | 2   | 後・2 | 木・5 |        | ④                          | 講義                         |                  |
| 障害児教育概論                           | 荒川 智                              | 2                   | 前・2         | 水・1 |     | ④   | 講義     |                            |                            |                  |
| 特別支援教育実地研究                        | 特別支援教育実地研究                        |                     | 3           |     |     | 必   | ⑤      |                            |                            |                  |
|                                   | 修了研究                              | 全教員                 | 4           |     |     | 必   |        |                            |                            |                  |

- 注意： 1. 修了条件：上記授業科目より34単位以上修得すること。  
 2. 対応する免許法の記号。  
 ①：特別支援教育の基礎理論に関する科目。  
 ②：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目。  
 ③：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目。  
 ④：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目。  
 ⑤：心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習。  
 3. 特別支援教育実地研究の履修にあたっては、前期開講の専門科目を16単位履修済であることが望ましい。

平成 25 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 5-4-2 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

| 授業科目             | 担当教員          | 単位 | 時間数 | 講時  | 必修 | 特支免許区分 | 形態 | 備考 |
|------------------|---------------|----|-----|-----|----|--------|----|----|
| 障害学総合研究          | 勝二博亮・荒川智・前川久男 | 2  | 後・2 | 月・5 |    |        | 講義 |    |
| 障害児教育学特論Ⅰ        | 荒川智           | 2  | 前・2 | 火・5 |    |        | 講義 |    |
| 障害児教育学特論Ⅱ        | 新井英靖          | 2  | 前・2 | 水・2 |    |        | 講義 |    |
| 障害児教育学演習Ⅰ        | 荒川智           | 2  | 後・2 | 火・3 |    |        | 演習 |    |
| 障害児教育学演習Ⅱ        | 新井英靖          | 2  | 後・2 | 月・4 |    |        | 演習 |    |
| 障害児心理学特論Ⅰ        | 前川久男          | 2  | 前・2 | 火・3 |    |        | 講義 |    |
| 障害児心理学特論Ⅱ        | 東條吉邦          | 2  | 前・2 | 火・4 |    |        | 講義 |    |
| 障害児心理学演習Ⅰ        | 前川久男          | 2  | 後・2 | 火・5 |    |        | 演習 |    |
| 障害児心理学演習Ⅱ        | 東條吉邦          | 2  | 後・2 | 火・4 |    |        | 演習 |    |
| 障害児生理学特論Ⅰ        | 勝二博亮          | 2  | 前・2 | 金・5 |    |        | 講義 |    |
| 障害児生理学特論Ⅱ        | 尾崎久記          | 2  | 前・2 | 月・2 |    |        | 講義 |    |
| 障害児生理学演習Ⅰ        | 勝二博亮          | 2  | 後・2 | 木・3 |    |        | 演習 |    |
| 障害児生理学演習Ⅱ        | 尾崎久記          | 2  | 後・2 | 月・2 |    |        | 演習 |    |
| 特別支援教育コーディネーター特論 | 廣瀬由美子         | 2  | 集中  |     |    |        | 講義 |    |
| 言語障害教育特論         | 湯浅邦彦          | 2  | 前・2 | 金・3 |    |        | 講義 |    |
| 情緒障害教育特論         |               | 2  | 休講  |     |    |        | 講義 |    |
| 障害児教育学特別研究Ⅰ      | 荒川智           | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 障害児教育学特別研究Ⅱ      | 新井英靖          | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 障害児心理学特別研究Ⅰ      | 前川久男          | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 障害児心理学特別研究Ⅱ      | 東條吉邦          | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 障害児生理学特別研究Ⅰ      | 尾崎久記          | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 障害児生理学特別研究Ⅱ      | 勝二博亮          | 2  | 集中  |     |    |        | 演習 |    |
| 修了研究             | 全教員           | 4  |     |     | 必  |        |    |    |

注意：1. 修了要件：上記授業科目より34単位以上修得すること。

2. 専修免許状取得要件：上記授業科目より24単位以上修得すること。

## 5-5 教育実習

### 5-5-1 教育実習とは

教育実習は、大学在学中に一定期間継続的に特別支援学校等での教育場面に触れることで、教師になるための知識や技能を身につけることを目的とする。具体的には、①教師や子どもが行う教育の実際を観察すること、②様々な教員としての職務に参加すること、③教材研究をして授業を実施すること、④指導計画を作成し授業以外の諸活動を行うことが含まれる。教育実習期間中には、以下の点をふまえて実習先の学校の教育活動に積極的に参加することが求められる。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みる。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得する。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証する。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を喚起する。

### 5-5-2 実施時期および期間

9月～10月の2週間に実施する（予定）。

### 5-5-3 事前指導および事後指導

教育実習の実施の前後に、事前指導および事後指導を受けなければならない。事前・事後指導を受けたものには1単位を授与する。また、特別支援学校の教育実習には、一定の実践経験を有することが望ましいので、教育実習の配当を4月～5月上旬に行い、配当学部の子どもの実態把握や事前・事後のさまざまな指導体験を行うものとする。詳しくは教育実習オリエンテーションの際に連絡する。

## 6 広報

### 6-1 情報・広報室の活動

6-1-1 学部ウェブサイトの更新等  
年度更新

### 6-1-2 パンフレットの発行

『茨城大学教育学部 入学案内2015』 A4版 30ページ

『茨城大学教育学部 入学案内2015増刊号』 A4版 4ページ

### 6-1-3 オープンキャンパスに関する事項

学生による学部紹介コーナーの開催

教員による相談コーナー

平成 25 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

## 6-2 進学説明会

| 実施日    | 主催・共催等          | 担当者            |
|--------|-----------------|----------------|
| 4月23日  | 福島県立磐城高校        | 島田 裕之          |
| 4月23日  | 大学新聞社           | 新井 英靖          |
| 5月13日  | 大学新聞社           | 島田 裕之          |
| 5月21日  | 茨城県立藤代高校        | 新井 英靖          |
| 5月23日  | 茨城県立岩瀬高校        | 石原 研治          |
| 5月23日  | 栃木県立茂木高校        | 石原 研治          |
| 5月23日  | 霞ヶ浦高校           | 石原 研治          |
| 5月27日  | (株)栄美通信         | 石原 研治<br>大辻 永  |
| 6月3日   | (株)栄美通信         | 新井 英靖          |
| 6月4日   | (株)栄美通信         | 石原 研治          |
| 6月6日   | 栃木県立足利女子高校、足利高校 | 石原 研治          |
| 7月21日  | 宇都宮大学           | 石原 研治          |
| 9月16日  | (株)栄美通信         | 石原 研治<br>小林 英美 |
| 9月26日  | 水戸葵陵高校          | 小林 英美          |
| 10月3日  | 茨城県立牛久栄進高校      | 島田 裕之          |
| 11月10日 | 茨城県立竹園高校        | 石原 研治          |
| 12月3日  | 茨城県立水戸第二高校      | 石原 研治          |